

第四條 市町村長へ交付金を受取タルハ第三號書式ノ領收證書ヲ差出スヘシ
(第一號書式)

請求書

一金何程

但自何年何月地方稅徵收金何程ニ對スル市町村交付金内譯之通り

内譯

金何程

是ハ徵收額何程ニ係ル百分ノ四

營業稅

金何程

雜種稅

全上

金何程

戶數割

全上

右御渡有之度候也

何市(何郡何町村)長

何ノ誰印

年月日 知事宛

廿四年九月別令
正第百八十九號
第二號書式改

(第二號書式)

交付金計算書

高金何程

一金何程

(當期中實收額)

(交付金ヲ要スル收入額)

印ハ朱書

外金何程

但何郡何町村外何々町村何年何月ヨリ何年何月マテ何年度地方稅實收額

内金何程

金何程

此交付金何程

内金何程

外金何程

内譯

納付未濟額

納付未濟額

寄過

寄不足

稅目	實收額		計	納付未濟額	交付金額	寄過	
	直接收入額	町村ヨリ收入額				寄不足	寄過
營業稅	円	円	円	円	円		
雜種稅							
戶數割							

右之通ニ候也

年月日

知事宛

何郡長 氏

名印

(第三號書式)

領收證

一金何程

但自何年何月地方稅徵收金何程ニ對スル市町村交付金何月何日第何號ヲ以テ送付ノ分

內譯

金何程

營業稅

是ハ徵收額何程ニ係ル百分ノ四

金何程

雜種稅

全上

金何程

戶數割

全上

右正ニ領收候也

年月日

何市(何郡何町村)長

何ノ

誰印

熊本縣出納吏

官氏名宛

○訓令第八十四號

明治二十四年四月九日

郡市役所 町村役場

市町村收入役ニシテ疾病事故アリテ他ノ吏員ヲシテ代理セザムル等市町村ニ於テ規定候場合ハ市ハ知事町村ハ郡長ノ認可ヲ受テ施行スヘシ

○訓令第百十三號 明治二十四年五月二十日

郡市役所

市町村基本財産ノ義別紙雛形之通取調其年七月限差出スヘシ

二十四年十月
令第百九十五號
ニテ訂正

(別紙)

市町村基本財産調 明治何年三月三十一日現

郡(市)名

町村數	土地價格	建物價格	穀物價格	諸公債證書價格	諸株券價格	現金	其他	合計

一 町村數ハ基本財産ヲ所有スル町村ノミヲ記入スヘシ

一 土地建物穀物公債證書株券共其種類ヲ細別スルニ及ハス各價格ノ總計ヲ以テ記入スヘシ但山林原野ノ土石木等ノ價格ハ土地ニ合算スヘシ

一 土地ノ價格ハ比隣同等地ノ賣買實價(土木竹木)建物價格ハ評價穀物諸公債證書及株券價格、時價其他諸品價格ハ其物品ニ應シ時價又ハ評價ヲ以テスヘシ

一 町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ一町村ト見做スヘシ

一 町村内ノ一區一部ニ於テ所有スルモノハ之レヲ省クヘシ

一本表ハ明治二十四年三月三十一日調ヲ第一回トシ爾後五ケ年目毎ニ其年三月三十一日ノ現在數ヲ調査スルモノトス

○訓令第百五十二號 明治二十四年七月二十二日 郡役所 町村役場

町村長助役ノ認可ヲ稟請スル時ハ左記ノ各項取調稟請書ト共ニ差出スヘシ

第一 職業及ヒ生年月日

第二 公務ニ從事シタルアヲハ就任退任ノ年月日並ニ其職名及俸給額

第三 制第八條第三項及ヒ制第九條第二項ニヨリ處分ヲ受ケタルアヲハ其處分書ノ寫

地方制門

廿四年四月
廿四年五月

訓令 第八十四號

廿四年七月 訓令 第百五十二號

百五十九

第四 官吏若クハ町村吏員在職中懲戒處分又ハ懲戒裁判ヲ受ケタルコトアラハ其處分書若クハ裁判言渡書ノ寫

○訓令第九十四號 明治二十四年十月二日 郡市役所 町村役場

市町村基本財産取扱ニ關スル件左ノ通心得ヘシ
一市町村制施行ノ際市町村有ニ係ル不動産積立金穀等ハ法律ノ結果ニ依リ自然基本財産ニ屬スルモノナルヲ以テ之ヲ基本財産ニ編入スルニハ市町村會ノ決議ヲ要セサルモノトス

一市町村營造物中(道路用悪水路)土地建物ノ如キ不動産ニ屬スルモノハ收入ノ如何ニ拘ハラズ基本財産ニ編入スヘキモノトス

一市町村大字以下一區一部ニ於テ共有セル財産ハ大字以下其モノ、共有財産トシ基本財産ノ名稱ヲ付スヘカラス

○訓令第二百三十號 明治二十四年十一月二十五日 郡市役所 町村役場

市町村内ノ一部又ハ大字ニ共有スル財産及營造物ハ市町村會若クハ區會ノ機關ニ依リ處理セシムルノ相當ナルハ申迄モ無之候得共之ヲ其機關ニ依ラシムルト否トハ一ニ關係人民ノ意向ニ在ルモノ、如ク心得候向モ有之哉ニ相聞候處元來市町村制ハ市町村内幾分ニ關スル共有財産及營造物ト雖モ悉ク相當ノ機關ニ依ラサルハ處理相成難キ主旨ニ付特別ノ事情アリテ市制第百十三條町村制第百十四條ニヨリ區會又ハ區總會ヲ設ケタル場合ノ外總テ市町村會ノ評決ニ依リ處分シ其他關係人民ノ協議等ヲ以テ處分スル義ハ相成ラサル義ト心得ヘシ

○訓令第七號 明治二十五年一月二十二日 郡市役所 町村役場

市町村歲入出差引殘金及歲出ノ精算殘金ハ從來ノ慣行ニヨリ翌々年度ニ繰越候向モ有之候處右ハ明治二十二年三月內務省令第二號市町村歲入出豫算表式ニヨリ來ル明治二十五年度ヨリ總テ翌年度ニ繰越スヘシ尤特ニ其處分ヲ要スルトキハ該表式殘金ノ例記ニ基キ豫メ其方法ヲ議定シ豫算表ニ掲記シ置クヘシ

○訓令第九號 明治二十五年一月二十五日 郡市役所 町村役場

府縣稅徵收法第一條第二項ニ依リ地方稅ヨリ交付スル金額ヲ市町村歲入豫算ニ編入スルトキハ明治二十三年七月第百三十四號訓令ニヨリ設ケタル國庫交付金ノ次ニ地方稅交付金ノ一欸ヲ設ケ整理スヘシ

○訓令第十九號 明治二十五年二月九日 郡役所 町村役場

町村ニ於テ官廳若クハ他ニ交渉スル事柄ニシテ町村會ノ議決ヲ要スルトキ又ハ他ニ交渉セサル事件ト雖モ町村會ノ議決ヲ要スルモノハ可成速ニ開會シ處理スヘキハ勿論ノ義ニ候處兎角等閑ニ時期ヲ經過スルノ傾アリ假令ハ他ニ交渉スル事件ニシテ相手方ニ於テ緊急ナル事件ト雖モ或ハ費用ノ増加ヲ名トシ或ハ手續ヲ厭ヒ容易ニ開會セサル向モ有之哉ニ相聞候處抑町村會之義ハ町村制第四十二條ニヨリ必要ノ時々開會スヘキモノニシテ從來區町村會ニ於ケルガ如ク通常會臨時會等ノ區別ヲ設ケタルモノトハ全ク趣キ異ニスルノミナラス凡ソ町村ニ屬スル事業ハ細大トナク其機關トシテ町村會ノ議決ヲ要スヘキモノニ付自ラ其會數モ頻繁ナルヘキハ當然ナルヲ以テ便宜夜間若クハ休暇日ニ開會スル歟又ハ豫メ會議日ヲ定メ置等可成簡易ニ之ヲ開設シ費用ヲ節略シ時期ヲ過ラサル様方法ヲ設クヘシ

地方制門

廿四年十月 訓令 第九十四號
廿五年一月 訓令 第二百三十號
廿五年二月 訓令 第十九號

○訓令第二十五號 明治二十五年二月十日

郡市役所

衆議院議員選舉人名簿確定ノ後選舉人資格ノ要件ヲ失ヒタルモノ假令ハ地所ヲ賣却或ハ讓與シ納租ノ拾五圓未満ニ減シタルモノ、類ニシテ選舉權有無ニ付疑義ヲ生シ候者有之哉ニ相聞ヘ候所選舉人納税ノ資格ハ廿三年一月勅令第三號衆議院議員選舉法施行規則第三條ノ名簿調製期日ノ前滿一ケ年以上拾五圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有シ之レヲ納メ仍引續キ所有シ及納ムルモノヲ以テ合格トストアリ就テハ選舉ノ當時迄引續キ納税スルニアラサレハ選舉權有セサルハ無論ニ付名簿ニ其事故ヲ付箋シ選舉ヲ行ハシメサル儀ト心得ヘシ

○訓令第二十六號 明治二十五年二月十二日

郡市役所 町村役場

市役所並町村役場ノ位置ハ明治二十二年四月縣令第二十號ヲ以テ指定致置候處右ノ内字ノ名稱大字ニ屬スル分並町村組合ニシテ某村トアル分ト雖モ役所役場所在ノ字外ニ變更スルモノハ明治二十三年八月法律第七十七號第二條ニ依リ本知事ノ認可ヲ受クヘキ義ト心得ヘシ

○訓令第三十號 明治二十五年二月十六日

郡市役所 町村役場

市町村ノ經濟ニ屬スル會計事務規程別冊ノ通相定メ來ル明治二十五年ヨリ施行スベシ

(別冊)

市町村會計事務規程

第一條 凡市町村ノ經濟ニ屬スル會計事務ハ別紙ニ示ス書式ニヨリ帳簿其他ノ書類ヲ調製シ之ヲ整理スベシ

第二條 市町村長ハ其豫算議決ノ後市町村制第一百條第一項ノ手續ヲ爲スト同時ニ徵收原簿(第一號書式)ヲ調製シ收入役ニ交付スベシ

第三條 徵收原簿ノ末尾ニハ豫算外(新々ニ入籍スル者ノ戸別)若クハ納税人ノ豫知シ難キ(手数料物品賣却代)隨時ノ收入ヲ登記スル爲メ其欄畫ノミヲ設ケタル用紙ヲ挿入シ置クベシ

第四條 市町村稅徵收ノ期ニ至レハ市參事會又ハ町村長ハ徵稅令書(第二號)ヲ製シ徵收限前少クモ十日ヲ隔テ(臨時追徵ハ三日以上)各納税人ニ配付スベシ

第五條 各納税人ニ於テ納税スルトキハ必ス徵稅令書ヲ添ヘ收入役ニ差出サシムベシ

第六條 收入役ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ徵稅令書ト徵收原簿ト照合シ原簿ニ納入年月日ヲ記入シ令書(第三號)ト割印ス其令書ノ第一ノ部ハ切斷シテ扣置キ第三ノ部ヘ捺印シ第二ノ部接續ノ儘市參事會若クハ町村長ヘ差出スベシ

第七條 市參事會又ハ町村長ハ前條ノ書類ヲ受ケ之ヲ切斷シ第二ノ部ハ控置キ第三ノ部ノ合計金額ニ捺印シ之ヲ納税人ヘ交付スベシ

第八條 隨時ノ收入ハ市參事會又ハ町村長ニ於テ先徵收原簿ノ末尾ニ(第三條ノ)登記シタル上徵稅令書(物品賣却代ノ如キモ第二號)ヲ發シ第五條乃至第七條ノ手續ニヨリ徵收ス

第九條 現品夫役ノ徵收ハ其要用ノ期ニ至リ徵收期限五日前ニ徵收令書(第二號)ヲ各義務者ニ配付スベシ

第十條 夫役ニ代フル金圓ハ其使役ヲ指定シタル期日ヨリ遅クモ二日前ニ收入

役ニ相納メシムヘシ此場合ニ於テハ第五條乃至第七條ノ徵收手續ニヨルヘシ
 第十一條 現品ノ納入及現夫ノ收入モ第五條第六條ニ準スヘシト雖モ現夫ハ必
 ス使役ヲ認メタル上ニ非レハ第六條ノ手續ヲ爲スヲ得ス
 第十二條 收入役ニアラサル現場出務主任者ニシテ現品受領又ハ夫役ヲ使役シ
 タルトキハ義務者ヨリ徵收令書ヲ受取り各計數ニ捺印シテ收入役ニ送付シ收
 入役ハ第六條ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十三條 學校生徒授業料ノ收入ハ別途ニ徵收原簿(第六號)ヲ製シ收入役ニ交
 付シ第五條乃至第七條ニヨリ徵收スヘシ
 但徵收令書(第二號)ヲ發スルハ徵收期限ノ五日前タルヘシ
 第十四條 隨時收入若クハ急迫ノ場合ニ於ル夫役現品又ハ市町村ニ於テ別段ノ
 規定アルモノハ第四條第九條第十條第十三條ノ期日ニ依ルノ限ニアラス
 第十五條 收入役ハ其收入アリタル日ノ終リニ於テ現金ニ係ル徵稅若クハ徵收
 令書ノ第一ノ部ヲ種類毎ニ計算シテ之ヲ收入日計簿(第三號)及出納簿(第五號)ニ
 記入シ市參事會又ハ町村長ノ捺印ヲ受クヘシ
 第十六條 前條記入ヲ了レハ市參事會又ハ町村長ハ當日内ニ領置シタル徵稅若
 クハ徵收令書ノ第二ノ部ヲ種類毎ニ合計ヲ付シ之ニ照合シ收入日計簿ノ金員
 ニ捺印スヘシ
 第十七條 上級經濟(國庫又ハ)ノ補助又ハ下渡金ノ納入モ前二條ニ準スヘシ
 第十八條 收入役ハ納稅期限後三日以内ニ徵收原簿ニ就キ調査シ若シ不納者ア
 ルトキハ其人名ヲ取調市參事會又ハ町村長ニ報告シ市參事會又ハ町村長ハ市

町村制第百二條ニヨリ處理スヘシ

第十九條 町村費ノ支拂ヲ要スルトキハ市參事會又ハ町村長ニ於テ支拂原簿ニ
 支拂費目金高ヲ記入シ收入役ヲシテ出納簿ニ轉載セシメ支出命令ノ證トシ該
 簿ハ捺印スヘシ
 但建築工事物品購入等ニ屬スル支拂ハ市參事會又ハ町村長ニ於テ市町村制
 第八十七條ノ規定ニヨリ其手續ヲ爲シタル上支拂ヲ命スヘシ
 第二十條 收入役ハ前條市參事會又ハ町村長ノ捺印ヲ根據トシ現金ヲ其領收證
 ト交換シ之ニ番號ヲ付シ領收證綴リニ編纂スヘシ尤該番號ハ帳簿ヘモ記入シ
 置クヘシ
 但片紙ノ類ハ全紙ニ貼付シ繼目ニ收入役ノ捺印ヲ捺シ置クヘシ
 第二十一條 領收證ハ月數日數個數等ノ積算ヲ要スルモノハ必ス其單數單價ヲ
 モ記セシムヘシ
 第二十二條 市參事會又ハ町村長ハ毎月ノ末日ニ收入役ニ就キ關係帳簿ノ差引
 及現金ヲ検査スヘシ
 第二十三條 市參事會又ハ町村長ニ於テ前條検査ヲ了ヘタルトキハ月末ノ欄外
 ニ検査済ト朱書シ捺印シ置クヘシ若シ検査ノ結果ニ於テ不都合ノ所爲ヲ發顯
 シタルトキハ市參事會ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ
 第二十四條 市町村制第百十二條ニヨリ收入役ニ於テ調製スヘキ決算書並同制
 第百八條第二項ニヨリ市參事會又ハ町村長ニ於テ調製スル財産明細表ハ第七
 號書式ニヨルヘシ

第二十五條 決算ハ渾テ正當領收人ノ領收證ヲ以テ證據トスヘシ
 第二十六條 諸帳簿ハ單數字(一ニ三ト)又ハ普通字(何百何十何圓)等ヲ用井ル
 モ適宜ナルヘシト雖モ出納ニ關スル證書類ノ數字ハ普通字(前ニ)ニ認メ必ス
 壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ
 第二十七條 特別ノ事情ニヨリ此規程ノ幾部ヲ變更シ若クハ西洋簿記法ニ據ラ
 ントスルトキハ其帳簿書式取扱手續等知事ノ許可ヲ經ヘシ

明治何年何月何日調製

何年度市町(村)税

徵收原簿

何郡

(第一號書式)

何町(村)役場
何市役所

(紙表)

第何號 (組合村又ハ他市町村ナ) レハ市町村名ヲ記ス	前		期		合計 金	備考 (此欄ニハ不納處分シテ欠損シタルトキ其要領並市町村制第百二條第二項ニヨリタルト キハ延期シタル年月日等ヲ記入ス)	期 後	源テ前 期ニ全シ
	金	金	金	金				
納税人 何 某	收入役	地價割	戸別割	營業割	收入役	納税人 何 某		
	何年何月何日 納税市役所 町村長	地價金	地方税金	營業(雜種)税				

(其他豫算ニ設ケアリテ納税人ノ豫定スヘキ者ハ以上ノ例ニヨリ調製スヘシ)

第何號	何 某		備考 何年何月何日競爭落札ニ付現品ト引換收入 (其他右ニ做フ)	合計 金 何々	金 何々	金 雜入
	何々	何々				
合計	金	何々	何年何月何日納	金	何々	何々
一金						
地價割						

第何號	何 某		備考 何年何月何日競爭落札ニ付現品ト引換收入 (其他右ニ做フ)	合計 金 何々	金 何々	金 雜入
何々	何々	何々				
合計	金	何々	何年何月何日納	金	何々	何々
一金						
地價割						

但明治何年何月何日現在地價金何程地價金何圓ニ付何程
(町制第九十條第二項均一ノ税率ニ依ラサルモノハ一課目毎ニ内課
ヲ設ケ定率ノ異ナル毎ニ本文ニ準シ金員及但書ヲ記スヘシ以下全シ)

戶別割
一金 但明治何年度地方稅戶數割稅金何程何圓ニ付何程
營業割
一金 但明治何年度地方稅營業雜種稅金何程何圓ニ付何程
現品
一何々何程
此代金
但明治何年度直接町村稅何程何圓ニ付何程
夫役
一幾人
此代金
但(右全)
一金 但何々
何々
(都テ豫算ニ設ケアリテ納稅人ノ豫知シ得ルモノハ茲ニ合計金及但書
等ヲ記ス其納稅人ノ豫知シカタクキモノハ左ノ外書ノ部ニ記スヘシ)

外金 (以下朱書)
金 內 雜入

地方制門

廿五年二月 訓令 第三十號

手 數 料
何 々

金 金
通計金
(第二號書式)

此番號ハ
原簿トモ
一ニシテ
下ニシテ
同番號ヲ
記ス

(第一)

用紙寸法適宜

第 號		組合町村又ハ自市 (町村外ノ者ハ都テ 市町村名ヲ記ス)	何之誰
一金	明治廿何年度市町(村)税前(後)半期		何々割
一金			
合計金			
右明治何年何月何日迄相納ムヘシ			
年月日	何市參事會市長何之誰 何町(村)長何之誰		印 印

切斷ノ符

(第二)		(第三)	
第何號	(前ニ全)	第何號	(前ニ全)
何之誰		何之誰	
一金	明治何年度市町(村)税前(後)半期	一金	明治何年度市町(村)税前(後)半期
一金		一金	
合計金		合計金	
右相納候也		右相納候也	
年月日		年月日	
右全		右全	

合計金.....(印) (市參事會又ハ
町村長檢印)

右正ニ領收候也

年月日 何市町(村)收入役 何之誰 印

領收シタ
ルトキ捺
印スヘキ
モノ

(第二號書式ノ内)

用紙寸法適宜

第 號		何之誰
明治何年度		
一 夫役幾人 (第十二條ニヨリ捺印スヘキ分)		
此代金		
(又ハ内譯)		
何月何日	幾人	
何月何日	幾人	
一 (繩)(竹)(明俵)幾千		
此代金		

(第二)

第何號		何之誰
明治何年度		
一 夫役幾人 (右ニ全シ)		
此代金		
一 (繩)(竹)(明俵)幾千		
此代金		
右相納候也		
年月日		

右明治何年何月何日(又ハ内譯ノ通)(何工事
場)相納ムヘシ
但代金ヲ以テ納ムルトキハ何年何月何日限
年月日 何市參事會市長 何之誰 印
何町(村)長 何之誰 印

處切斷スル

(第二)

處切斷スル

處切斷スル

		(第一)	(第二)
一 金	但何月授業料生徒 何某分	右何年何月何日限相納ムヘシ	何之誰
一 金	但何月授業料生徒 何某分	年月日 何市參事會市長 何 町(村)長 何之誰	何之誰
右相納候也	年月日		
切斷ノ處		切斷ノ處	

		(第三)	
第何號	明治何年度	一 夫役幾人 (右ニ全シ)	何之誰
	此代金	一 (繩) (竹) (明俵) 幾干	
	此代金	(市參事會又ハ) (町村長檢印)	
	右正ニ領收候也	年月日 何市町(村)收入役何之誰	何之誰
領收シタ ルトキ捺 印トヘキ モノ			
用紙寸法適宜			
(右ノ外都テ前書式ニ全シ)			
(第二號書式ノ内)			

月日	員	課目	附記
何月何日	金	地價割	何之誰外幾名分(又ハ何之誰分)
全	金	戸別割	(右全)
全	金	營業稅	(右全)
全	金	雜入	何々品貸却代某納 何學校授業料何某外幾名分
全	金	夫役代金	夫役幾人分何某納
全	金	手數料	何々證明ニ付何某納
全	金	使用料	何々(宅地)何々ニ付何某納
全	金	過怠金	何々處分ニ付何某納
全	金	何々	何々
全	金	何々	何々
合計	金	何々	何々

此以下ノ線ハ日々收入課目ニ應シ設クヘシ

市參事會又ハ
町村長
役入收

(紙表)

明治何年何月何日調製
何年度市町(村)稅
收入日計簿
(第三號書式)
何郡
何町(村)役場
何市役所

(第三)

明治何年度
一金
但何月授業料生徒
何某分
右正ニ領收候也
年月日 何市町村收入役何之誰
領收シタ
印トキ
モノヘキ

(紙表)

<p>明治何年何月何日調製 何年度市町(村)費</p> <p>支拂原簿</p> <p>(第四號書式)</p> <p>何 郡 何町(村)役場 何市役所</p>		<p>第何款何々費(一費目毎ニ調製シ見出サ付スヘシ)</p> <p>一金 豫算高</p> <p>一何々現品幾千</p> <p>一夫役幾人</p>
--	--	--

何月何日	金	何々割	何々誤納ニ付下戻分
残高	金		
何月何日	金	何々	何々
全	金	何々	何々
全	金	何々	何々
合計	(都テ前ニ全)		
通計	(二日目ヨリハ如斯通計ヲ設クヘシ)		

收入之部														
月	日	何	月	何	日	何	月	何	日	何	月	何	日	員 課
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	員 課
														地 價 割
														戶 別 割
														營 業 割
														手 料
														雜 入
														夫 役 代 金
														何 々
														通 計
														計 (一日毎ニ)
														金
														通 計
														金 (二日目ヨリハ通計金ヲ)

出 納 簿										
(紙 表)										
年 月 日	支 拂 額	支 拂 費 目	残 額	計	夫 役 幾 人	何 々 工 事 用 支 出	何 々 工 事 現 夫 幾 人 分 賃	何 々 費 何 某 渡	何 々 買 入 幾 千 代 何 某 渡	何 年 何 月 何 日
、 、 、	金	何 々 報 酬 何 月 分 何 某 渡		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 買 入 幾 千 代 何 某 渡		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 費 何 某 渡		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 工 事 現 夫 幾 人 分 賃		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 工 事 用 支 出		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 工 事 用 使 役		金						、 、 、
、 、 、	金	何 々 現 品 幾 千		夫 役 幾 人						、 、 、
、 、 、	夫 役 幾 人	何 々 現 品		計						、 、 、

明治何年何月何日調製
何年度市町(村)費
出納簿

何 郡 何町(村)役場
何市役所

(紙表)

明治何年何月何日調製 何年度授業料 徴收原簿 (第六號書式)			何郡 何町(村)役場 何市役所		
差引ノ部					
月	日	收入通計	支出通計	現在	高
何月何日	金	金	金	金	金
何月何日	金	金	金	金	金

支出之部											
月	日	支出命	員	費	目	領收證番號	何月何日	金	何々費	第何號	通計金
何月何日	金	金	何々費	第何號	何々	第何號	金	金	何々費	第何號	(二日目ヨリハ通計金ヲ設クヘシ)
全	日						金	金	何々	第何號	計
全	日						金	金	何々	第何號	金(毎日ノ計金)
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全
全	日						金	金	何々	第何號	全

(紙 表)

<p>明治何年何月何日調製</p> <p>何年度</p> <p>市町村歲入歲出決算書</p> <p>(第七號書式)</p> <p>何郡</p> <p>何町(村)役場</p> <p>何市役所</p>	計	八月	六月	五月	四月	月
		金	金	金	月	日
					幾	月
					人	計
					何程幾人何程幾人、、、、	金
					(右ニ全シ)	高
					人	
					員	
					内	
					譯	

<p>合計</p>	<p>(以下右ニ做フ)</p>	<p>納人(右ニ全)</p> <p>何 某</p>	<p>生徒何 某</p>	<p>納人(父兄後見人等)</p> <p>何 某</p>	金	四月
					金	五月
					金	六月
					金	以下
					金	業
					金	料
					金	ヲ
					金	授
					金	課
					金	料
金	月					
金	注					
金	記					

(科目及附記ノ記載例ハ明治廿二年一月訓令第四號書式ニ依ル)

明治何 年度 市町(村)歳出決算書

計				三	二	一	第一項給料	第一款役場	科 目 豫 算 決 算 附 記 過 不 足
							金	金	
						金	金	金	
							金	金(過ハ墨不足ハ朱世)	

明治何 年度 町(村)歳入決算書

計			三	二	一	第一款何々	科 目 豫 算 決 算 附 記 過 不 足
						金	
						金	
						金	金(歳出ニ全シ)

歳出ノ決算ト歳入ノ決算トチ差引シ歳出ニ於テ歳入ヨリ超過スレハ則不足ナルヲ以テ
消費等ノ手續ヲ爲シ又歳入ニシテ歳出ヨリ超過スルトキハ此書冊ノ末尾ニ其金員ヲ記
シ翌年度ニ繰越スルハ基本財産ニ編入スル等決議ノ方法ヲ記シ置ク(シ)

右之通決算相違無之候也

年月日

收入役 何 之 誰 印

何市町村財産明細表 明治何年何月何日現在

名	種	類	數	量	所	在	備	考
(役場) (議事堂) (學校) (圖書館)	建	物	何	何	何市町村字番	何	構造(瓦) (土) 又ハニ階付本家何階下屋何階	
(田) (畑) (山)	地	所	反別何反何		(右全)		何々用又ハ何某	
(林) (宅地)			何				何々製(大小)	
(船) (椅子) (櫃)			(器械) (器)	(何臺) (何個)			保管人某預リ又ハ(市參事會) (役場)	
圖	書	何	何	(何帙) (何卷)			(何學校保管) (又ハ何々圖書館)	
何	々	何	々	何			和(洋)製本ノ類	
合	計							

○訓令第三十六號 明治二十五年二月二十三日 郡市役所 町村役場
市町村會議員半數改選ニ際シ議員交代ノ手續ハ便宜市町村會ニ於テ議決スヘキ
義ニ候處本年四月以降半數改選之義ハ創始ノ事ニ付施行上區々相成候テハ處理
錯綜ニ涉リ候而已ナラス延テ後來ニ及ボス義ニ付一定ノ規程ニ出候様左ノ方法
ニヨリ市町村會ノ議決ヲ經テ施行スルヲ要ス

但改選之際缺員ノ議員ハ臨時代人ヲ以テ抽籤シ若シ退任者ニ當籤セサルモ
ノアルトハ便宜ノ方法ヲ以テ同時ニ補欠選舉ヲ行フモノトス
一當初ノ選舉ハ明治二十二年訓令第二十八號第六條ニヨリ執行シタルモノニ付
本年四月二十日以降ヲ以テ滿三ヶ年ニ相當スト雖モ便宜ノ爲メ新陳交代ハ五
月七日トス

一半數改選ハ總テ五月一日ニ施行ス

○訓令第四十七號 明治二十五年三月十九日 郡市役所 町村役場
明治二十二年三月訓令第二十九號選舉原簿書式解說ノ四前年度ノ納稅額ハ必シ
モ實納額ニ限ラス其年度ノ負擔額ニ依ルコトヲ得若シ其年度中ノ負擔額査定シ
難キ事實アルニ於テハ原簿調製期日迄ノ負擔額ニ依ルモ妨テナキ義ト心得ヘシ
○訓令第五十三號 明治二十五年三月十五日 郡市役所
市町村吏員報告別冊ノ通相定ム

發送期日二月中

市吏員 (明治何年十二月三十一日現在)

所 名

地方制門

廿五年二月

訓令 第三十六號

廿五年三月

訓令 第五十三號

職名人員	職員名人員	職員名人員
市長	收入役	區長代理者
助役	常設委員	附屬員(書記其他)
參事會員	區長	計

一本表ニ登載スル職員中ハ兼掌ニ係ルモノアルキハ其兼掌ノ方ヲ朱書スヘシ
 一明治二十三年勅令第二百十五號小學校令ニ據リ設置シタル學務委員ハ掲載
 スルヲ要セス
 右報告候也

年月日 知事宛 熊本市長 何 某 印

發送期日二月中

町村吏員 (明治何年十二月三十一日現在)		何郡役所	
職名人員	職員名人員	職員名人員	職員名人員
町村吏員	區長	區長代理者	
町村長(名譽職有給)	區長代理者		
助役(名譽職有給)	所屬員(書記其他)		

地方制門

廿五年三月廿五日四月 訓令 第五十五號 第八十號

百九十三

收入役	計
常設委員	

一町村制第百十六條ニ依リタル町村行政全部ノ組合吏員ハ各其欄内ニ別記シ
 ×ヲ付スヘシ但一部ノ事務ノ爲メ設ケタル組合ノ吏員ハ掲載スルヲ要セス
 一本表ニ登載スル各職員中兼掌ニ係ルモノアルトキハ其兼掌ノ方ヲ朱書スヘ
 シ
 一明治二十三年勅令第二百十五號小學校令ニ依リ設置シタル學務委員ハ掲載
 スルヲ要セス
 右報告候也

年月日 知事宛 何郡長 何 某 印

○訓令第五十五號 明治二十五年三月十六日 郡市役所
 國稅滯納處分法第十一條ニ依リ地方稅滯納者處分ノ義他府縣郡市長ヨリ囑托ヲ
 受ケ其結果回答ノ節ハ本年二月大藏省訓令第五號報告表ニ該當ノ事項取調全時
 ニ添報スヘシ
 ○訓令第八十號 明治二十五年四月四日 郡市役所 町村役場
 市町村豫算表式ニ關スル件左ノ通心得ヘシ
 一市町村ニ於テ明治二十三年法律第九十號第十四條第二項及同年法律第九十一
 號第十六條第二項ニ依リ納付スル教員恩給基金ハ其歲入出豫算ニ編入シ教育

費雜給ノ項中へ教員恩給基金ノ目ヲ設クヘキモノトス

○訓令第八十二號 明治二十五年四月二日 郡役所 師範學校
 地方稅支辨ニ屬スル官吏懲戒例ニ於ケル罰俸ノ儀ハ自今減俸ト同シシ俸給中ヨリ之ヲ控除シ地方稅雜收入ニ編入セサル儀ト心得ヘシ

○訓令第八十五號 明治二十五年四月六日 郡市役所 町村役場
 地方稅及市町村稅滯納處分方囑托ヲ受ケ徵收シタル稅金送附ニ要スル費用之義ハ囑托廳ノ經費ヨリ支辨スヘキ筋ニ有之候處双方手數ヲ要シ候ニ付便利ノ爲メ右稅金ヨリ送附ニ要スル費用ヲ扣除シ其領收證ヲ添ヘ送附スヘシ

○訓令第八十八號 明治二十五年四月八日 郡役所 尋常師範學校
 明治二十三年六月訓令第九號地方稅經濟ニ屬スル物品出納規程第二十七條ニヨリ差出スヘキ出納物品ノ計算表ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

明治何年度物品出納表

品目	受ノ部		出ノ部		現		在
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
何々							
合計							

右及報告候也

何(郡署)長氏 名印

知事宛

○訓令第百四十八號 明治二十五年七月十三日 郡市役所 町村役場
 市町村長以下除服並施行等ノ規定左之通相定ム

但明治二十三年十月訓令第七十二號ハ廢止ス

一市長市助役ノ除服ハ知事町村長町村助役ノ除服ハ郡長之ヲ達シ收入役以下ノ除服ハ市町村長之ヲ達スルモノトス

一職務旅行ハ市長市助役ハ知事町村長町村助役ハ郡長ニ各旅行ノ前日届出ツヘシ但町村長並町村助役ニシテ郡内ノ旅行及郡役所出頭ノ節ハ此限ニアラス

一私事旅行ハ市長市助役ハ知事町村長町村助役ハ郡長ノ認可ヲ受クヘシ但日數五日未滿ハ認可ヲ要セス旅行ノ前日日本文ノ區別ニヨリ届出ツヘシ

一病氣又ハ其他ノ事故ニヨリ職務ニ從事スルヲ能ハサルモノ若クハ忌中引入ニシテ日數五日以上ニ及フヘキ場合ハ忌中引入ハ引入ノ當日其他ハ右日數ニ達シタルトキ第二項ノ區別ニヨリ知事郡長ニ届出ツヘシ

一收入役以下旅行ノ節取扱方ハ市町村長ニ於テ適宜之ヲ定メ豫メ訓示スヘシ

○訓令第百六十一號 明治二十五年九月三日 郡市役所 町村役場
 市町村事務ノ整理ヲ計リ其實効ヲ擧グル爲メ市町村吏員ノ恪守ス可キ必要事項ヲ左ニ列示ス

一市町村吏員ガルモノハ一ニ市町村ノ公益ヲ計リ黨派ニ偏セス公平ヲ持スルヲ以テ最專要トス故ニ假令其人姓名ヲ政黨ニ列スルコトアルモ市町村行政ノ職務ヲ行フニ方リテハ自治ノ本旨ヲ恪守シ毫モ黨派ノ關係ヲ及ボスコトアルヘカラス

地方制門

廿五年四月
廿五年四月

訓令 第八十二號
訓令 第八十五號
訓令 第八十八號

廿五年七月
廿五年九月

訓令 第百四十八號
訓令 第百六十一號

二市町村ノ事務ハ最簡易誠實ヲ主トシ虚飾ニ流レス繁細ニ涉ラサルヲ要ス其經濟ハ勤儉ヲ守リ勉メテ實力ヲ充實スルノ法ヲ講シ冗費濫出ノ弊ヲ防制スヘシ

三市町村基本財産ハ之ヲ維持保存シ之ヲ増殖スルヲ務ムヘキハ勿論市町村經濟ノ許ス限リハカメテ之ヲ蓄積セサルヘカラス故ニ市町村吏員タルモノハ常ニ茲ニ留意シ便宜蓄積ノ方法ヲ設ケシムヘシ

四市町村吏員ノ任期アルモノハ其任期中ハ自己ノ意志ニ依リ法律ノ規定ニ從テ退職スルノ外他ヨリ容易ニ進退セシムルヲ得ス然ルニ其任期中ニ在テ俸給若クハ報酬額ヲ減額シ又ハ町村長助役ヲ有給吏員トナシ若クハ其有給ノ例ヲ廢シ以テ容易ニ吏員ノ交代ヲ促カスカ如キコトナシトセス又法律ノ規定外特ニ議員ノ定數ヲ増減スルコト往々之アリ是或ハ黨派ノ私ニ起因シ其實吏員議員ヲ進退スルノ意ニ出ツルコトアラシモ知ヘカラス若シ右等ノ事アルニ於テハ獨リ法律ノ旨趣ニ戻ルノミナラス其弊少カテサル義ニ付是又篤ク注意ヲ加ヘシ

○訓令第六十二號 明治二十五年九月三日 郡市役所 町村役場

市町村巡視規程左ノ通相定ム

但明治二十五年三月訓令第四十二號ハ廢止ス

市町村巡視規程

第一條 本規程ハ市町村ニ於ル行政ノ舉否吏員服務ノ勤怠處務ノ整否及法律命令實施ノ狀況ヲ監査シ市町村自治ノ實効ヲ舉ゲシムル爲メニ設ケルモノトス

第二條 巡視ヲ分テ通常臨時ノ二種トナシ通常巡視ハ一般ニ之ヲ行ヒ臨時巡視ハ其必要ト認ムル場合ニノミ之ヲ行フモノトス

- 第三條 通常巡視ハ毎年第二次(市ニ對シテハ第一次)ノ監督廳ニ於テ一回第一
次ノ監督廳ニ於テ一回以上相當ノ官吏ヲ派シ之ヲ巡視セシムルモノトス
- 第四條 通常巡視ニテ巡視員ニ於テ巡視スヘキ概目左ノ如シ
- 一 市町村内全体ノ狀況(平穩無事ナルヤ否ヤ黨派軋ノ弊アリヤ否ヤノ類)
 - 二 市町村事務ノ狀況(事務ノ繁簡便否ノ類)
 - 三 市町村事務ノ成績(土木事業教育衛生勸業ノ舉否若クハ兵事戶籍ノ整否ノ類)
 - 四 市町村吏員ノ處置法律命令ノ規定ニ違背スル所ナキヤ否
 - 五 吏員ノ部民ニ對スル接遇
 - 六 市町村會議員及吏員選舉ノ景況
 - 七 市町村會及區會々議ノ景況
 - 八 市町村會及區會議決ノ執行
 - 九 市町村費豫算決算ノ整理
 - 十 市町村經濟ノ狀況(負擔ノ輕重課稅ノ適否財産及負債ノ多寡等)
 - 十一 市町村基本財産其他市町村有及市町村内或部分ノ財産並營造物ノ管理保管又ハ其事務ノ監督
 - 十二 金穀物品ノ保管
 - 十三 市町村費出納ノ正否
 - 十四 市町村稅其他ノ收入ニ關スル賦課徵收
 - 十五 國稅地方稅ノ賦課徵收

- 十六 市役所町村役場事務分課及執務ノ体裁
- 十七 市町村吏員選任ノ當否
- 十八 市町村吏員ノ勤惰
- 十九 吏員懲戒處分ノ當否又ハ執行
- 二十 諸書及公文書類ノ整理
- 廿一 諸證帳簿ノ整理并加除修正
- 廿二 町村組合事務整理
- 廿三 前取項ノ外必要ノ事項
- 第五條 前條第九第十三ノ二項ハ出納檢閱例規ニヨリ別ニ當該年度ノ出納ヲ檢閱シタル場合ハ時宜ニヨリ調査ヲ省クコトアルヘシ
- 第六條 巡視員ニ於テ巡視上ニ關スル事項ニ付質問ヲ爲ストキハ市町村長其他ノ吏員ハ其質問ニ應答セサルコトヲ得ス
- 第七條 巡視員巡視ノ際ニ於テ錯誤違法等ノアルコトヲ發見シタルトキハ市町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得
- 訓令第六十七號 明治二十五年九月四日 郡市役所 町村役場
- 市町村事務報告例左ノ通相定ム
- 但明治二十三年十一月訓令第七十八號ハ廢止ス
- 第一條 左ノ事項ハ市長ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ決定若クハ施行ノ當日又ハ翌日報告スヘシ但天災時變等異常ノ事項ハ隨時報告スヘシ
- 一 公民權ニテ年ノ制限ヲ特免セシ場合

- 二 町村會議員選舉人名簿ノ確定シタル場合
- 三 公民權停止及市町村費增加ノ處分ヲ爲シタル場合
- 四 町村會議員選舉ニ選舉分會ヲ設ケタル場合
- 五 市町村會議員選舉會
- 六 市町村會議員ノ就職及退任辭職
- 七 市參事會又ハ町村長ノ意見ヲ以テ市町村會議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメタルトキノ場合
- 八 市町村長ニ於テ訴願ヲ受付タル場合
- 九 訴願ニ對スル市町村會市參事會並町村長ノ裁決
- 十 市町村內ニ區ヲ設置シ區長及代理者ヲ置クコト及之ヲ廢止スル事
- 十一 常設及臨時ノ委員ヲ設置シ及廢止スルコト
- 十二 市町村吏員選舉
- 十三 市町村長助役市參事會員及收入役ノ就任及退任
- 十四 市町村會議事細則ヲ規定シ及修正シタル場合
- 十五 市參事會並町村長ノ市町村吏員ニ對スル懲戒處分ヲ爲シタル場合
- 十六 市町村會議員ノ立會ヲ以テ市町村ノ出納ヲ檢査シタル場合
- 十七 一時借入金
- 十八 學藝美術ニ關スル物品ノ異動
- 十九 町村助役及市參事會員ニ市町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシメタル場合
- 二十 償還期限三年以内ノ公債ヲ募集スルトキ

廿一 市町村長助役收入ノ印鑑
 廿二 其他市町村會ノ決議諸件
 第二條 左ノ事項ハ選舉ノ場所日時ヲ公告スルキ又ハ招集并會議ノ事項ヲ告知スルキ市長ハ知事町村長ハ郡長ニ報告スヘシ
 一 市町村會議員選舉會
 二 市町村吏員ノ選舉會
 第三條 市制町村制第百八條並ニ市制町村制第百十二條ノ報告ハ議決若クハ認定後五日以内トス(本條ニ係ル議決ハ第一條第廿二項ニ依リ報告ヲ要セス)但市町村歳入出豫算表ニハ市町村事務報告及財産明細表ヲ全決算表ニハ市町村税金納處分ニ係ル人員及金額表ヲ添ユヘシ
 第四條 左ノ事項ハ郡長及郡參事會ニ於テ處分シタル當日又ハ翌日知事ニ報告スヘシ但第一條第一第三第七第九第十三第十四第十五第十九第二十第二十二ノ各項ニ依リ又ハ第三條ニ依リ町村ノ報告ヲ受ケ調査ヲ了ハタルキハ即日原書若クハ寫ヲ以テ知事ニ報告スヘシ
 一 町村境界(數郡若クハ市ノ境界ニ涉ラサル)變更及財産ニ關スル議決ノ顛末但境界變更ハ圖面及戶數反別地價地租等ヲ詳記シタル圖書ヲ添付スヘシ
 二 町村境界(數郡若クハ市ノ境界ニ涉ラサル)ニ關スル爭論裁決ノ要領
 三 議員選舉ノ効力ニ關スル處分ノ要領
 四 町村會若クハ町村長ノ裁決ニ服セサル訴願ニ對スル裁決ノ要領
 五 議員ノ數除名ノ爲メ會議ヲ開クノ定數ニ滿ダヌ郡參事會代テ議決シタル

六 收入役ノ選任ニ對シ認可ヲ與ヘサルキノ事由並町村長若クハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌スルヲ許可シタルキノ事由
 七 町村制第六十八條第二項ノ一ニ依リタル指揮又ハ裁決ノ要領
 八 郡長ニ於テ町村助役ニ事務ノ分掌ヲ許可シタルキ其氏名並事項
 九 有給町村長及助役ノ給料ヲ許可シ並郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定シタルキ其要領
 十 町村ノ組合ヲ許可シ又ハ組合ヲ設ケシメタルキ其要領及規定
 十一 町村組合ヲ解クヲ許可シタルキ其要領
 十二 町村ノ支出額ヲ豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシメタルキ其顛末
 十三 町村會ニ於テ議決スヘキ事件ヲ議決セサルカ爲メ又ハ改選町村會ノ集會スル迄郡參事會代テ議決シタルキ其要領
 十四 町村制第百二十七條ノ各項ヲ許可シタルキ但全條第四第五第八ハ此限ニアラス
 十五 町村吏員ニ懲戒處分ヲ行ヒ又ハ懲戒裁判ヲ以テ解職シタルキ其要領
 十六 町村吏員ニ對スル賠償裁判ノ要領
 第五條 左ノ事項ハ毎年七月中郡長ニ於テ一郡限リ總計表ヲ以テ知事ニ報告スヘシ
 一 毎町村豫算表(書式ハ)並決算表(明治十八年乙第九十九號)及ヒ財産明細表(町村制第百八條)

凡例

- 第一條 特免セシ人名及事由ヲ記ス
- 第二條 選舉人名簿ノ寫
- 第三條 停止若クハ増課セラレタル人名及事由
- 第四條 分會數及分會ニ屬スル部落ノ地名並事由
- 第五條 選舉錄明治廿二年一月本勝本
- 第六條 退職又ハ辭職者ノ人名及其事由
- 第七條 初回議決ノ寫停止ノ理由並再議決ノ顛末
- 第八條 訴願ノ事項及訴願人名
- 第九條 裁決書及訴願書ノ寫
- 第十條 設置ノ場合ハ區名並區長及區長代理者ノ人名
- 第十一條 設置ノ場合ハ委員ノ人名及取扱ノ事項並權限
- 第十二條 市制第四十七條町村制第四十九條ノ議事錄
- 第十三條 就職ノ月日人名並退職者ノ人名及事由但退職ハ市町村會ニ於テ報告ヲ受ケタル日又ハ翌日報告スヘシ
- 第十四條 細則ノ寫又ハ修正シタル部分ノ寫
- 第十五條 懲戒ノ種類及懲戒ヲ受ケタル人名並理由
- 第十六條 檢査ノ概況及立會議員ノ氏名(不都合ノ廉發見シタルトキハ責任者ノ手續書)ヲ添ユヘシ

- 第十七條 全員及支辨ノ費目並事由
 - 第十八條 品目員數及事由
 - 第十九條 職名氏名並事項
 - 第二十條 公債金額並償還方法
 - 第二十一條 職人名名印影
 - 第二十二條 議決錄原本
- 訓令第六十八號 明治二十五年九月四日 郡市役所 町村役場
市町村出納檢閱規別紙之通相定ム
(別紙)
- 市町村出納檢閱規
- 第一條 監督官廳ニ於テ市町村出納ノ檢閱ヲ行フトハ總テ此例規ニ依リ施行ス但市町村制第十一條ノ檢査モ本文ニ準シ施行スベシ
 - 第二條 出納檢閱ハ通常ト臨時トニ分チ通常檢閱ハ每會計年度ノ終リニ第一次監督官廳ニ於テ之ヲ行ヒ臨時檢閱ハ市町村巡視ノ際他ノ事件ト一同之ヲ行フカ若クハ監督官廳ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ行フ但臨時檢閱ヲ行ヒタル年度ハ時宜ニ依リ通常檢閱ヲ行ハザルヲアルベシ
 - 第三條 出納檢閱ハ左ノ事項ニ就キ檢閱スベシ
 - 一 歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用及財産物品ノ得有沽賣讓與利用ハ各其成規命令又ハ市町村ノ議決ニ違フコトナキヤ
 - 二 現在金及財産物品ハ總テ帳簿ニ符合スルヤ

三 歳入金ノ未徴收概算拂ノ未精算等總テ出納上怠慢ニ屬スルモノナキヤ
 四 購入品ノ代價職工入夫ノ賃金等ハ不相當ノモノナキヤ請負事業ニ係ル分
 通り渡金ハ不相當ノ下付ナキヤ
 五 經費及物品濫用ノ弊ナキヤ又ハ國稅地方稅市町村稅交互繰替等ノ不都合
 ナキヤ
 六 諸帳簿ノ調製及記入ハ成規ニ違ヒ又ハ事實ニ反スルヲナキヤ
 第四條 本規程ニ掲グルノ外總ノ市町村巡視規程ニ依ルヘシ
 ○訓令第百六十九號 明治廿五年九月四日 郡市役所 町村役場
 市町村吏員就職退職ニ關スル手續並事務引繼順序左之通相定ム
 第一 就職退職
 第一條 凡ソ市町村ノ職員ニ選任シタルトキハ別紙第一號書式ニヨリ當選狀ヲ
 選舉ノ當日本人ヘ交付スルモノトス但シ町村長市町村助役收入役ハ市制第五
 十二條同第五十八條第三項若クハ町村制第五十九條第六十二條第四項ノ手續
 ナリリタル後交付スルモノトス
 第二條 職員ノ當選狀ヲ領收シタルモノハ別紙第二號書式ニヨリ承諾書ヲ差出
 スヘシ
 第三條 市町村制第八條第二項第一乃至第五ノ事故ニヨル町村長助役ノ退職ハ
 特ニ町村會ヲ開設シ其他名譽職ノ退職ハ次回ノ市町村會ニ報告スヘシ
 第四條 名譽職ニシテ市町村制第八條第二項第一乃至第五ノ事由ナクシテ退職
 スル場合ハ同條第二項第六ニヨリ處分シ又給吏員ニシテ市制第五十五條末

項町村制第五十七條ニ依ラサル退職ハ市町村會ノ議決ヲ要スヘキモノトス
 第五條 有給吏員ニシテ市制第五十五條末項町村制第五十七條ニヨリ退職セン
 トスルトキハ其退職スヘキ期日ヨリ三ヶ月前ニ便宜市町村會ニ申立追テ退職
 ノ日ニ至リタルトキハ更ニ本規程第三條ノ手續ニヨリ報告スルモノトス
 第六條 前條ノ場合ニシテ市長ノ退職ハ市會ニ於テ知事ヲ經由シ之ヲ內務大臣
 ニ具申スヘシ
 第七條 市町村會ハ本規程第三條ニヨリ報告ヲ受ケタルトキト雖モ若シ退職ノ
 事由ニ就キ異議アルトキハ會議ノ議決ヲ以テ一應本人ニ質問シ然ル后相當處
 分ヲナスヘシ
 第八條 市町村吏員及使丁ニシテ隨時解職シ得ヘキモノニシテ辭職スル場合ハ
 町村長ニ申立ツヘシ
 第二 事務引繼順序
 第九條 市町村ノ事務引繼ハ其引繼ヲ受クヘキ市町村長就職ノ日ヨリ十日以内
 ニ一切ノ事務及管守ノ物件ヲ引繼クヘシ
 第十條 市町村長退職ノ場合ニシテ其退職ノ日ヨリ十日ヲ經過スルモ後任市町
 村長就職セサルトキハ其十日ニ達シタル日ヨリ五日以内ニ助役ニ引繼クヘシ
 但本文引繼ノ期限内後任市町村長就職シタルトキハ市町村長ニ引繼クヘシ
 第十一條 助役又ハ市參事會員ニシテ市町村長欠員等ニテ代理ノ場合ニ退職ス
 ルトキハ總テ市町村長ノ事務引繼ニ準ス
 第十二條 事務ノ引繼ハ總テ書面ニ詳記シ双方捺印ノ上其書面ハ記錄ニ編纂シ

置クヘシ

第十三條 市町村長ノ事務引繼ハ其結了ノ當日双方連署ヲ以テ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

第十四條 事務引繼ノ際前任者ニ於テ處分未済ノ事件ハ其顛末ヲ詳記シ引繼クヘシ

第十五條 事務引繼ニ際シ後任者ニ於テ前任者ノ處分成規ニ悖戾スル事項アリト認ムルトキハ直ニ第一次監督官廳ニ届出ツヘシ

第十六條 事務引繼ニ付市町村ノ會計若クハ市制第七十四條町村制第六十九條ニ屬スル事務ニシテ現金ノ引合アルモノハ收入役立會ノ上受渡ヲナシ該書面ニ收入役ノ連署ヲナスヘシ

第十七條 分掌事務ノ引繼ハ市町村長立會ノ上施行スヘシ但市制第七十四條第二項町村制第六十九條第二項ニヨリ監督官廳ノ許可ヲ受ケタルモノハ市町村長ヨリ其都度該官廳ヘ報告スヘシ

第十八條 市町村ノ廢置分合ニ係ル事務引繼ハ左ノ各項ニヨルヘシ

一 市町村又ハ組合町村ヲ舉テ他市町村ニ合併シタル場合ニシテ新市町村ノ組織成立セザル間ハ從來ノ市町村ニ於テ事務ヲ取扱フヘシ但新市町村長就職シタルトキハ本規定第九條ノ手續ニヨル

二 市町村境界ノ變更ニヨリ書類帳簿等ヲ引繼クトキハ之ヲ分割シテ引繼クヘシ若シ分割スヘカラサルモノハ從來ノ市町村ニ保存シ其旨關係市町村ニ報告スヘシ

三 一市町村ヲ分テ數市町村ニ合併シタルトキ又ハ町村組合ヲ更ニ他ノ數市町村ニ分割シテ合併シタルトキモ前項ニ準スヘシ其分割スヘカラサルモノハ人口反別ノ多ク屬スル市町村ニ引繼ヲ受ケサル關係市町村ヘハ其旨報告シ置クヘシ

四 本條ニノ場合ニシテ市町村吏員ニ變更ナキトキハ處分ノ日ヨリ十日以内ニ引繼キ其他ハ本條ノ一ニ準ス

第十九條 前條各項ノ場合ニ於テ市町村費ノ處分ハ左ノ各項ニ依リ市町村會ノ議決ヲ經テ施行スヘキモノトス

一 數市町村ヲ合併スル場合ニシテ各町村限リニ現存スル市町村費ハ各市町村限リノ地價割戸別割營業割ニ平分シテ定率ノ最寡額ヲ得タル市町村ノ定率ヲ標準トシテ之ヲ新市町村ニ引繼キ殘余アル分ハ元ト徴收シタル稅率ニ依準シ納稅人民ニ割戻スルカ又ハ部落限ノ共有財産トスヘシ

二 前條ニノ場合ニ於テ變更ノ土地物件ニ屬スヘキ市町村費ハ元ト徴收シタル稅率ニ準シ現在市町村費ヲ算出シ引繼クヘシ

三 前條ニノ場合ニ於テハ元ト徴收シタル稅率ヲ標準トシ分割シタル各部落限ニ引分ケ引繼クヘシ

(第一號書式)

當選狀

明治何年何月何日當市(町)(村)會ニ於テ名譽職(有給)町(村)長(助役)(收入役)ニ當選相成本縣知事(本郡々長)ノ認可ヲ得候ニ付此段及告知候也

年月日 何市(町)(村)會議長 何 某印

何市町村 何 某殿

當選狀

明治何年何月何日當市(町)(村)會ニ於テ何市參事會員(何市會議長)(何市町村會議員)(何々委員)(何々區長)(何々區長代理者)ニ當選候也

年月日 何市會議長 何 某印

(又ハ) 何市參事會市長 何 某印

(又ハ) 何町村長 何 某印

何市町村

何 某殿

(其他市町村ノ書記雇使丁等ハ市町村ノ適宜ニ辭令ヲ交付スヘシ)
(第二號書式)

承諾書

自分儀今般市(町)(村)會ノ選舉ニヨリ町(村)長(助役)(何市參事會員)(何市會議長)(何市町村會議員)(何々委員)(何々區長)(何々區長代理者)當選ノ旨承諾ス

年月日 何 某

(當選狀ヲ發シタル者ニ宛ツ)

殿

地方制門

廿五年九月 訓令 第百七十號

○訓令第百七十號 明治二十五年九月四日 郡役所 町村役場

町村役場處務規程左之通相定ム

但町村ニ於テ此規定ニ據リカマキ事情アルトキハ知事ノ認可ヲ經テ變更スルヲ得

第一役場

第一條 町村役場ハ其門戸ニ某郡某町村役場若クハ某町村組合役場ト表示スヘシ
第二條 町村役場ノ構造ハ左ノ方法ニ據ルモノトス但向後新築又ハ改築ノ際ニ設計スヘシ

一 町村會ヲ開設スルニ足ルヘキ一室及事務室宿直室小使室人民控室其他備品帳簿類ノ藏置所ヲ設クルコト

二 事務室ハ土間ニ接シ處用ノ人ハ總テ土間ヨリ事務員ニ直接スルノ便ヲ期シ収入役ノ事務室ハ仕切ヲ設クルモノトス

第三條 町村役場ニシテ人家ヲ借用シ家主又ハ他ノ住居人ト其家ヲ同フスルトキハ役場ニ屬スル室内ハ必ス之ヲ區別シ圍ヲ設クヘシ

第四條 町村役場ハ金庫ヲ備ヘ現金ノ保管ニ充テシムヘシ但別ニ爲替方ヲ置ク町村ハ此限リニアラス

第五條 町村役場ハ私事ニ關スル集合等ヲ爲スヲ得ス

第二處務

第六條 町村役場執務時間ハ休暇日ヲ除キ左ノ通トス但臨時急務アルトキハ本文ノ時間外若クハ休暇日ヲリトモ執務スルモノトス

四月二十日ヨリ七月十日マテ午後八時ヨリ
 七月十一日ヨリ九月十日マテ午後八時ヨリ
 九月十一日ヨリ四月十九日マテ午後九時ヨリ
 及役場ノ管守ニ充テシムヘシ

第七條 町村役場ハ町村長助役書記雇員ノ内壹名宛宿直シテ臨時急務ヲ處理シ

第八條 町村長以下諸吏員ハ出勤簿ニ檢印スルモノトス

第九條 収入役書記並雇員使丁ニシテ病氣其他故障アリテ勤務ヲ欠クトキハ町村長ニ届出ツヘシ

第十條 事務ノ執行ハ町村長助役(分掌事務及代理)又ハ町村役場ノ名義ヲ以テスヘシ但助役ノ分掌事務ト雖モ財産ノ管理ニシテ訴願ヲ提起シ又ハ町村會ノ議決ヲ經テ財産ヲ賣買交換スルカ如キハ町村長ノ名義ヲ以テスヘシ

第十一條 官廳若クハ他ヨリ受領スル書類ハ町村長ニ於テ發着簿ニ其件名等ヲ記入シ自ラ取扱フ事件ハ直ニ處分シ他ニ取扱ハシムル事件ハ豫メ處分ノ期限ヲ告ケ主任者ニ配付シ猶發送ノ書類モ該簿ニ登錄ノ上送達スヘシ但分掌事務又ハ代理ノ場合ハ助役ニ於テ本文ノ取扱ヲ爲スヘシ

第十二條 總テ重要ナル事務ハ成ルヘク町村長自ラ之ヲ取扱ヒ其他ノ事務ハ助役若クハ書記以下ニ取扱ハシムヘシ

第十三條 町村長ニ於テ助役又ハ書記以下ニ事務ヲ取扱ハシムルトキハ左ノ順序ニヨルヘシ

一 成規ニヨリ帳簿ノ調製方並帳簿ノ加除修正記入又ハ徵稅令書徵稅傳令書

其ノ他例規アル文書ノ執行ハ其都度口頭ヲ以テ主任者ニ命スヘシ

二 官廳ニ對シ稟議上申報告スヘキ事件又ハ他ニ應答照會命令承認スヘキ事件或ハ町村會區會ニ提出スヘキ議案等ヲ取扱ハシムルトキハ主任者ニ其文案ヲ起草セシメ自ラ專決シテ執行スヘシ

三 自ラ取扱ヒタルト他ニ取扱ハセタルトチ問ハス決裁シタル文案ハ總テ立案者及專決者ノ檢印ヲ用ヒ其書類ハ記錄ニ編纂スヘシ

第十四條 町村制第七十四條ニヨリ委員ノ議決ヲ以テ處分スルモノ及委員ノ分掌事務ハ其文案ニ委員ノ檢印ヲ爲スヘシ

第十五條 凡ソ一般人民ヘ告示スヘキ事件ハ總テ從來ノ慣行ニ據リ施行スヘシ若シ其慣行ヲ更ムル場合ハ町村會ノ議決ヲ採リ其趣ヲ告示シタル后施行スヘシ

第十六條 豫メ會議日ヲ定メ置ク町村ノ外町村會議員又ハ區會議員ノ招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ必ス文書ヲ以テスヘシ

第十七條 町村會又ハ區會ノ議案ハ文書ヲ以テシ提出者ニ於テ一定ノ方案ヲ設ケ之ヲ提出スヘシ

○訓令第百七十一號 明治二十五年九月四日 郡市役所 町村役場

市役所町村役場ニ備フヘキ帳簿並様式等別冊ノ通相定ム

(別冊)

第一條 市役所町村役場ハ左記帳簿ヲ備フヘシ

第二條 前條帳簿ノ外成規又ハ命令等ニヨリ時々調製スル帳簿諸表ノ類(官廳等ニ上申)

又ハ報告スヘキハ總テ記録ニ編纂スヘシ但市町村ノ便宜ニヨリ一種類毎ニ別
 モノハ其副本ハ總テ記録ニ編纂スヘシ但市町村ノ便宜ニヨリ一種類毎ニ別
 ニ編纂スルモ妨ケナシ

第三條 備付ノ帳簿又ハ從來ヨリ保存シ來ル舊帳簿圖書ニシテ廢棄セントス
 ルトキハ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 關係人民ノ申出ニヨリ帳簿圖書ヲ閱覽スルコトヲ許シタルトキハ市町
 村吏員ノ面前ニ於テ閱覽セシムヘシ

第五條 帳簿其他ノ書類ハ當該官廳若シハ市町村吏員ニシテ職務上必要ノ外妄
 リニ他ニ貸付等爲メテ得ス

名	稱	備	考
歸休兵並豫備後 備將校下士兵員	名簿	明治十九年陸軍省令甲第三十九號陸軍召集條例並 明治二十年本縣訓令第七十五號ニヨル	
(右全) 充員名簿	簿	右ニ全但全省令ノ召集令狀及全訓令ノ受領證料紙 ヲ備フヘシ	
徵馬命令及受領名簿	簿	明治二十四年本縣訓令第二百十六號ニヨル	
徵發ニ關スル事件取調 元帳	簿	明治十七年本縣乙第三十五號達ニヨル但明治十七 年甲第八十二號第六條ノ決定書ヲ備フヘシ	
(國稅ニ 關スル) 何(租)稅收納帳	簿	明治二十四年七月本縣訓令第五百一十一號ニヨル	
(右全) 隨時收入諸稅 地租(收納帳)	簿	右ニ全	
(右全) 國稅領収金日計 簿	簿	右ニ全	

廿五年十二月
廿四年七月
十五號へ截止
九

土地 臺帳	明治十八年本縣乙第五十八號ニヨル
土地所有者名寄帳	右ニ全但全達第四條第五條ノ帳簿圖書ハ別ニ保存 スヘシ
普通開墾地(地目變換 陸畔廢除)控帳	明治二十三年本縣訓令第三十五號ニヨル
自家用料酒鑑札料元帳	明治二十二年勅令第三十三號ニヨル但當分市町村 ノ適宜ニ調製スヘシ(市ハ明治廿二年本縣 訓令第九十五號參照)
菓子營業稅及製造稅元 帳	右ニ全
烟草營業稅元帳	右ニ全
賣藥營業稅元帳	右ニ全
船稅元帳	右ニ全
車稅元帳	右ニ全
牛馬賣買免許稅元帳	右ニ全
銃獵免許稅元帳	右ニ全
衆議院選舉人名簿	明治二十二年法律第三號明治二十三年內務省令第 二號全年本縣訓令第四十號ニヨル
地方收入簿	明治二十三年法律第八十八號及現行本縣地方稅徵 收法施行細則
右全收入臺帳	右ニ全

地方制門

廿五年九月 訓令 第百七十一號

縣會選舉人名簿	明治二十二年法律第六號ニヨル
戶籍簿	明治十九年內務省令第二十二號全年令省令第二十九號ニヨル
(市町村會)議事錄	市制第四十七條町村制第四十九條ニヨル但書式ハ別紙第一號ニ示ス
右全議決錄	市制第三十一條全第六十四條第二項第一町制第三十三條全第六十八條第二項第一ニヨル但書式ハ別紙第二號ニ示ス
市費町費收原簿	明治二十五年本縣訓令第三十號ニヨル
右全仕拂原簿	右ニ全
右全收入日計簿	右ニ全
右全出納簿	右ニ全
右全授業料徵收原簿	右ニ全
(市町)財產臺帳	市制第六十四條第二項第二第四町村制第六十八條第二項第四ニヨル但書式ハ別紙第三號ニ示ス
(大字及ハ)財產臺帳	市制第四十三條全第四十四條町村制第四十五條全第四十六條全第四十七條全第四十八條全第四十九條全第五十條全第五十一條全第五十二條全第五十三條全第五十四條全第五十五條全第五十六條全第五十七條全第五十八條全第五十九條全第六十條全第六十一條全第六十二條全第六十三條全第六十四條全第六十五條全第六十六條全第六十七條全第六十八條全第六十九條全第七十條全第七十一條全第七十二條全第七十三條全第七十四條全第七十五條全第七十六條全第七十七條全第七十八條全第七十九條全第八十條全第八十一條全第八十二條全第八十三條全第八十四條全第八十五條全第八十六條全第八十七條全第八十八條全第八十九條全第九十條全第九十一條全第九十二條全第九十三條全第九十四條全第九十五條全第九十六條全第九十七條全第九十八條全第九十九條全
學齡兒童就學猶豫又ハ免除簿	明治二十五年本縣令第二十一號ニヨル
印鑑簿	市町村住民ノ印鑑ヲ明ニスル爲メニ調製ス但書式ハ別紙第四號ニ示ス

市(町)(村)ニ屬スル諸證書綴	總テ市町村又ハ一部ノ公共ニ屬スル證明契約訴訟和解買賣讓與借用貸付等ニ關スル書類ヲ編纂ス
市(町)(村)職員錄	市町村吏員ノ任職退職ヲ明ニスル爲メニ之ヲ調製ス但書式ハ別紙第五號ニ示ス
庶務記錄	戶籍兵事議事選舉學務社寺土功其他稅務ニ屬セサル書類ヲ編纂ス
稅務記錄	國稅地方稅市町村稅其他會計出納ニ關スル書類ヲ編纂ス(出納事務ニ關スル支出) (課税ハ別ニ綴ルヘシ)
發著簿	明治二十五年本縣訓令第七十號ニヨル但書式ハ別紙第六號ニ示ス
出勤簿	右ニ全但書式ハ別紙第七號ニ示ス
諸帳簿并圖書控帳	備付ノ帳簿圖書一切ノ標目冊數ヲ記ス但書式ハ別紙第八號ニ示ス
本縣々令訓令內訓告示	
官報	

市役所ハ右ノ外猶左ノ帳簿ヲ備フヘキモノトス

窮民救助米代及棄兒養育米代人名簿	明治十六年本縣第七百五十九號達ニヨル
電信柱敷地手當金人名簿	明治二十四年本縣訓令第六十九號ニヨル

廿五年十一月一日
止五十九號達ハ別紙ニ示ス

地方制門

廿五年九月 訓令 第七十一號

賞勳年金及恩給拜受者 人名簿	明治二十五年本縣訓令第十四號ニヨル
徴兵署 備品 現在簿	明治二十四年訓令第二十五號ニヨル
右全備品番號簿	右ニ全
徴兵 假決名簿	明治二十二年勅令第十三號ニヨル

凡例

- 一 記録ハ曆年毎ニ編纂スヘシト雖モ市町村ノ便宜ニヨリ之ヲ數ヶ月毎ニ編纂シ又ハ各種類毎ニ編纂スルモ妨ケナシ但徴税ニ關スル令書等ハ會計年度ニヨリ別途ニ編纂保存スヘシ
- 一本縣々令訓令内訓令告示諭ハ曆年毎ニ編纂スヘシ但公文式ニヨリ新聞紙ニ掲ルモノニシテ必要ノ事項ハ謄寫ノ上編纂スヘシ
- 一 官報ハ官報附録ノ法令全書又ハ其他ノ書籍ニテ法律勅令閣省令訓令告示諭等ノ便覽及保存ノ方法ヲ得ルニ於テハ滿二年後廢棄スルモ妨ケナシ
- 一 町村制第十六條第二項ニヨリ町村組合ヲ設ケタル町村ハ組合規定ノ必要ニ隨ヒ便宜帳簿ノ分合又ハ區別ヲ爲スヘシ
- 一 大字又ハ一區一部落ノ事務ニ關シ本文ニ列記スル帳簿ノ外特ニ帳簿ヲ要スル場合ハ別途調製スヘシ
- 一 帳簿ハ總テ堅牢ナル表裝ヲ爲シ帳箱ニ藏置スヘシ

(紙表)

(第一號書式)

市(町)(村)會(市參事會)區會

議 事 錄

(曆年毎ニ調製スヘシ)

何 市 役 所
何 町(村) 役 場

何々會議事錄

何年何月何日午前第何時開議

(初會若クハ改選後始メテ開議シタル議事錄ニハ左ノ番號人名ヲ登記ス)

本會ニ於テ議事細則第何條ニヨリ抽籤ヲ以テ席順ヲ定ムル左ノ如シ

何番何某 何番何某 何番何某(以下順次ニ記ス)

右畢テ議長ハ第何號議案(何々豫算案)ノ第何次會ヲ開ク旨ヲ述フ書記朗讀ノ

議案左ノ如シ

何々案

第一條 何々

第二條 何々(以下議案ノ全文ヲ記ス但説明書參考書ハ省クモ妨ケナシ)
本案審議ノ末

本案ヲ可トスルモノ

起立何名(可決)

本案ヲ修正(廢棄)スル何番ノ説ニ

起立何名(否決)

次ニ議長ハ何々案(何々豫算案)ノ第二次會ヲ開ク旨ヲ述テ書記朗讀ノ議案左
ノ如シ

一金若干

何々々々 費

但何々

(又ハ)

第一條 何々

本案審議ノ末

豫算金ヲ何々理由ニヨリ若干ニ増(減)スルト云何番ノ動議ニ

(又ハ)

起立何名(可決)

本條何々ノ文字ヲ何々ト修正(削除)スル何番ノ説ニ

起立何名(否決)

(又ハ) 本項異議ナク原案ニ可決

(又ハ) 本條異議ナク原案ニ可決

(又ハ) 本項豫算(本條)原案賛成者何名動議何名ニシテ可否同數ナルヲ以テ

再議スルモノトシ議長ハ追テ附議スル旨ヲ述テ(或ハ)再議ノ末猶前議ノ

可否ニ同シキヲ以テ議長ハ職權ヲ以テ遂ニ(何々ノ説)(原案ニ)決ス

(紙表)

市(町)(村)會(區會)
議決錄

(曆年毎ニ調製スヘシ)

何市・役所
何町(村)役場

(第二號書式)

(以上賛成者ナキ説及賛成者アルモ成規ニ充タズ點檢セサルモノハ總テ省ク)
(其他速記等ノ方法ヲ以テ各議員及辯明者ノ言論ヲ記載スルモ妨ケナシト雖
モ議事録ト區別スヘシ尤モ市町村會ニ於テ選舉ヲ行フトキノ願末ハ明治二十
二年本縣訓令第二十九號ノ書式ニ準シ記載スヘシ)
(會期毎ニ左ノ與書ヲ爲シ調印スヘシ)
右自何月何日至何月何日會議ノ願末相違無之候也
年月日

議長 何 某
議員 何 某
議員 何 某
書記 何 某
(以下總テノ議員連署スルモ妨ケナシ)

<p>市(町)(村)會議決録 明治何年月自何日議決</p>		<p>原案</p>		<p>議決</p>	
<p>何市(町)(村)明治何年度歳入出總計豫算</p>	<p>歳入</p>	<p>(全上)</p>	<p>歳入</p>	<p>歳入豫算高</p>	<p>歳入</p>
<p>一金</p>	<p>歳入豫算高</p>	<p>歳</p>	<p>歳入豫算高</p>	<p>歳入豫算高</p>	<p>歳入</p>
<p>一金</p>	<p>出</p>	<p>歳</p>	<p>出</p>	<p>經常費豫算高</p>	<p>出</p>
<p>一金</p>	<p>經常費豫算高</p>	<p>一金</p>	<p>經常費豫算高</p>	<p>經常費豫算高</p>	<p>經常費豫算高</p>
<p>一金</p>	<p>臨時費豫算高</p>	<p>一金</p>	<p>臨時費豫算高</p>	<p>臨時費豫算高</p>	<p>臨時費豫算高</p>
<p>合計金</p>	<p>合計金</p>	<p>合計金</p>	<p>合計金</p>	<p>合計金</p>	<p>合計金</p>
<p>右議決豫算高ニ對スル歳入出豫算表左ノ如シ (豫算表ハ明治二十二年内務省令第二號書式ニ依リ記載ス) (又一例)</p>			<p>原案</p>		
<p>第何條</p>	<p>何々税(賦課)(徵收)法</p>	<p>議決</p>	<p>何々税(賦課)(徵收)法</p>	<p>決</p>	<p>第何條</p>
<p>第何條</p>	<p>但</p>	<p>第何條</p>	<p>但</p>	<p>第何條</p>	<p>第何條</p>
<p>第何條</p>	<p>削除</p>	<p>第何條</p>	<p>削除</p>	<p>第何條</p>	<p>第何條</p>

<p>(紙表)</p>	
<p>(第三號書式)</p>	<p>何市役所</p>
<p>何(町)(村)有財產臺帳 (又ハ何市町村ノ内何大字若クハ何々)</p>	<p>何町(村)役場</p>
<p>土地ノ部</p>	
<p>何國何郡何市(町)(村)(大字何(字何)何番 一田(畑)(宅地)(山林)(原野)反別何町何反步 (基本財產) 地價金何百何圓 (買收價格何百圓) 地租金何圓</p>	
<p>備考 何年何月何日買收從來持續ノ土地ニシテ何町何村何某ヘ小作定約(貸借)使 用契約書ハ市町村ニ屬スル諸證書綴ニ編纂ス又ハ市町村條例第何條ニ ヨリ</p>	
<p>(其他一筆毎ニ右ニ倣フ) 現金公債證書ノ部</p>	

<p>第何號(其他符號アル) 一 公債證券面何千何百圓</p> <p>但何々公債證券何歩利付(買收價格何百圓)</p> <p>備考 (其他拂込未済ノ券證ハ拂込手續ノ要領ヲ記ス) 何年何月買收利子ハ年々町村歳入豫算ニ組入又ハ利子ハ何學校ニ支出 (其他枚數毎ニ記ス) 一金何千何百圓</p> <p>但何年何月豫金預又ハ何々國立銀行預利子何圓</p> <p>備考 (前ニ準ス)</p> <p>營造物ノ部</p> <p>何那何市(町)(村)大字何(字何)何番地(又ハ)何市町村何某所有地建設 一 建築何棟</p> <p>但平屋(瓦葺)(萱葺)ニ階付桁行何間梁間何間下屋(何間何尺)付</p> <p>備考 (警備消防番小屋(每渡人又ハ配水人番小屋)採穀番倉(連病院(育兒院)等)ノ名 義ヲ記シ貨家ノ類ハ土地ノ備考ニ附シ契約書等ヲ概記ス) 何那何市(町)(村)何河川字(何用水井手字何) 一 橋梁(種)(水門)(何々)</p> <p>但土(石)(木)(鉄)造縦何百何間横(廻リ)何間(何尺)</p> <p>備考 (何年何月何日築造建築費何百何拾圓(橋ニシテ橋賃ヲ收納スルモノハ何市(町)(村)條例何條ニヨリ何々ノ手續ニヨル等要領ヲ概記ス) 器具備品ノ部</p>	<p>基本財産</p>
--	-------------

<p>(紙表)</p> <p>印鑑簿</p> <p>何市役所 何町(村)役場</p>	<p>(第四號書式)</p> <p>(右ノ外一市町村若クハ市町村内ノ一部ニ係ル市町村立學校備品又ハ公共事業ニ屬スル備品或ハ一町村共有ノ船車器械等洩ナク記載スヘシ若シ調製ノ後改造廢棄ニ屬スルモノハ適宜其要項ヲ朱記シテ市參事會若クハ町村長ノ捺印ヲ用ユヘシ)</p>	<table border="1"> <tr> <th>名稱</th> <th>個數</th> <th>附屬品</th> <th>所在</th> <th>保管人</th> </tr> <tr> <td>卓子</td> <td>何製幾</td> <td>水管何百尺幾</td> <td>市役所</td> <td>市參事會 何 某</td> </tr> <tr> <td>唧筒</td> <td>何製幾</td> <td></td> <td>町村役場</td> <td>町村長 何 某</td> </tr> <tr> <td>寢臺</td> <td>何製幾</td> <td></td> <td>消防器械藏置所 (又ハ町村役場)</td> <td>消防組長 何 某</td> </tr> <tr> <td>(以下右ニ準ス)</td> <td></td> <td></td> <td>何々病院 (又ハ町村役場)</td> <td>避病院番人何 某 (又ハ町村長衛生委員何某)</td> </tr> </table>	名稱	個數	附屬品	所在	保管人	卓子	何製幾	水管何百尺幾	市役所	市參事會 何 某	唧筒	何製幾		町村役場	町村長 何 某	寢臺	何製幾		消防器械藏置所 (又ハ町村役場)	消防組長 何 某	(以下右ニ準ス)			何々病院 (又ハ町村役場)	避病院番人何 某 (又ハ町村長衛生委員何某)
名稱	個數	附屬品	所在	保管人																							
卓子	何製幾	水管何百尺幾	市役所	市參事會 何 某																							
唧筒	何製幾		町村役場	町村長 何 某																							
寢臺	何製幾		消防器械藏置所 (又ハ町村役場)	消防組長 何 某																							
(以下右ニ準ス)			何々病院 (又ハ町村役場)	避病院番人何 某 (又ハ町村長衛生委員何某)																							

帳簿用紙ハ厚紙ヲ用ヒ差紙ハ奉書往來紙等ヲ用ヒ寸法適宜

何年何月何日届

剛

(又ハ改印)

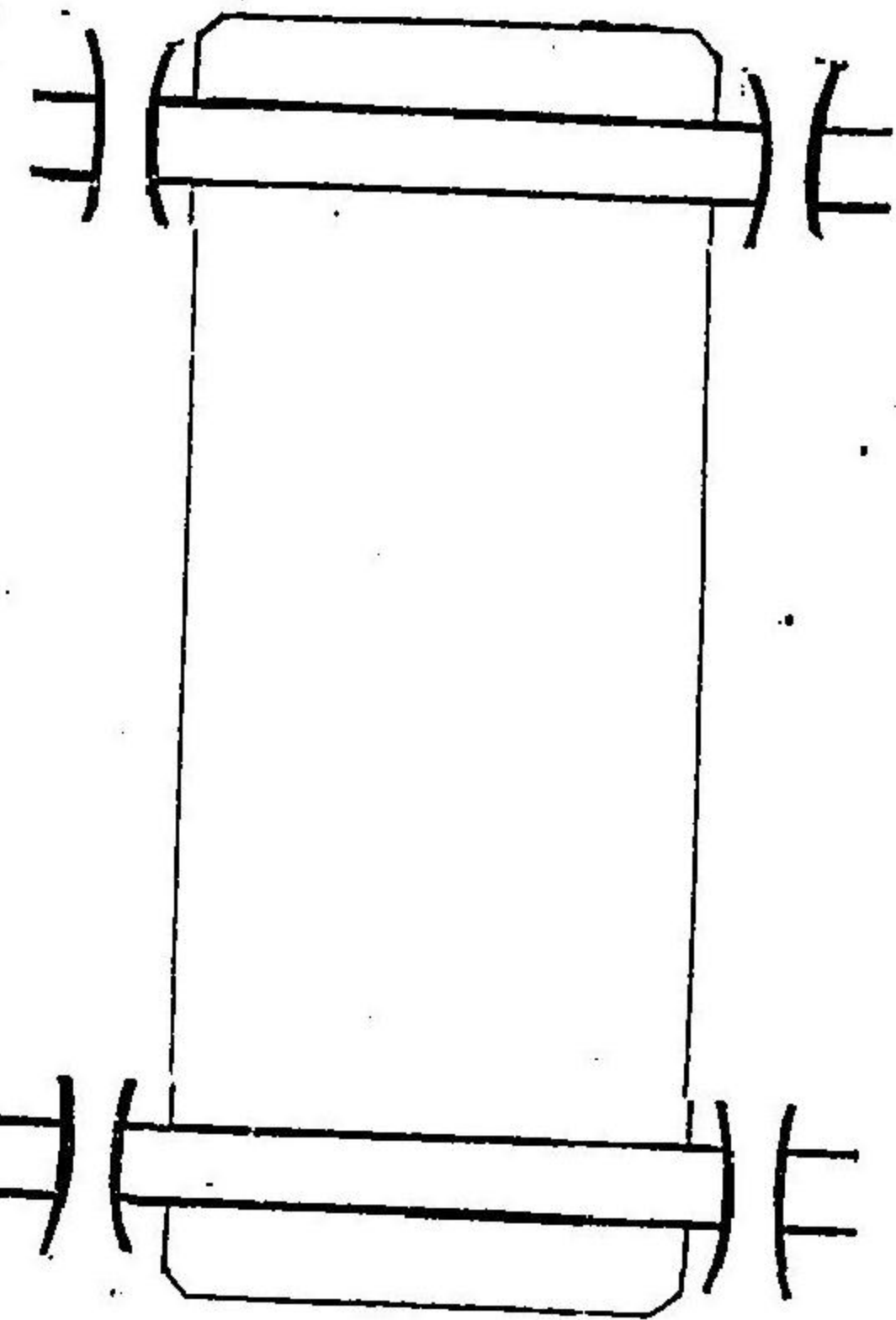
(大字等ノ名稱ヲ登記スルモ妨ケナシ)

何番地 何 某

(以下いろは順等ニヨリ列記スル等適宜タルヘシ)

(本書式ハ既ニ調製シタル市町村ニシテ格別異ナラサルモノハ別段改ムルニ及ハス)

(又一例)



(第五號書式)

(紙表)

職員録

(便宜横帳ニ製スルモ妨ケナシ)

何市役所
何町(村)役場

(帳簿用紙ハ厚紙ヲ用井差紙ハ程村又ハ奉書往來紙等ヲ用ユ寸法適宜)

名譽職

族籍

何年何月何日就任

(有給俸何年何月)

市(町村)

長何

某

生年月

<p>(右ニ全) (右全) 助役(名譽職參事會員)何 某 <small>族籍</small> 生年月 某</p>	<p>何年何月何日就任 <small>(半收改選(解散)ニ付選擧何某補欠ノ別類又ハ一二三級ノラ付記スヘシ)</small> 市(町)村(會議員)何 某 <small>族籍</small> 生年月 某</p>	<p>(右ニ全) 月給何圓 (收入役) (書記) (使丁) 何 某 <small>族籍</small> 生年月 某</p>
--	---	---

(以下常設委員組合會議員水利組合會議員區長區長代理者市町村立又ハ市町村立代用學校職員神宮氏子總代消防役員並消防夫等右ニ準シ登記ス)

(又一例)

<p>、、、、(朱書)何年何月何日 、、、、何々ニ付退(辭)職 、、、、(又ハ免職)</p>	<p>退職ノ部(末尾ニ退職ノ部ヲ設ケ置退職者アルトハ朱書ヲ以テ記入ノ上挿入シ置クヘシ)</p>
--	---

又市町村ノ注意ニヨリ此帳簿ノ附録トシ開業醫獸醫産婆藥劑師針灸醫ノ類若クハ代言人公證人銀行員諸會社員(以上ニ項ハ)又ハ私立學校職員教育會員衛生談話會員農談會員等ノ名簿ヲ調製スルヲ要ス但政治宗教ニ關スル分ハ登記ノ限ニアラス

(第六號書式)

(紙表)

發着簿

(曆年毎ニ調製スヘシ)

何市役所
何町(村)役場

受ノ部

何月何日	受付月日	出生届何某	件名	事主	取扱主任	處分	月日
					(檢印)		何月何日記帳

發ノ部		受ノ部	
何月何日	何々ニ付照會	何市町村長	(檢印)
、、、、	何々ニ付訓令	本縣知事(郡長)	(檢印)
、、、、	、、、、	、、、、	何月何日回答
(以下右ニ倣フ)			、、、、
執行月日	件名	取扱主任	宛
何月何日	何々ニ付認可	(檢印)	何某
何月何日	何々ニ付届(報告)	(檢印)	本縣知事(郡長)
何月何日	何々ニ付照會	(檢印)	何市町村長
(以下右ニ倣フ)			郵便
			小使何某印
			押立使
			使人何某印

(發送ノ番號ヲ用アル市町村ハ外ニ欄ヲ設クルモ妨ケナシ)

一 戶籍簿	何年何月何日	何	
一 土地臺帳	調製 (右ニ全シ)	何	冊
一 何々記録	何年分	何	冊
一 何々記録	何年分	何	冊
一 地方收入臺帳	何年何月	何	冊
一 稅	何年何月	何	冊
一 何々圖面	調製	何	冊
一 何々證書綴	自何年何月 至何年何月	何	冊

(其他役所役場備付ノ帳簿圖書ヲ記ス但官報ノ如キ日々増殖スルモノハ此帳簿
 調製當日ノ現在數ヲ末尾ニ記シ置以來六ヶ月毎ニ其號冊數等ヲ記入シ置クヘシ)
 (又引繼事務ノ際ハ末尾ニ左ノ通記スヘシ)
 右之帳簿並圖書共悉皆受渡候儀相違無之候也

元市町村長	何	某	檢印
市町村長	何	某	檢印
(又ハ)收入役	何	某	檢印
郡	何	某	役所

○訓令第七十二號 明治二十五年九月四日
 本年九月訓令第六十二號ヲ以テ市町村巡視規程相定候處猶右巡視員心得左之
 通相定ム

市町村巡視心得

第一條 市町村巡視員ハ巡視規程第四條ノ各項ニ付精實公正ニ視察ヲ遂クヘシ
 第二條 町村ニ對スル第一次監督官廳ノ巡視ハ一回ハ必ス郡長ニ於テスヘシ

第三條 巡視規程第四條ノ事項ハ左ノ順序ニ依リ巡視スヘシ
 第一項 第五項第十七項ハ巡視員ニ於テ臨機ノ注意ヲ以テ調査スヘシ
 第二項 受付書類ニ就キ件數ヲ調査シ書類發着ノ順序又ハ處分期限税金徵收ノ便
 否及區長ヲ置ク市町村ハ區長ノ取扱事務等ニ就キ繁閑便否ノ實況ヲ視察スヘシ
 第三項 各項支辨ノ經費ヲ調査シ其需用費職員給料等ノ支出ニ停滯スルコト
 ナキヤ否ヤヲ調査シ又臨時若クハ常設ノ委員ヲ置ク市町村ハ該委員分掌事
 務ノ適否及整理又ハ時宜ニヨリ土木事業ノ現場學校試驗田等ヲ踏査スルコ
 アルヘシ
 第四項 巡視各項ニ就キ注意調査スヘシ
 第六項 第七項ハ執行ノ場合ニ限ル
 但執行ノトキハ選舉掛ノ處置若クハ其他ノ手續選舉規定ニ違背スルコト
 ナキヤ否又會議ノ法ニ協フヤ否ヤヲ視察スヘシ
 第八項 決議録ヲ基礎トシ諸般ノ帳簿書類又ハ實地ニ就キ調査スヘシ
 第九項 第十三項ハ市町村出納檢閱例規ニ據ルヘシ
 第十項 歳入豫算書ニ就キ地價割戸別割營業割等ノ各權衡雜收入ノ各項特別
 稅ノ適否又ハ負債ノ多寡及其手續等ヲ調査スヘシ
 第十一項 基本財産及營造物ノ臺帳及公債證書又ハ貸金ニ屬スルモノハ抵當物
 件ノ適否利子徵收等ニ就キ調査スルモノトス
 第十二項 金庫藏置所ノ適否錠鑰ノ取締ヨリ宿直員ノ受渡物品臺帳及現品等
 ニ就キ調査スヘシ

地方制門

廿五年九月 訓令 第七十二號

第十四項第十五項ハ國稅並地方稅ニ關スル帳簿等ニ依リ市町村出納檢閱例規ニ準シ査定スヘシ

第十六項ハ吏員擔當事務ノ適否及各主任取扱ノ事件市町村長等決裁ノ順序並税金徴收ノ手續若クハ期限アル事務ノ注意上ニ就キ調査スヘシ

第十八項ハ出勤簿又ハ病氣引入等ノ屆書私事故障ノ多寡等調査スヘシ

第十九項ハ監督官廳ノ處分ニ屬スルモノハ其執行市參事會又ハ町村長ノ處分ニ屬スルモノハ其當否並執行ヲ調査スヘシ

第二十項第二十一項第二十二項ハ書類及帳簿等ニ就キ調査スヘシ

以上數項ハ其要領ヲ掲グルモノニ付實際ニ臨ミ巡視員ノ注意ヲ以テ便宜調査スルコトアルヘシ

第四條 巡視員ハ巡視シタル事項ニ付テハ知事郡長ニ復命スルノ外秘密ニ取扱ヒ他ニ漏洩スルヲ得ス

第五條 屬官郡書記ニシテ巡視員タル場合ハ巡視事項ヲ視察スルノ外知事郡長ノ命令ヲ待タズシテ直ニ指揮スルコトヲ得ス但法律命令ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ市町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得若シ錯誤違法ノ廉輕微ナラスシテ差置キ難キモノハ即時知事若クハ郡長ニ報告スヘシ

第六條 巡視員巡視ノ復命書ハ歸廳後五日以内各其長官ニ復命スヘシ

但町村ニ對スル第一次監督官廳ノ巡視ニ係ルモノハ郡長ノ意見ヲ附シ知事ニ報告スヘシ

第七條 市町村出納檢閱例規ニ依リ檢閱スルトキハ總テ巡視員心得ニ準據スヘシ

第八條 巡視員ノ復命書ハ左ノ様式ニ依ルヘシ

復命書

何郡(市)何町村	
巡視事項	實地ノ概況
一 市町村内全体ノ狀況	(視察シタル要領ヲ摘記ス以下同シ)
二 市町村事務ノ狀況	或ハ(本項ノ事情ハ頗ル難敷ニ涉リ本欄ニ記シ能ハサルヲ以テ欄外別紙ニ詳記ス)
三 市町村事務ノ成績	
四 市町村吏員ノ處置法律命令ノ規定ニ違背スル處ナキヤ否ヤ	
五 吏員ノ部民ニ對スル接遇	
六 市町村會議員及吏員選舉ノ景況	
七 市町村會及區會々議ノ景況	
八 市町村會及區會議決ノ執行	
九 市町村費豫算決算ノ整理	

十	市町村經濟ノ狀況	
十一	市町村基本財産其他市町村有及市町村内部分ノ財産並遺物ノ管理保管又ハ其事務監督	
十二	金穀物品ノ保管	
十三	市町村費出納ノ正否	
十四	市町村稅其他ノ收入ニ關スル賦課徵收	
十五	國稅地方稅ノ賦課徵收	
十六	市役所町村役場事務分課及執務ノ休養	
十七	市町村吏員選任ノ當否	
十八	市町村吏員ノ勤惰	
十九	吏員懲戒處分	
二十	諸證書及公文書類ノ整理	
廿一	諸帳簿ノ整理並加除修正	
廿二	町村組合事務整理	
廿三	何々	

(本紙ハ一市町村毎ニ記載スヘシ)

何(市)郡 何(町)村

一右(市)(町)村ニ於テ事務取扱上錯誤(違法)ノ件左ノ通ニ有之候

一何々ニ依リ何々シタル事

但其手續ハ、、、、、、(其手續ヲ詳記スヘシ)

一何々ニ關シ(市)(町)村長ノ處置ヲ誤リタル件

但別紙本人ノ手續書ヲ附ス(違法又ハ怠惰ノ爲メニ不都合ヲ釀シ懲戒

處分ニ依ルヘキモノト認ムルモノハ詳細ノ手續書ヲ徵スヘシ)

一何々錯誤ノ件

一何、、、

以上二項ハ事輕微ナル事柄ト認メタルヲ以テ(市)(町)村長ニ注意ヲ加ヘタル處直ニ其處分ヲ更メ(又ハ訂正ヲ爲シ)タリ

(以下各町村列記スヘシ)

右復命候也

年 月 日 巡視員 官 姓 名

宛

○訓令第七十三號 明治二十五年九月五日 郡役所 町村役場
町村役場事務取扱方別冊ノ通心得ヘシ

(別冊)

第一 庶務

- 第一 町村助役ハ分掌事務及町村長代理ノ場合ニアラサレハ報酬ヲ受クルヲ得ス
- 第二 町村制第六十九條ノ分掌ハ町村會ノ同意ヲ要ムル限リニアラス但本項ノ事務分掌ノミニ係ルトキハ報酬ヲ受クルヲ得ス
- 第三 町村助役ニシテ町村制第七十條第三項ニ依リ町村長ノ職務代理中町村ニ關スル訴訟ニ就テハ該助役ニ於テ當事者タルヘキモノトス
- 第四 常設委員ハ専ラ諮問員トシテ設クルヲ得ヌ又分掌ヲ定メヌシテ町村一般ノ行政事務ニ參與セシメ及國ノ行政並府縣ノ行政事務ヲ分掌セシムルコトヲ得ス但小學校令ニヨリ學務委員ニシテ別段ノ規定アルモノハ此限リニアラス
- 第五 町村制第十六條第二項町村組合ニシテ委員ヲ設クルトキハ組合町村各自ノ委員トシテ之ヲ設ケス總テ組合全部ノ委員ヲ設ケヘシ
- 第六 町村長ハ特別ナル場合ニシテ助役若クハ書記ヲシテ一時收入役ノ代理ヲ爲サシムル場合又ハ町村制第六十二條末項ノ外收入役ニアラサル町村吏員ニ現金ヲ取扱ハシムヘカラス
- 第七 區長及代理者ノ外組長及肝煎等ヲ置クヲ得ヌ又區長代理者ニ報酬ヲ與ルヲ得サルモノトス
- 第八 町村ノ書記ハ便宜收入役ニ分屬セシムルコトヲ得
- 第九 町村制第十六條第一項ニヨリ町村組合經費豫算ハ關係各町村限リノ經費豫算及市町村稅

第二 豫算決算及市町村稅

常費豫算議定前ニ議了スルヲ要ス

- 第十 新タニ十功等ノ事業ヲ起サントスルトキハ一町村ハ其町村會數町村ニ關係スルモノハ町村長ニ於テ各自町村會ノ意見ヲ聞キ一町村ハ町村長數町村ハ各町各町村長連署ヲ以テ其設計ノ許可ヲ知事ニ稟請スヘシ
- 第十一 前條ノ事業ニシテ許可ヲ得工事ノ方法及費用ヲ知事ヨリ指示シタルトキハ更ニ其町村會ニ於テ處理シ數町村ハ町村制第十六條第一項同第十七條第一項ニヨリ町村組合ヲ設ケ處理スヘシ
- 第十二 町村制第七條ノ豫算及組合町村ノ經費豫算並水利組合費ノ豫算ハ明治二十二年內務省令第二號ニ依リ之ヲ調製シ其記載方ハ明治二十三年本縣訓令第四號ニ依ルヘシ
- 第十三 町村ノ土木費豫算ニシテ地方費ノ補助ヲ受クルモノハ明治二十四年六月本縣訓令第十六號第二條第二項ノ手續ヲ了ヘタル後議會ニ提出スヘシ
- 第十四 町村制第十六條第一項ニ依ル町村組合ノ費用ハ成ルヘク一町村限リノ分擔額ヲ定ムルニ止メ課稅ノ細目ハ各町村會ノ議決ニ分任スルヲ要ス
- 第十五 前條ノ豫算歲入分擔書式ハ町村歲入出豫算表記載例第十四項ノ書式ニ依ルヘシ
- 第十六 地租限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅又ハ間接國稅ノ附加稅ヲ賦課シ若クハ特別稅ヲ新設變更スル町村會議決ヲ町村制第二十六條ニ依リ許可ヲ稟請スルモノハ別紙第一號書式ニ依ルヘシ
- 第十七 前項ノ場合ニメ數ヶ年ニ亘ル事業ハ其初年度ニ於テ豫メ許可ヲ稟請スルヲ要ス

廿六年六月
第十項
改正

得其他ノ稟請ハ年度内ニ於テ實際收支シ得ヘキ見込アル場合ニ之ヲ稟請スヘシ
第十七 水利組合費ハ地租七分ノ一ノ制限外トス
第十八 地方税中日税ニシテ二月ニ渉ラサルモノニ對シテハ町村税(附加税)
ハ賦課スルヲ得サルモノトス

第十九 町村税ハ其年度前ニ徵收スルヲ得ス但當該年度町村税徵收以前ニ於テ
全年度ノ費用ヲ支出セントスルトキハ町村制第六條末項ノ場合又ハ前年度
繰越金若クハ該年度雜收入ヲ以テ便宜支出ニ充ツルヲ得
第二十 荒地免租ト爲リタル時地租ニ附加セシ既收ノ町村税ハ町村制百條ニ
依リ月割ヲ以テ計算シ荒地免稅届出ノ翌月以後ノ分ハ返還スヘキモノトス

第二十一 町村税等過誤納金下戻ノ免責時効ニ關シ町村制百二條第三項ニ依
ルヘキモノハ明治二十二年二月法律第四號會計法第十八條ノ規定ニ從フヘシ
其他町村ニ於テ仕拂フヘキ義務ニシテ其免責時効ニ關シ別段ノ法律ナキモノ
ハ一般民事上ノ規定ニ從フヘキモノトス

第二十二 町村制第九十一條第二項ニ據リ司法裁判所へ出訴シタル場合ニ於テ
ハ科料ノ處分ハ裁判確定迄ハ執行ヲ停止スヘキモノトス
第二十三 町村制百二十二條ニヨリ知事若クハ郡長ヨリ理由ヲ示シテ其支出
額ヲ定額豫算表ニ加ヘタル場合ニ於テハ其收入ハ更ニ町村會ニ於テ議決スヘ
キモノトス

第二十四 現品夫役ヲ賦課シ之ニ應セサルトキハ急迫ノ場合ニシテ賦課シタル
モノ、外總テ算出シタル金額ヲ以テ不納處分ヲ爲スモノトス

第二十五 町村制第八條ニヨリ町村費ヲ増課セラレタルモノニシテ其年限中公
民權ノ消滅スル場合ハ同時ニ之ヲ停止シ若シ再ヒ公民權ヲ有シ増課ノ年期限
殘ルモノハ前後通算シテ殘年期限増課スルコトヲ得

第二十六 町村長ニ於テ明治十五年第四十九號布告行旅死亡人及明治十六年太
政官第八號達ニヨリ傳染病ニ罹リタル赤貧者若クハ行旅病人ニ關スル事務ハ
町村制第六十九條ニ依ルモノニシテ右ニ關ル費用ハ一時市町村ニ於テ繰替ヘ
キモノトス

第二十七 町村税ハ町村制第九十七條ノ土地家屋ハ勿論自町村ノ共有ノ土地家
屋等ニ賦課スヘカラス但町村組合水利組合ニシテ本文ノ物件ヲ共有スルトキ
モ亦全シ

第二十八 町村制第九十七條中ニ列記スルモノ、區分ハ左ノ通り心得ヘシ
一 學藝美術及慈善トアルハ私立ハ包含セズ
二 社寺ハ民有地第一種ノモノモ包含ス
三 民有ト雖モ水源涵養風防ノ山林ハ免稅トス

第二十九 町村制第八十一條第二項ノ臨時收入トハ經常歲入出豫算表ニ登載ス
ヘキ收入外ノモノニシテ使用ノ目的ヲ指定セサル寄附金又ハ支出ノ目的ヲ
シテ收入シタル共有財產賣却代ノ類トス

第三十 町村會議員改選期ニ際シ町村制第三百二十五條ニヨリ人口ノ増減ヲ來シ
町村制第十一條議員々數ニ異動ヲ及ボスハ左ノ規定ニヨルヘシ

一 増員ノ場合ニ於テハ半數ノ現任議員ヲ解任シ増員セシ總數ニ對スル不足議員ヲ選舉シ尙其中ヨリ抽籤ヲ以テ定員ノ半數ニ餘ル議員ノ任期ヲ從來ノ現在議員ト同一ナラシム

二 減員ノ場合ニ於テハ半數ノ現任議員ヲ解任シ尙殘任期アル半數議員中ニ就キ抽籤ヲ以テ定員ノ半數ニ餘ル議員ヲ解任シ且其定員ノ半數ヲ選舉セシムヘシ

第三十一 町村内ノ區會議長ハ町村長之ニ任スヘキモノトス

第三十二 町村制第十五條第二項ニ該當セルモノト雖モ選舉人名簿ニ登録セラレ且ツ議員ニ選舉セラレ、トヲ得ルニヨリ其當選者若シ本職ノ爲ニ當選ヲ辭スルトキハ制第八條第二項四ノ場合ニ於ケル辭選者ト一般更ニ改選ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

第四 訴願

第三十三 町村制第八條ノ議決又ハ町村制第三十七條ノ議決ニ對スル訴願ハ町村會ヲ以テ訴願法第二條ノ行政廳ト見做シ總テ該會ヲ經由スヘキモノトス

第三十四 町村會議員ノ選舉二日以上ニ涉ルモノハ選舉等級ノ如何ニ拘ハラズ選舉終結ノ日ヲ以テ町村制第二十九條ノ訴願期限ノ起算點トス

第三十五 町村制ニ依ル訴願ノ手續ハ町村制ニ別段ノ規定アル場合ノ外訴願法ニ依ルヘキモノトス

第三十六 町村制第三十條第三項町村會裁決ノ不服及ヒ町村制第七十八條ノ異議等ニ依リ郡參事會ニ訴願スル期限ハ町村制第百廿條第二項ニ依ルモノトス

第三十七 町村會議員ニシテ選舉ニ關シ訴願スルモ自身ノ選舉ニ關シ自ラ訴願

セル場合ヲ除ク外其處分ノ會議ニハ町村制第四十五條ニヨリ退席スルニ及ハサルモノトス

第三十八 町村會又ハ町村長ニ於テ訴願ニ對シ處分スルトキハ總テ文書ヲ以テスヘシ其文例ハ別紙第二號書式ニヨルヘシ

(第一號書式)

- 一 町村歳入一覽表 別紙第一號表式ニ準ス
 - 一 同 歳出一覽表 別紙第二號表式ニ準ス
- 但此歳出一覽表ハ地租制限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅又ハ特別稅若クハ間接國稅附加稅ノ賦課ヲ議決シタル豫算ノ歳出ヲ掲クヘシ若シ其豫算二種以上ニ涉ルモノハ格別ニ調製スヘシ
- 一 地租制限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅又ハ特別稅若クハ間接國稅附加稅賦課ニ關スル町村會議決書及其理由書
 - 一 同上議決書ニハ賦課ノ年度地租制限外其他直接國稅ノ百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ハ超過金額及其課率(課率金額ハ厘以)特別稅間接國稅附加稅ハ課稅物件課率等ヲ明記スヘシ
 - 一 同上ニ關スル町村長ノ稟請書中ニハ其課稅ヲ要スルノ費途及議決ヲ爲シタル會議名ヲ掲クヘシ
 - 一 町村組合町村學校組合ニ係ルモノハ前各項ニ準シ調製スヘシ

熊本縣某郡某村明治何年度歳入一覽表 ①(第一例) ②印ハ朱書

費 途	町		村		本 町		本 村		同 時		同 時		何 々		何 々		合 計		
	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	附 加	特 別	
地價割	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
戸別割	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
營業割	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
附加税	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
特別税	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
其他ノ 収入	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
計	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一	此七分一
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

凡 例

一 費途ノ欄ニハ地租制限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ特別税
 若クハ間接國稅附加税ノ賦課ヲ要スル費途ヲ墨書シ其他ノ費目ハ朱書スヘシ
 一 其他ノ收入ノ欄ニハ課税外一切ノ收入即チ雜支入使用料手数料國庫及地方
 税交付金財産ヨリ生スル收入等ヲ合計シテ記入スヘシ
 一 特別税中町制第百二十六條ニ依リ許可ヲ要セスシテ從前ノ儘存置シタル
 モノハ特別税ノ欄特別税目ノ肩書ニ存置ノ二字ヲ票記スヘシ
 一 地租制限外課税ノ場合ニ於テ各費途ノ豫算議決ノ時ヲ異ニシテ從ツテ其地
 租額ニ異動アルトキハ各々地租壹圓ニ對スル課率ヲ算出シ之ヲ合計シテ最
 近地租額ニ乘シ地價割總額ヲ算出シ之レヨリ最近地租額ノ七分ノ一ヲ引去
 リ以テ超過額ヲ算出スヘシ
 一 但各費目ノ課率ハ地價割ノ下段ニ同上課率ノ一欄ヲ設ケ之ニ記入スヘシ
 一 地租制限外課税ヲ二回以上稟請シタルトキハ本表ノ制限超過額ニハ許可濟
 又ハ稟請中ノ分ト現ニ稟請スルモノトノ内譯ヲ付スヘシ
 一 町村内ノ各部賦課ノ税率ヲ異ニシ又ハ各費目ニ付キ負擔ノ區域ヲ異ニスル
 事ハ歲入一覽表ハ第二例ニ依リ各費目ニ付負擔ノ同シキ區域毎ニ調製スヘシ

地方制門

廿五年九月 訓令 第百七十三號

會議費	議員實費辦償額、書記給料、印刷料、筆工料、消耗品費、雇給、通信費
土木費	道路、橋梁、堤防、用器水路、樋管水門、各修繕費
教育費	教員給料、同恩給基金、備品費、消耗品費、修繕費
衛生費	種痘費、傳染病豫防費
救助費	貧民治療費、貧民救助費
警備費	消防費、水防費
勸業費	勸業會費、害虫驅除費
公債費	某年度起債ノ内本年度償還元利金
諸税及負擔	地租、地租割、何用水々利土功費負擔、各町村組合費負擔
雜支出	火災保險料、山番給、墓地費
豫備費	豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツヘキ分
計	

(第二號書式) 第一例

裁決書

何郡町村

訴願者 何

某

右訴願ノ要領ハ、
ニ訴願ヲ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ハ、
會(本職)ハ町村制第何條ニ依リ之ヲ受理審査スル左ノ如シ

右ノ理由ナルニ依リ裁決スル左ノ如シ

取消スヘキ限ニアラス(又ハ取消ス)

何郡町村會

議長 何

某

又ハ何郡何町村長

何

某

何郡何町村

訴願者 何

某

第二例 裁決書

右訴願ハ、
ニヨリ訴願スト雖モ、ニ付本訴願ハ受理セス

年月日

(以下前ニ全)

二百五十

二十六年五月
令第一四一號
修正

○訓令甲第八號 明治二十六年一月二十一日 郡市役所 町村役場
從來公稱スル市町村内土地ノ字名ハ容易ニ改稱變更スヘキモノニアラサルモ實
際止ムヲ得サル事實アリテ改稱變更ヲ要スルモノニ限り左ノ規定ニ依リ取扱フ
ヘシ

一 市町村内大字市制町村施行ノ際分合シクル舊區町村名從前獨 及市内從來
ノ町名ヲ改稱シ又ハ其區域ノ變更ヲ要スルトキハ市町村會之ヲ議決シ知事
ノ許可ヲ受クヘシ但町村ニ屬スルモノハ郡長ヲ經由シ郡長ハ意見ヲ副申ス
ヘシ

二 市町村内ノ小字名市內從來ノヲ改稱シ又ハ其ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ
關係アル地主ノ意見ヲ聞キ市町村會之ヲ議決シ知事ノ許可ヲ受クヘシ但町
村ニ屬スルモノハ郡長ヲ經由シ郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

三 水面埋立地其他新開地等新ニ字名稱ヲ付スルトキハ第二項ノ例ニ依ルヘシ

四 民事訴訟ノ判決ニ依リ字名ノ訂正又ハ其區域ヲ變更スヘキトキハ市參事會
町村長ヨリ市ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ申報スヘシ但郡長ニ於テ本文ノ申報
ヲ受ケタルトキハ明治二十五年九月訓令第百六十七號第四條ニ準シ知事ニ
報告スヘシ

○訓令甲第二十五號 明治二十六年三月十六日 郡役所 師範學校
明治二十三年六月訓令第一〇九號地方稅經濟ニ屬スル財產管理規程別冊ノ通改
正本年四月一日ヨリ施行ス

(別冊)

地方稅財產管理規程

- 第一條 此規程ニ於テ財產ト稱スルハ地方稅經濟ニ屬スル土地森林原野營造物
家屋船舶及以上各物件ノ附屬物トス
- 第二條 地方稅經濟ニ屬スル財產ハ其所屬ノ部署役所學校ニ於テ之ヲ管理ス
- 第三條 部署役所學校ニ於テ管理スル財產ハ別紙様式ノ臺帳ヲ製シテ之レニ登
記シ増減變更アルトキハ其時々加除スヘシ
- 第四條 財產ハ知事ノ許可ヲ得ルニアラザレハ購入又ハ賣却貸下ヲ爲スヲ得ス
- 第五條 財產ノ購入賣却貸下ノ事務ハ其管理スル所ノ部署役所學校ニ於テ之レ
ヲ取扱フヘシ
- 第六條 財產ハ總テ競争ニ附スルニアラサレハ之レヲ購入シ又ハ賣却貸下ヲ爲
スヲ得ス若シ競争ニ附シ難キ場合アルトキハ其理由ヲ具シ知事ノ許可ヲ請
フヘシ
- 第七條 部署役所學校ニ於テ管理スル財產ハ其管理ニ屬シタル初ニ於テ臺帳様
式ニ倣ヒ圖書及ヒ圖面ヲ製シ知事ニ報告シ爾後増減變更アルトキハ其時々増
減變更ノ部分ノミ圖書及ヒ圖面ヲ製シ知事ニ報告スヘシ
- 第八條 內務部ニ於テハ第七條ノ圖書ヲ保存シ財產原簿トナシ其増減變更ノ時
々加除改正スヘシ
- 第九條 地方稅經濟ニ屬スル財產管理ニ關スル監督ノ事項ハ內務部ニ於テ之レ
ヲ司掌ス

地方制門

廿六年一月
廿六年三月

訓令 甲第八號
訓令 甲第二十五號

二百五十一

<p>價格 買代又ハ時價金何万何千何百何拾何圓何拾何錢何厘</p> <p>財産ニ入 何年何月何日地方稅ヲ以テ購入シタルモノ又ハ何年何月何日云々ニヨリ地方稅經濟ニ引續タルモノ又ハ何年何月何日何某ヨリ寄附シタルモノト記スルノ類ニシテ其事由ヲ詳記スヘシ</p> <p>沿革 備考</p> <p>一敷地ニ非サル土地即チ附屬地ノ類ハ此例ニ準シテ帳末列記スヘシ (朱書) 圖面ハ總テ美濃全紙一葉ニ記載スヘシ 何縣廳何郡役所何警察署 何監獄何學校等ヲ云フ敷地又ハ何附屬地又ハ何地ノ圖 壹間何分ノ縮圖</p>	<p>北</p> <p>何間</p> <p>何郡何町何村何番地字何 官有地第何種何地<small>官有地學校地田 如山林等ヲ云フ</small> 何万何千何百何十何坪何合何 勻又ハ何町何段何畝何拾何步 何合何勻</p> <p>何間</p> <p>南</p>
--	--

(紙表)

土地臺帳 (森林原野モ之ニ準ス)

美濃紙ヲ用ユヘシ

何縣廳何郡役所何警察署 何監獄何學校等ヲ云フ	敷地	何郡何町何村何番地字何	種目 官有地第何種何地 <small>官有地學校地 地等ヲ云フ</small>	地坪 何万何千何百何十何坪何合何勻	又ハ段別 又ハ何町何反何畝何十何步何合何勻
---------------------------	----	-------------	--	----------------------	--------------------------

備考

一圖面ハ只一例ヲ示スモノニ付事實ニ就キ宜ク之ヲ製スヘシ以下皆同シ

一周圍ノ池溝等土地ニ屬スルモノハ色別シテ記載スヘシ

(紙表)

建物臺帳

(營造物船舶及其他
附屬品モ之ニ準ス)

種	所在	何縣何郡何所何警察署 何監獄何學校等ヲ云フ建物
類	何郡何町村何番地	何造 何階屋平屋瓦葺板葺等ヲ云フ

建	坪	何百何拾何何何合何勻 外二階何階三階何程
價	格	建築費共具又ハ時價金何萬何千何百何拾何圓何拾何錢何厘
財	産ニ入 シ事由	何年何月何日地方稅ヲ以テ建築シタルモノ又ハ何年何月何日云々ニ由リ地方稅經濟 ニ引繼キタルモノ又ハ何年何月何日何某ヨリ寄附シタルモノト記スルノ類ニシテ其 事由ヲ詳記スヘシ
沿	革	附屬建物
		構造及建坪
		價
		格
		事
		由
倉	庫	
人	民扣所	
生	徒寄宿	
舍		
囚	徒留置	
場		
物	置	
門		
塀	牆	
何		

何	何

備考

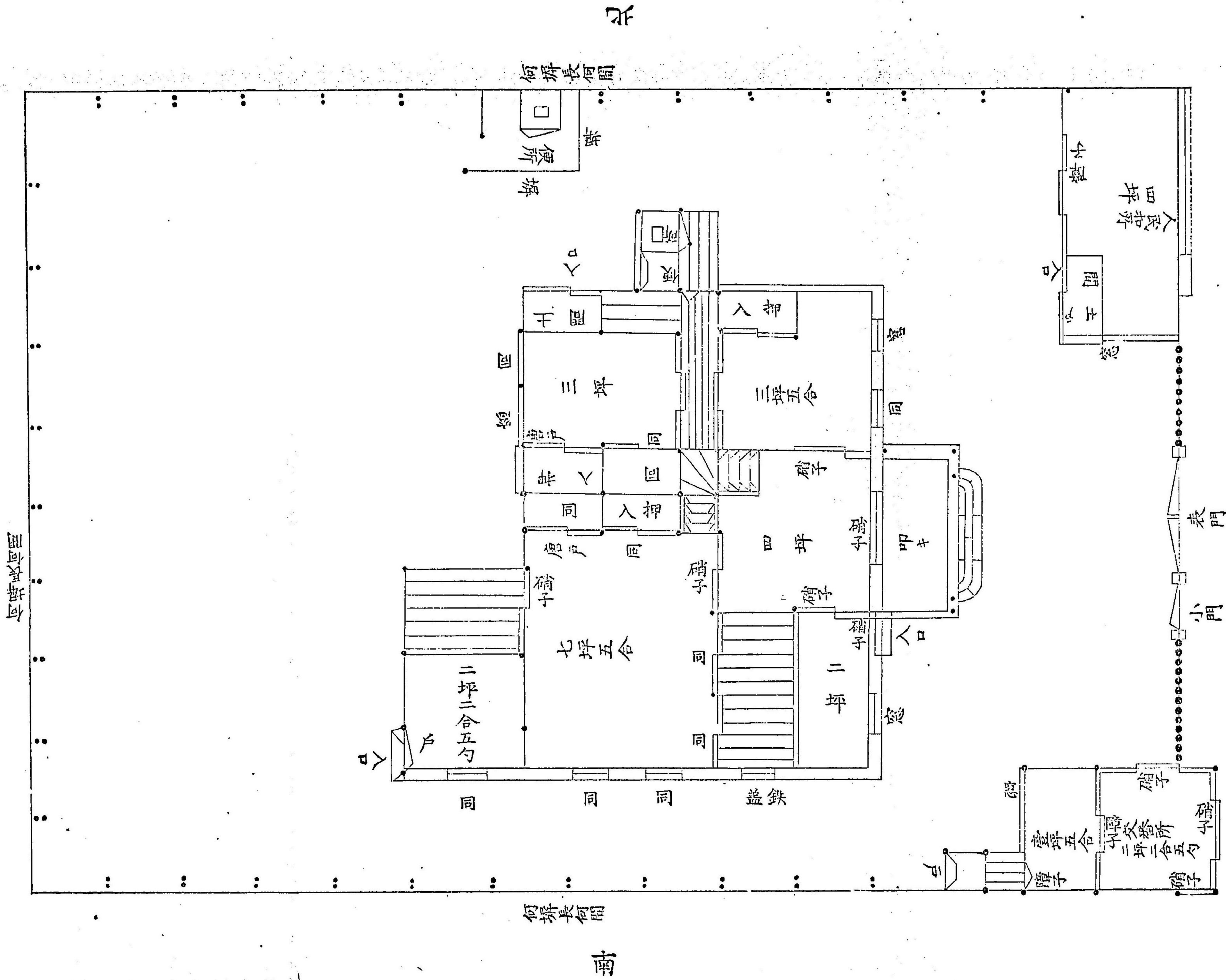
一 附屬建物ノ殊別シ難キモノハ本舎ニ併記スルモ妨ケナシ
 一 橋梁ハ此例ニ準シ其所在何道何郡何村ヲ云フ何橋名種類土橋石橋木橋木間數間ヲ云フ何幅何價格架設費又ハ財產ニ入シ事由等ヲ記スヘシ但狹小ナル橋ニシテ之ニ據リ難キモノハ止メ其所在種類等ヲ記載スルモ妨ケナシ
 一 構造及建坪ノ欄ニハ例ヘハ瓦葺葺木造平屋何坪ト記載スヘシ
 一 事由ノ欄ニハ財產ニ入シ事由其他要用ノ事項ヲ記載スヘシ

何 縣廳何郡役所何警察署何監獄何學校等ヲ云フ建物ニ屬スル物品							
科	目	員	數	科	目	員	數

備考

一 木石ノ如キハ此調書ノ末ニ記載スヘシ

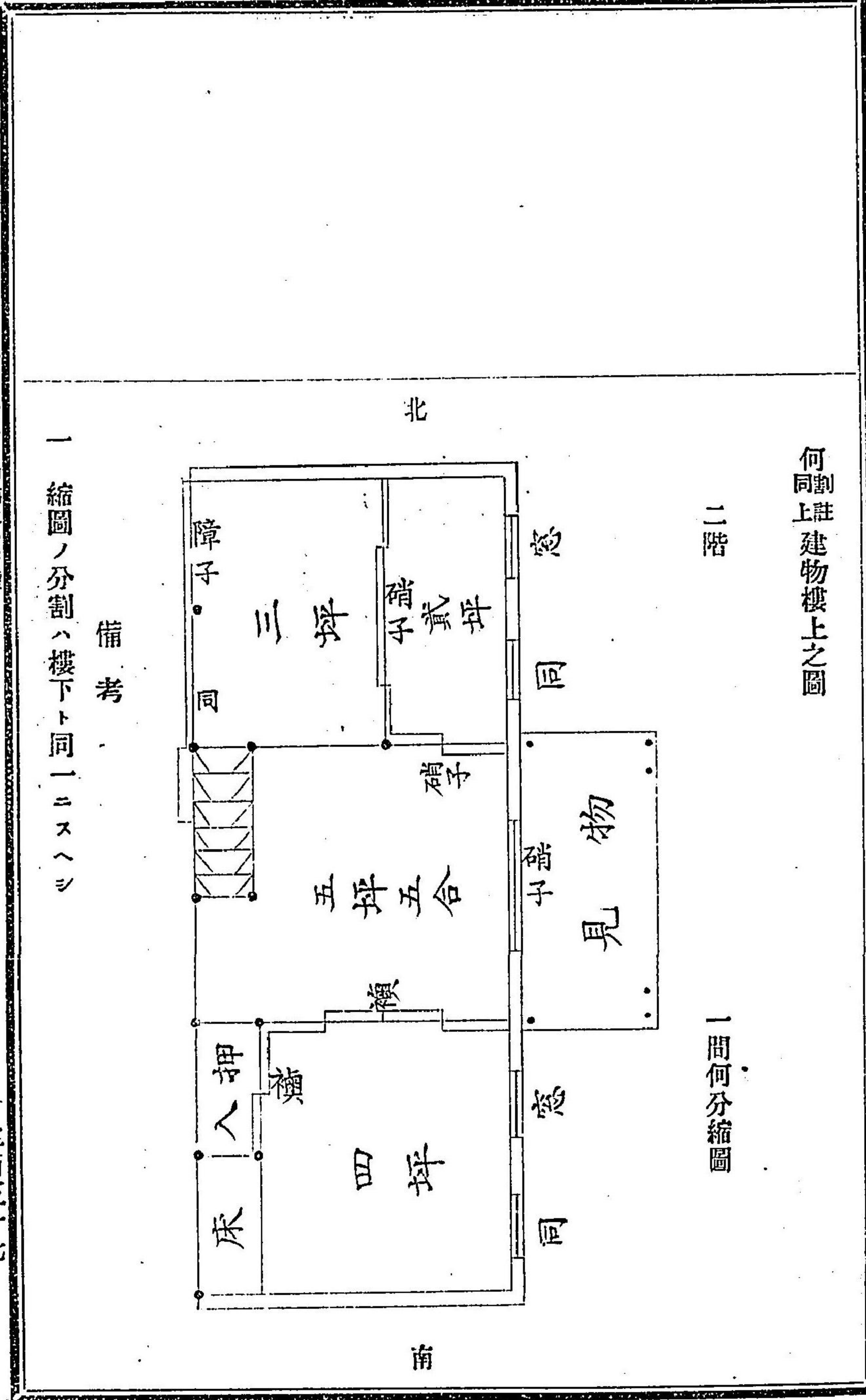
何割註建物之圖



一間何分ノ縮圖

考備

一一構内ノ建物ニシテ一紙ニ記載シ難キモノハ二葉以上ニ渉ルモ妨ケナシ此場合ニ於テハ
其二其三ト肩記スヘシ



一 三階以上アル時ハ此例ニ準シ一紙中ニ並記スヘシ
 ○訓令甲第二十六號 明治二十六年三月十六日 郡役所 師範學校
 明治二十三年六月訓令第一〇九號地方稅經濟ニ屬スル物品出納規程別冊之通リ
 改正本年四月一日ヨリ施行ス
 (別冊)

地方稅經濟ニ屬スル物品會計規程

第一章 總則

- 第一條 此規程ニ於テ物品ト稱スルハ地方經濟ニ屬スル器具器械圖書、日用諸品、動物、其他ノ動産ヲ云フ之ヲ類別シテ備品、消耗品、動物ノ三種トス
- 第二條 物品ノ會計ハ現ニ其出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分シ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ以テ一年度トス
- 第三條 部署各庫普通ノ需用物品ハ別冊ノ通リ之ヲ規定ス
 但特別ノ需用品若クハ貸與品等ニシテ本條ノ規定外ニ涉ルモノハ知事ノ認可ヲ經テ之ヲ使用スルコトヲ得
- 第四條 物品ヲ購入シ若クハ賣却セントスルキハ其品種數量價格ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ請フヘシ
 但應下外各庫ノ普通需用物品ハ此限リニアラス
- 第五條 物品出納ノ命令ハ部署庫長之ヲ發スルモノトス
- 第六條 部署各庫ニ物品出納主任ヲ置キ物品ノ出納及ヒ之レカ保管ヲ爲サシム其人員ハ適宜之ヲ定メ部署庫長之ヲ命免ス

第七條 前條物品出納主任ノ外部署各庫ノ各課(係)ニ物品取扱人ヲ設ケ共用物品ノ保管ヲサシム其帳簿ノ如キハ適宜物品取扱人ニ於テ調製スヘシ
 但當該部署庫長ニ於テ該取扱人ヲ置ク必要ナシト認メタルキハ本條ニ依テサルコトヲ得

第八條 土木工事ニ支消スル物品在監人ニ貸與若クハ交付スル物品製作物若クハ之ニ要スル素品ニ關スル出納ノ順序ハ各主管ノ部署ニ於テ之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二章 保管 責任

第九條 各自專用ニ係ル物品及貸與品ハ使用者保管ノ責任スヘシ
 物品出納主任ハ各自使用ノ物品ト雖モ取締上ニ關シテハ總テ監督ノ任アルモノトス

第十條 故意又ハ怠惰ニアラスシテ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ本人ノ證明書ヲ徵シ當該部署庫長ノ承認ヲ受テ引替又ハ交付ノ手續ヲ爲スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ若シ故意怠惰ニ係ルモノアルキハ其顛末ヲ詳細取調ヘ知事ノ裁定ニ依リ相當代價ヲ辨償セシム

第三章 物品出納 帳簿

第十二條 物品出納主任ハ物品出納ニ關スル左ノ帳簿(第一號乃至第三號樣式)ヲ備ヘ其出納ノ事實ヲ明ニ登記スヘシ

備品現在簿
 消耗品出納簿

修繕品書留簿

以上ノ外補助簿ヲ設クルハ便宜ニ任ス
第十三條 備品ハ入用ノ時々消耗品ハ毎月二十日休暇ニ當ルキハ其翌日交付スルモノトス

第十四條 物品出納主任ハ特別需用ノ物品ニ對シテハ必要ナラスト認ルモノ若クハ請求高過當ト認ムルモノハ其請求ヲ拒ミ又ハ適宜數量ヲ減スルヲ得

第四章 計算報告

第十五條 物品出納主任ハ帳簿ノ結果ニ依リ一ケ年度間ニ出納シタル物品ノ出納計算書(第四號様式)ヲ調製シ年度后二ヶ月以内ニ當該部署長層長へ提出シ部署長層長ハ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十六條 物品出納證書ハ備品消耗品ノ二種ニ區分シ月毎ニ假綴シ置キ年度經過ノ后之ヲ合纂シ計算書ノ照合ニ便ナラシムヘシ

第五章 物件賣買

第十七條 物品ノ賣買ハ總テ競争ニ付スヘシ
但左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲナスヲ得

- 一 至急ニ買入ヲ要シ競争ニ付スル暇ナキ時
- 二 一人又ハ一會社ノ專有スル物品ヲ買入ル、時
- 三 廳中需用物品ニシテ其價格十五圓ヲ踰ヘサル時
- 四 價十五圓ヲ踰サル物品ヲ賣拂フ時
- 五 囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入又ハ賣拂フ時及縣ノ設立ニ係ル試驗所等ヨ

リ其生産又ハ製造品ヲ直接ニ買入ル時

第六章 雜則

第十八條 本規程ニ付物品取扱順序若クハ細則等ヲ設クルノ必要アル時ハ部署長及ヒ層長ニ於テ之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第一號

明治何年度

備品現在簿

(用紙美濃紙)

(紙表)

年 月 日	出 納 事 由	現 在		供 用 數 在 庫 數
		數 量	價 格	
明治 四月一日	越	一七〇	一八三〇〇〇	一八
同 五日	不足ニ付買入納人何某	一〇	一〇五〇〇	一七二
同 七日	何某拜命ニ付渡ノ分			一七一

◎印朱書

(紙表)

第二號 明治何年度 消耗品出納簿 (用紙美濃紙)		子		
		同十日 何某免官ニ付返納	同十五日 不用ニ付賣却拂受人何某	同卅一日
	五月二日 何某外二名云云ニ付渡ノ分	計	一七五 一八七 二五〇	
		一八	一六七	
		三	一六四	

本簿ハ現在高ト借用及ヒ在庫ノ數ヲ明ニスルモノニ付現在高ノ賣却又ハ借用
 數ノ返納等ハ式ノ如ク朱書シ月末ニハ差引合計ヲ掲載スヘシ

美濃紙

出納年月日	事由	受		拂		残	
		數量	價格	數量	價格	數量	價格
明治四年四月一日	越高	一〇〇	六〇〇〇			一〇〇	六〇〇〇
同月三日	何々ニ付購入 納人氏名	五〇	三五〇〇			一五〇	九五〇〇
同月十日	何々用 課係氏名渡			二〇	一三〇〇	一三〇	八三〇〇
同廿五日	何々用 同氏名渡			一五	一三〇〇	二一〇	
同日	何々用 同氏名渡			五	二〇〇〇	二一〇	七一〇〇
一ヶ月計		一五〇	九五〇〇	四〇	二四〇〇		

一日間二回以上ノ拂ヒアルキハ先ツ數量ノミヲ登記シ箇キ最尾數量ノ下ニ其
 惣價格ヲ記シ差引スヘシ

出納		消耗品		備品		應名	
品目	越	受	計	拂	殘	價格	事由
美濃野紙	100	100	100	250	50	250	
場形白紙	100	50	150	150	0	0	
封袋	1000		1000	500	500	0	
品目	越	受 <td>計</td> <td>拂</td> <td>殘</td> <td>價格</td> <td>事由</td>	計	拂	殘	價格	事由
卓子	200	7	27		27	2700	
椅子	30		30	3	27	1350	不用「毀損」賣却「燒棄」 「亡失」
書籍箱	10		10		10	5000	
時計							
何々							

(用紙場形紙)

明治何年度 物品出納計算書

應名

(紙表)

第三號

修繕品書留簿

(用紙美濃紙)

品日	數量	修繕下渡年月日	全納年月日	受負人姓名
椅子	五	何年何月何日	何年何月何日	何郡何町何村之誰
時計	一	上	上	上
簿記臺	二	上	上	上

明治何年度物品出納計算書而之通候也

明治年月日

物品出納主任官氏

名印

部署(廳長)官氏名宛

前書ノ通相違無之此段報告候也

部署(廳長)官氏

名印

熊本縣知事氏名宛

○訓令甲第三十號

明治二十六年三月三十一日

師範學校

常置委員諮問手續別紙ノ通改正シ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス
(別紙)

常置委員諮問手續

第一條 常置委員諮問ノ件ハ決裁ノ上正副九通ヲ製シ其原案ヲ添ヘ内務部第一課ニ回附スヘシ

第二條 第一課ニ於テハ其緩急ヲ見別シ順次ニ番號ヲ附シ常置委員會書記ニ回付スヘシ

第三條 書記ハ常置委員會ニ於テ決議シタル旨ヲ記載シ其書類ヲ繕メ直ニ第一課ニ回致スベシ

第四條 第一課ニ於テハ書記ヨリ回致シタル書類ヲ點檢シ各其原案ノ餘白ニ決議ノ要旨ヲ朱記シ主任者ニ返付スヘシ

第五條 諮問案ノ正書ハ番號ノ順次ニ編纂シ豫備費ノ支出アルトキハ之ヲ内務部第四課ニ回致スヘシ

第六條 第四課ニ於テ帳簿ノ記帳ヲ終レハ記帳簿ノ印ヲ捺シ之レヲ第一課ニ返附スベシ

第七條 書記ハ常置委員會決議録ヲ製シ可否決ノ要旨ヲ摘記シ後日ノ参照トナスベシ

第八條 常置委員諮問會ノ答辯ハ課(學校)長ニ限ル課(學校)長故障アルトキハ主任者ヲ以代理セシムヘシ

但答辯ヲナスニハ計算等ヲ精密ニシ諸規則其他書類帳簿等ニ就キ辯明シ荷モ空想ノ答辯ヲナスヘカラズ

第九條 諮問ヲ不要報告ニ止マル事件ハ前各條ニ倣ヒ取扱フヘシ

○訓令甲第四十四號 明治二十六年五月廿七日 郡市役所 町村役場

地方稅戶數割ヲ負擔スル者市町村會決議后納稅前他市町村^{他府縣ハ此}限ニアラスニ轉住セシキハ本年縣令第十號明治二十六年度地方稅地租割戶數割賦課法第五條ニ依リ徵收スヘキ義ニ付轉住者ノ稅額ハ戶籍一同轉住地ノ市町村長ヘ送附スヘシ

但寄留者ノ稅額モ本文ニ準シ通知スヘシ

○訓令甲第五十九號 明治二十六年六月二十六日 郡役所

郡役所處務規程左之通更ニ相定メ明治十九年訓令第六十號并明治二十四年訓令第八號ハ廢止ス

郡役所處務規程

第一條 郡長ハ所屬吏員ヲ統督シ其功過アルキハ之ヲ知事ニ具狀スヘシ

第二條 郡長ハ所屬吏員ノ縣内出張巡回ヲ命スルヲ得

地方制門

廿六年三月廿六年五月

訓令 甲第三十號 訓令 甲第四十四號

廿六年六月 訓令 甲第五十九號

第三條 郡長ハ所屬吏員ノ歸省墓參養病願ヲ許否シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第四條 郡長ハ其須要ニ從ヒ俸給豫算定額内ニ於テ拾圓以下ノ備員ヲ使用スルコトヲ得

第五條 郡長ハ毎年一ケ年間ノ功程ヲ具ヘ翌年一月三十一日限り知事ヘ報告スヘシ

第六條 郡役所ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ左ノ三課ヲ置ク

第一課 第二課 第三課

第七條 課ニ課長ヲ置キ郡書記ヲ以テ之ニ充ツ但課中便宜係ヲ設クルヲ得

第八條 各課分掌事務左ノ如シ

第一課

一 聖影之奉護ニ關スル事項

一 衆議院議員縣會議員ノ選舉ニ關スル事項

一 郡參事會水利組合會其他公共組合ニ關スル事項

一 町村制ニ關スル事項

一 兵事ニ關スル事項

一 教育ニ關スル事項

一 戶籍ニ關スル事項

一 衛生ニ關スル事項

一 社寺ニ關スル事項

一 收受發送並文書之編纂保存ニ關スル事項
一 其他々課ノ主管ニ屬セサル事項

第二課

一 農工商務ニ關スル事項

一 土木ニ關スル事項

一 山林ニ關スル事項

一 地理ニ關スル事項

一 水産ニ關スル事項

第三課

一 稅務ニ關スル事項

一 會計ニ關スル事項

第九條 郡長ハ處務細則ヲ設テ知事之認可ヲ受クヘシ

○告示第九十三號 明治十七年三月十八日
縣會議員々數議會ノ決ニ依リ十五年度選舉員數ノ通相定ム

右告示候事

○告示第五十九號 明治十九年十二月二十八日

熊本縣廳及熊本警察署新築工事落成ニ付明治二十年一月一日ヨリ開廳ス

○告示第四十三號 明治二十年五月二十六日

熊本市役所ハ來ル六月一日ヨリ開廳ス

○告示第九十五號 明治二十六年六月十八日

地方制門

十七年三月
十九年十二月

告示

第九十三號

告示

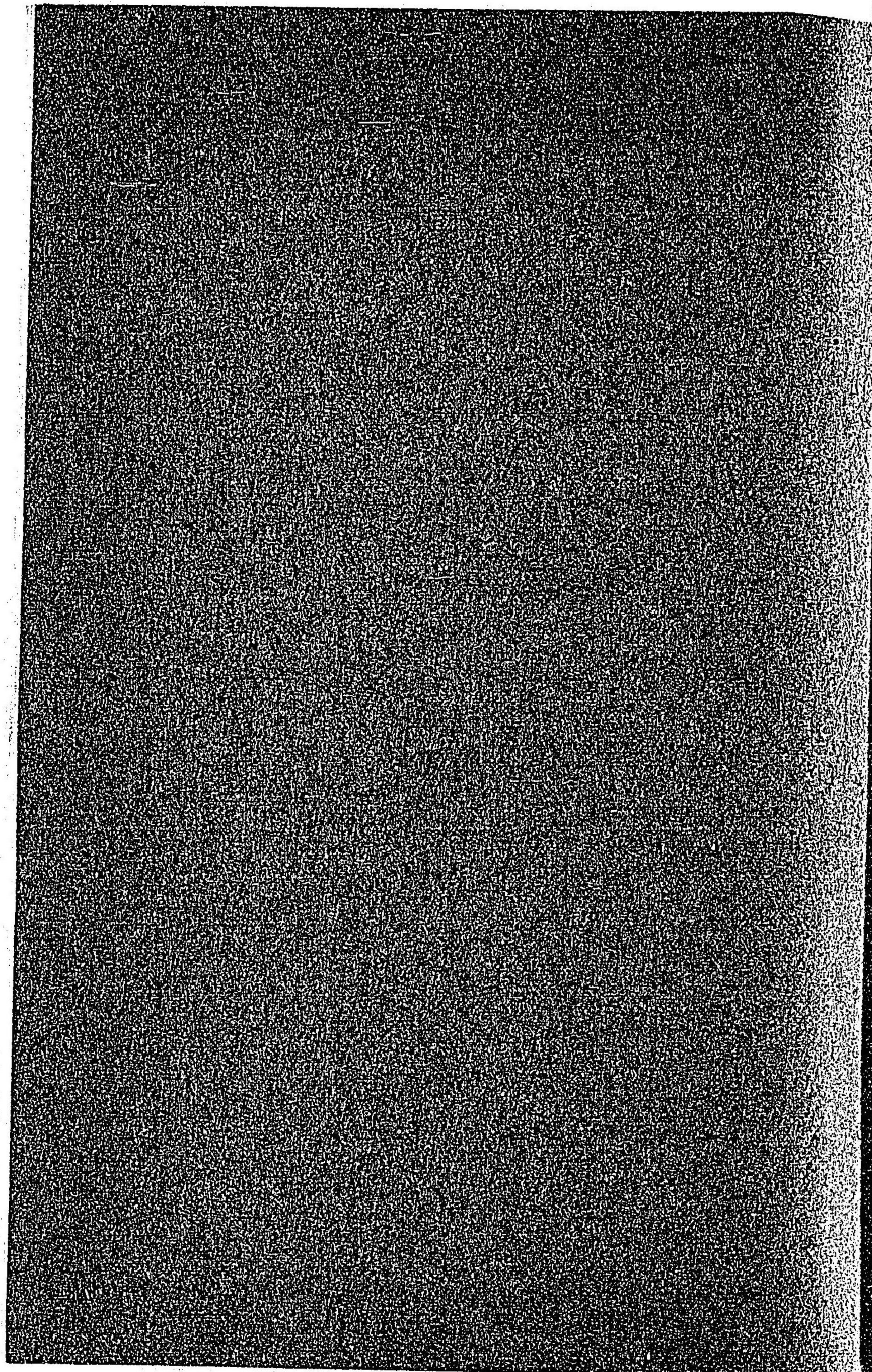
第五十九號

告示

第四十三號

告示

第九十五號



町村制第四條ニ依リ縣下球磨郡人吉町字田町ノ内(一)番ノ一及(二)番ノ一番ノ一(三)番ノ一番ノ一(四)番ノ一番ノ一(五)番ノ一番ノ一(六)番ノ一番ノ一(七)番ノ一番ノ一(八)番ノ一番ノ一(九)番ノ一番ノ一(一〇)番ノ一番ノ一(一一)番ノ一番ノ一(一二)番ノ一番ノ一(一三)番ノ一番ノ一(一四)番ノ一番ノ一(一五)番ノ一番ノ一(一六)番ノ一番ノ一(一七)番ノ一番ノ一(一八)番ノ一番ノ一(一九)番ノ一番ノ一(二〇)番ノ一番ノ一(二一)番ノ一番ノ一(二二)番ノ一番ノ一(二三)番ノ一番ノ一(二四)番ノ一番ノ一(二五)番ノ一番ノ一(二六)番ノ一番ノ一(二七)番ノ一番ノ一(二八)番ノ一番ノ一(二九)番ノ一番ノ一(三〇)番ノ一番ノ一(三一)番ノ一番ノ一(三二)番ノ一番ノ一(三三)番ノ一番ノ一(三四)番ノ一番ノ一(三五)番ノ一番ノ一(三六)番ノ一番ノ一(三七)番ノ一番ノ一(三八)番ノ一番ノ一(三九)番ノ一番ノ一(四〇)番ノ一番ノ一(四一)番ノ一番ノ一(四二)番ノ一番ノ一(四三)番ノ一番ノ一(四四)番ノ一番ノ一(四五)番ノ一番ノ一(四六)番ノ一番ノ一(四七)番ノ一番ノ一(四八)番ノ一番ノ一(四九)番ノ一番ノ一(五〇)番ノ一番ノ一(五一)番ノ一番ノ一(五二)番ノ一番ノ一(五三)番ノ一番ノ一(五四)番ノ一番ノ一(五五)番ノ一番ノ一(五六)番ノ一番ノ一(五七)番ノ一番ノ一(五八)番ノ一番ノ一(五九)番ノ一番ノ一(六〇)番ノ一番ノ一(六一)番ノ一番ノ一(六二)番ノ一番ノ一(六三)番ノ一番ノ一(六四)番ノ一番ノ一(六五)番ノ一番ノ一(六六)番ノ一番ノ一(六七)番ノ一番ノ一(六八)番ノ一番ノ一(六九)番ノ一番ノ一(七〇)番ノ一番ノ一(七一)番ノ一番ノ一(七二)番ノ一番ノ一(七三)番ノ一番ノ一(七四)番ノ一番ノ一(七五)番ノ一番ノ一(七六)番ノ一番ノ一(七七)番ノ一番ノ一(七八)番ノ一番ノ一(七九)番ノ一番ノ一(八〇)番ノ一番ノ一(八一)番ノ一番ノ一(八二)番ノ一番ノ一(八三)番ノ一番ノ一(八四)番ノ一番ノ一(八五)番ノ一番ノ一(八六)番ノ一番ノ一(八七)番ノ一番ノ一(八八)番ノ一番ノ一(八九)番ノ一番ノ一(九〇)番ノ一番ノ一(九一)番ノ一番ノ一(九二)番ノ一番ノ一(九三)番ノ一番ノ一(九四)番ノ一番ノ一(九五)番ノ一番ノ一(九六)番ノ一番ノ一(九七)番ノ一番ノ一(九八)番ノ一番ノ一(九九)番ノ一番ノ一(一〇〇)番ノ一番ノ一

二 農工商門 (水産交通)

○布達甲第三百三十五號 明治十二年五月二十九日
 築釜瀬張繩場等之儀舟筏ヲ通スル川筋并田地灌溉ニ供スル井手溝ニ於テ右等ノ
 漁業相營候義禁止候旨明治九年一月甲第三百三十五號ヲ以及布達置候處今度詮議ノ
 次第有之左ニ掲ル河川ノ分際以上其他通舟流筏稀少ノ川筋ニテ水理障得等無之
 場所ハ實地檢査ノ上一ヶ年限可差許候條地元町村ニ於テ共有ノ出願ニ望ミナク
 シテ一己ノ出願ニ於ルモノハ其町村惣代人連署ノ上戸長ノ奥印ヲ以所轄郡區役
 所へ可願出此旨管内へ布達候事

求麻川	人吉町	大橋以上	綠川	鶴ヶ淵	以上
菊池川	廣瀬	橋以上	白川	八幡淵	以上
御舟川	御舟町	二俣橋以上	屋形川	木倉村	四ノ宮下以上
木山川	田原村	掛吐合以上	赤井川	木崎村	掛田代通小橋以上
内田川	石淵村	掛木野川吐合以上	木葉川	木葉町	稻佐村掛目鑑橋以上

右ノ如ク概略分際ヲ定ムルト雖實際水理障得舟筏通行ノ妨害アルテ所ハ免許不
 致候事

○布達甲第二百五十六號 明治十二年十月二十九日
 鹿兒嶋縣薩摩國鹿兒嶋港へ竿燈建築點燈ニ付入津船ヨリ燈費取立方本年五月甲
 第三百十七號ヲ以及布達置候處右取立方左之通改正致度建築人ヨリ出願候ニ付願
 意開届候旨該縣ヨリ申來候條此旨管内へ布達候事

入津船ヨリ竿燈費取立調

日本形船		
一三枚帆船	一艘	金二錢五厘
一四枚帆船	全	全四錢
一五枚帆船	全	全六錢
一六枚帆船	全	全八錢
一七枚帆船	全	全十錢
一八枚帆船	全	全十二錢
一九枚帆船	全	全十四錢
一十枚帆船	全	全十六錢
一十一枚帆船	全	全十八錢五厘
但十二枚以上二十枚迄一枚毎二錢五厘増		
一十二枚帆船	一艘	金二十一錢
一十三枚帆船	全	全二十三錢五厘
一十四枚帆船	全	全二十六錢
一十五枚帆船	全	全二十八錢五厘
一十六枚帆船	全	全三十一錢
一十七枚帆船	全	全三十三錢五厘
一十八枚帆船	全	全三十六錢
一十九枚帆船	全	全三十八錢五厘

農工商門

十二年十月 布達 甲第百五十六號

二百七十三

一二十枚帆船	全	全四十一錢
一二十一枚帆船	全	全四十四錢
但二十二枚以上一枚毎三錢増		
一二十二枚帆船	一艘	金四十七錢
一二十三枚帆船	全	全五十錢
一二十四枚帆船	全	全五十三錢
一二十五枚帆船	全	全五十六錢
一二十六枚帆船	全	全五十九錢
一二十七枚帆船	全	全六十二錢
一二十八枚帆船	全	全六十五錢
一二十九枚帆船	全	全六十八錢
一三十枚帆船	全	全七十一錢
一三十一枚帆船	全	全七十四錢
一三十二枚帆船	全	全七十七錢
一三十三枚帆船	全	全八十錢
西洋形		
一三噸未滿積	一艘	金十錢
一五噸未滿	全	全二十錢
一十噸未滿	全	全三十錢
一二十噸未滿	全	全四十錢

一三十噸未滿	全	全五十五錢
一五十噸未滿	全	全七十五錢
一一百噸未滿	全	全一圓
一五百噸未滿	全	全一圓五十錢
一千噸未滿	全	全二圓
一千噸以上	全	全二圓五十錢

○布達甲第七十五號 明治十三年五月十二日

明治十三年六月
甲第七十五號及
乙第七十七號及
丙第七十九號及
丁第八十一號及
戊第八十三號及
己第八十五號及
庚第八十七號及
辛第八十九號及
壬第九十一號及
癸第九十三號及

捕魚採藻之爲海面處用之儀ニ付テハ八年十一月本縣丙第三十號九年十月本縣甲第三百二十五號ヲ以及布達置候處詮議之次第有之廢止候條此旨管内へ布達候事但海面ヲ區畫シ處用致度者ハ是迄之慣行ニヨツテ該場所關係之者ト協議シ各戸長與印之上拜借之儀郡區役所ヲ經テ本廳へ可願出其他ハ入會稼ト可相心得候事

○布達甲第五十九號 明治十四年四月二十日
從今湖川ヲ借用セント欲スルモノハ明治十三年五月本縣甲第七十五號布達但書ニ準據郡區役所エ出願スヘシ此旨管内エ布達候事

○布達甲第七十九號 明治十四年十月五日
築壑瀨張場之儀ニ付明治十二年甲第三百三十五號ヲ以テ布達及置候處自今流域一里未滿ノ河川及田地灌溉ノ爲メニ設クル井手溝渠等ニ於テ右漁業スル者ハ地元村々へ協議ヲ遂ケ通舟流筏水利支障等無之場所ハ出願ニ不及候條此旨管内へ布達候事但營業届ノ義ハ是迄ノ通可相心得事

○布達甲第二百十八號 明治十四年十二月一日

今般長崎縣下東松浦郡呼子港口鷹島エ燈臺新設當十二月一日夜ヨリ點火差許シ該港口出入船舶ヨリ建燈費用支消トシテ別紙之通可取立旨同縣ヨリ通知有之候條此旨管内エ布達候事

(別紙)

- 一建燈費用金支消トシテ入港船舶五十石以上ハ一石ニ付金二厘二毛五十石以下ハ一船ニ付金三錢(西洋形ハ一噸ヲ六石)尤三十ヶ年ヲ經過セハ更ニ五十石以上一石ニ付金一厘七毛五十石以下一船ニ付金二錢トス
- 一肥前國呼子港口鷹島ニ於テ中山敦自費ヲ以テ燈臺ヲ建設シ明治十四年十二月一日(西曆千八百八十八)之夜ヲ始メトシ毎夜日沒ヨリ日出迄第六等不動白色ノ燈明ヲ點ス
- 一海軍省第百二十號及英國海軍省第百四十一號海圖ニ依レハ燈臺ノ位置ハ北緯三十三度三十三分三十八秒ニシテ「グリーニツチ」ヨリ東經百二十九度五十四分十五秒ニ當ル
- 一燈臺ハ木造方形ニシテ其高サ基礎ヨリ燈籠ノ中央迄一丈五尺五寸ナリ
- 一燈火ハ海面二百五十度ヲ照輝シ南三十九度五十分西及南七十度十分東ノ眞方位ニ於テ蔽蔭ヌ光達ノ距離晴天夜ハ凡八里海ナリ但水面ヨリ燈火ノ高サ十五丈六尺ナリ
- 一北六十六度二十分西及北三十六度二十分西ノ眞方位ノ間ニ三十度ノ綠光ヲ挾ミ白島ヲ標シ並北三度四十五分西及北二十一度十五分東眞方位ノ間ニ赤光ヲ挾ミ平瀨及折瀨ヲ示ス

農工商門

十三年五月
十四年四月

布達 甲第七十五號
布達 甲第五十九號

十四年十月
十四年十二月

布達 甲第七十九號
布達 甲第二百十八號

○布達甲第十七號 明治十五年二月三日
 大分縣下豐後國大分郡大分町人民自費ヲ以全郡生石村字小島へ新港大分港築造及
 七勢家町字新川口浚疏ニ付工費爲償却本年二月一日ヨリ向九十年間入港ノ船舶
 ヲリ左記ノ通り港錢取立方許可候旨該縣ヨリ申來候條爲心得此旨管内へ布達候事
 西洋形船二噸ニ付金十五錢
 日本形船五十石以上一石ニ付金二錢
 同五十石未滿二十石以上一艘ニ付金三十五錢
 同二十石未滿一艘ニ付金五錢但小島ニ入港ノ船舶新川口ヨリ入津シ又新川口
 入津ノ船舶小島へ入港スルモ港錢收入ハ一ヶ所ニ限ルヘシ
 ○布達甲第六十五號 明治十五年四月五日
 大分縣下豐後國西國東郡香々地村地内香々地港へ該港人民自費ヲ以燈臺新築致
 候ニ付本月一日以後入港之船舶ヨリ左記之通燈費取立方許可致シタル段大分縣
 ヲリ申來リ候條心得之ヌメ此旨管内へ布達候事
 西洋形船一噸ニ付金三厘
 日本形船帆別一反ニ付金八厘
 但兩端一反ツ、チ除ク
 將漁船一艘ニ付金五錢
 ○布達甲第六十七號 明治十六年六月三十日
 水産ノ蕃殖ヲ謀ルハ目今須要ノ事件ニ候處鵜漁之儀ハ四時無間斷施用シ爲ニ生
 魚減耗スル不抄候ニ付自今年二月一日ヨリ九月三十日迄各川共鵜漁停止候條

十八年二月修正

○布達甲第五十六號 明治十七年六月二十五日
 管内ニ於テ回漕貨物取扱并配達受繼等ノ營業ヲナス者ハ明治八年第八十四號
 公布ハ勿論尙左ノ規則ヲ遵守スヘシ
 右布達候事

回漕貨物取扱規則

- 第一條 回漕貨物取扱并受繼配達ノ營業ヲナス者ハ貨主船主ノ間彼我ノ便利ヲ計リ貨物叮嚀ニ取扱ヲナスヘシ
- 第二條 貨物各港ヘノ回漕賃及乘客ノ賃金其店頭へ揭示スヘシ但本文賃金ハ當廳へ可届出尤爾後更正スル時モ同様届出ノ上施行スヘシ
- 第三條 貨物回漕ノ依托ヲ受ケタル時ハ正當ノ取扱ヲナシテ先方へ送狀ヲ副積入ノ際ハ無遺漏船主ヨリ受領証書ヲ取置ヘシ但貨物荷造等不充分ト見認ルキハ貨主ヘ示シ務メテ堅固ナラシムヘシ
- 第四條 汽船等到着ノ際貨物收受ノ儀ハ必ス送狀ニ照合個數品目無相違ヲ見認而シテ船主へ受領証書ヲ渡スヘシ若無故貨物損害不足ヲ生スル等ノ事アル時ハ明治八年第八十四號公布第九條ニ依リ之ヲ辨償スヘキハ勿論タルヘシ然レ共貨物送達等成跡有之其理由ヲ詳記シ期日ヲ定メ送達ノ延期ヲ乞フアルトハ約定證書ヲ船主ヨリ出サシメ然ル上貨物取扱人ニ於テハ直ニ貨主へ通報シ其承諾ヲ受クヘシ但別段ノ約束アルモノハ此限ニアラス
- 第五條 貨物送狀ヲ領置シ現品不着ノ時ハ第四條ノ手數ヲナシ後日貨物貨主ノ

十五年二月

布達 甲第十七號

甲第六十五號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

甲第六十七號

手ニ渡濟ミマテノ手續ハ其送狀ヲ受ケタル取扱所ノ負擔タルヘシ
第六條 送狀無之貨物船主ヨリ配達運送等ノ依托ヲ受ケタルハ貨物品目個數
等詳記其譯帳簿ニ登記シ船主ヘ受領證書ヲ渡スヘシ

第七條 貨物取扱上船主ヘ對スル條件ハ無漏双方ノ規約ヲナスヘシ

第八條 貨物船積運搬配達等取扱候分ハ個數品目貨主住所氏名等無漏帳簿ニ登
記シ(事故アルモノ)船主貨主等ノ受取證ハ勿論其他後日參照トナルヘキ書類
ヲ保存スヘシ但時宜ニ依リ官吏派出臨檢スルヲアルヘシ

○布達甲第二百二十八號 明治十七年十二月二十三日

同業者組合ヲ結ビ規約ヲ定メ營業上福利ヲ増進シ濫惡ノ弊害ヲ矯正スルヲ圖ル
者不尠候處往々其目的ヲ達スルヲ能ハサル趣ニ付今般其筋ヨリ達之趣有之候ニ
付向後同業者組合ヲ設テ規約ヲ作ル者ハ此準則ニ基ツキ認可ヲ請フ可シ
右布達候事

同業組合準則

- 第一條 農工商ノ業ニ從事スル者ニシテ同業者或ハ其營業上ノ利害ヲ共ニスル
者組合ヲ設ケントスルハ適宜ニ地區ヲ定メ其地區内同業者四分ノ三以上ノ
同意ヲ以テ規約ヲ作り本廳ノ認可ヲ請フ可シ
- 第二條 同業組合ハ同盟中營業上ノ弊害ヲ矯メ其利益ヲ圖ルヲ以テ目的ト爲ス
可シ
- 第三條 同業組合ノ規約ニ掲クヘキ事項ハ左ノ如シ
- 第一項 組合ヲ組織スル業名及組合ノ名稱

第二項 組合ノ地區及事務所ノ位置

第三項 目的及方法

第四項 役員ノ選舉法及權限

第五項 會議ニ關スル規程

第六項 加入者及退去者ニ關スル規程

第七項 費用ノ徵收及賦課法

第八項 違約者處分ノ方法

右ノ外組合ニ於テ必要トナス事項

第四條 組合ノ設アル地區内ニ於テ組合員ト同業ヲ營ム者ハ其組合ニ加盟スヘ
シ但事業ノ規模及趣向ヲ異ニスルカ爲メ加盟シ難キカ或ハ加盟ヲ拒ムヘキ事
情アルトハ本廳ニ申出テ其認定ヲ請フ可シ

第五條 同業組合ハ同業組合ノ資格ヲ以テ營利事業ヲ爲ストチ得ス

第六條 同業組合ハ總テ其事蹟及費用決算表ヲ毎年本廳ニ報告ス可シ

第七條 規約ヲ改正スルトハ更ニ認可ヲ請フ可シ

第八條 分立又ハ合併スルトハ更ニ規約ヲ作り認可ヲ請フ可シ

第九條 同業組合ニ於テ聯合會ヲ設ケ其規約ヲ作ルトハ本廳ノ認可ヲ請フ可シ
但其聯合ニ府縣以上ニ涉ルトハ開會地管轄廳ヲ經由シテ農商務省ノ認可ヲ請
フ可シ

○布達甲第二百二十八號 明治十八年三月二日
本縣下球磨川ニ於テ自今鵜遣漁ヲ停止ス違背シタル者ハ違警罪ニ處セラルヘシ

右布達候事

○布達甲第九十八號 明治十八年八月二十九日
客歲本縣甲第二百二十八號達同業組合準則ハ專ラ管下重要物産ノ改良蕃殖ニ關ス
ル農商工業ノ組合ニ限ルモノトス右布達候事

○布達甲第四十九號 明治十九年五月十四日

水産ノ蕃殖ヲ圖ルカ爲メ管内各河川ニ於テ禁漁場ヲ設ケ取締規則ヲ定ムル左ノ
如シ

水産取締規則

第一條 禁漁場ハ無期有期ノ二種トス

第一 左ノ个所ヲ畫シテ無期禁漁場トナシ一切ノ漁業ヲ禁ス

球磨川 但球磨郡人吉町舊谷口渡船場ヨリ上流七地村字合戰瀨迄長六百五十間

川邊川

但同郡四浦村字上下阪ヨリ字平川マテ長貳百六十間

同川

但同郡川邊村字永江渡ヨリ上流へ長貳百間

前川

但八代郡萩原村掛リ字川原瓢箪淵水源ヨリ下流八代町掛リ住吉向麥島村掛
リ田舎江口迄長千間

産山川

但阿蘇郡産山村字港ヨリ同村字石尾野マテ長千六十間

廿一年十月
第五十二號ニテ
但改正

農工商門

十八年八月 布達 甲第九十八號
十九年五月 布達 甲第四十九號

山鹿川

但同郡山鹿村字上山鹿ヨリ字廣瀨マテ長千四十間

田尻川

但同郡田尻村字鷺ノ巢ヨリ下流長三百五十間

大利川

但同郡大利村字大利橋ヨリ同村山鹿川吐合マテ長三百間

黒川

但同郡中通村字鹿濱川小嵐橋ヨリ上流へ長六百七十間

矢津田川

但同郡赤馬場村字廻淵橋ヨリ上流へ長百二十間

同川

但同郡赤馬場村字陳内積ヨリ上流へ長百五十間

同川

但同郡同村字瀧ノ口積ヨリ上流へ長百五十間

志賀瀬川

但同郡滿願寺村字産ノ淵田中川吐合ヨリ上流へ長百間

同川

但同郡同村字志賀瀬積ヨリ上流へ長百間

波居原川

但同郡同村字鬼淵積ヨリ女子夫積マテ長百五十間

廿一年十月
廿二年十月
廿三年十月
廿四年十月
廿五年十月

廿三年一月
廿四年一月
廿五年一月
廿六年一月
廿七年一月

志賀瀬川
 但同郡宮ノ原村字津留天神淵長四十間
 同川
 但同郡同村字向原逆瀧淵長四十間
 同川
 但同郡下城村字尾平梅ヶ島淵長百五十間
 瀨ノ本川
 但同郡上田村字鹽井川妙見淵長四十間
 成川
 但同郡黒川村掛リ字新井手ヨリ下流字七ツ樋迄長六百七十四間
 第二條 有期禁漁場ヲ設ケル左ノ如シ
 第一 左ノ个所ハ毎年二月一日ヨリ六月三十日マテ一切ノ漁業ヲ禁ス
 綠川
 但上益城郡豊内村字鶴ノ瀨ヨリ西原村字泥淵マテ長二千百六十間
 御舟川
 但上益城郡邊田見村字磧所ヨリ同村字五郎笠マテ長三百間
 山鹿川
 但山鹿郡保田多村字鍋田川吐合ノ上ヨリ保多田村字藥師堂新川マテ長七百
 氷川

農工商門

十九年五月 布達 甲第四十九號

但八代郡立神村字地藏淵ヨリ下流荒神淵マテ長九百間
 第二 左ノ个所ハ毎年三月一日ヨリ六月三十日マテ一切ノ漁業ヲ禁ス
 追間川
 但菊池郡追間村字追間瀧ヨリ東目鏡橋限西瀧下マテ長三十間
 菊池川
 但同郡今村字鵜ノ木ヨリ同村菊池磧マテ長七百間
 同川
 但同郡清瀧淵ヨリ下流水磧マテ長二百五十間
 山鹿川
 但山鹿郡方保田村字方保田橋ヨリ下流専流寺淵マテ長六百間
 第三 左ノ个所ハ毎年五月一日ヨリ七月三十一日マテ一切ノ漁業ヲ禁ス
 赤馬場川
 但赤馬場橋ヨリ上流長二百四十間
 志賀瀬川
 但阿蘇郡滿願寺村字志童子榎木淵ヨリ上流ハ長二百四十間
 同川
 但同郡滿願寺村字志童子藤淵長三十間
 志賀瀬川
 但阿蘇郡下城村字切通矢越淵長百五十間
 同川

但同郡同村字津尾石當浦淵長百五十間
 第四 左ノ个所ハ毎年十月一日ヨリ十一月三十日マテ一切ノ漁業ヲ禁ス
 黒川
 但阿蘇郡市ノ原村區域字黒川温泉ヨリ上流ヘ長二千百六十間
 田中川
 但同郡同村田中川長六千五百四十間
 瀬ノ本川
 但同郡市ノ原村瀬ノ本川長二千百六十間
 モミ木川
 但同郡宮原村モミ木川筋一圓
 第三條 前條ニ掲グル諸川ニ於テ毒流シト稱シ石灰質ノ骨山椒ノ皮其他各種ノ藥品ヲ用ヒ漁魚スルヲ禁ス
 第四條 前各條ニ掲グル禁漁場ニ於テ漁業シ及ヒ第三條ヲ犯シタルモノハ違警罪ノ刑ニ處セラルヘシ
 右布達候事
 ○縣令第九十一號 明治二十年十二月二十八日
 獸醫取締規則左之通相定ム

獸醫取締規則

第一條 獸醫ヲ開業セント欲スルモノハ其免狀寫ヲ添ヘ開業スヘキ郡區町村番地ヲ詳記シ所轄郡區役所ヲ經テ届出ツヘシ但轉籍寄留又ハ原籍ヘ復歸シタ

ルキモ其旨届出ヘシ

第二條 獸醫ハ牛馬賣買營業ヲ兼業スルヲ得ス
 第三條 假開業獸醫ハ免許區域外ニ出テ病畜ノ診察治療スルヲ許サズ但區域外ノ病畜ヲ免許區域内ニ牽來テ治療ヲ乞モノハ此ノ限リニアラス
 第四條 畜主ノ請求ヨリト雖モ診察シタル病畜ニアラサレハ猥リニ藥劑ヲ投與スヘカラス
 第五條 獸醫術開業免狀ヲ所持セザル門生等ヲシテ診斷治療ヲ專任スルヲ得ス
 第六條 各種傳染病ト診察シタルトキ若クハ蔓延ノ兆候アリト認ムルキハ其症候原因等ヲ詳記シ速カニ最寄ノ獸醫ニ通報スヘシ但本條ノ通報ヲ受ケタル獸醫ハ部内畜主又ハ管理者ト協議シ豫防上ニ注意スヘシ
 第七條 假開業獸醫ハ免狀ノ有効期限ヲ經過シ又ハ廢業死亡シタルキハ該免狀直チニ返納スヘシ
 第八條 業務上ニ關シ官署ヘ差出スベキ書面ハ總テ獸醫ノ二字ヲ氏名ノ肩ニ明記スヘシ
 第九條 一ケ年中治療ノ患畜ハ別紙書式ニ倣ヒ毎年二月前年分ヲ製表シ所轄郡區役所ヲ經テ差出スヘシ
 第十條 此規則外別段ノ制規アルモノハ其本則ニ據ルヘシ

明治何年病畜表

病名	獸類	種類	牝	牡	全治	不治	斃死	他轉	撲殺	合	計
總計											

右ノ通候也

何郡區何町村番地

年月日 獸醫 氏 名 印

○縣令第九十二號 明治二十年十二月二十八日
 明治十八年八月布告第二十八號獸醫免許規則第五條ニ依リ獸醫假開業免許出願手續左之通相定ム

獸醫假開業免許出願手續

二十四年五月
 第十八號ニテ
 第三條ニテ

二十四年五月
 第十八號ニテ
 第七條ニテ

- 第一條 獸醫乏シキ地(開業獸醫ノ居住所ヨリ一日中ニ往復シ能ハザル土地ニ限ル)ニ於テ假開業免許ヲ得ン
 ト欲スル者ハ別紙書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所轄郡區役所ヲ經テ差出スベシ
- 第二條 前條出願者ハ其履歷ニ因リ學力ヲ試驗スルコトアルヘシ
- 第三條 假開業獸醫營業ノ免許年限ハ滿二ケ年トス
- 第四條 假開業獸醫營業ノ免許年限ヲ經ルモ仍ホ獸醫ニ乏シキ場合ニ於テハ此
 手續ニ依リ更ニ假開業免狀ノ下附ヲ出願スルコトヲ得
- 第五條 假開業獸醫ニシテ本免狀ヲ得タル者ハ其假開業免狀ハ直ニ返納スヘシ
- 第六條 假開業獸醫免許年限中其區域内ニ於テ本免狀ヲ得タル獸醫ノ開業者アル
 ルハ該免狀ハ返納セシムルコトアルヘシ
- 第七條 假開業獸醫ハ一區域ニ一名ヲ限ルヘシ

(書式) 用紙美濃紙正副三通

獸醫假開業免狀下附願

住所 寄附 共
 身分
 氏名
 年月生

私儀何郡區何(町村)何番地ニ於テ獸醫開業仕度候間獸醫假開業免狀御下附被
 成下度別紙履歷書相添ヘ此段奉願候也

年月日 戶長 氏 名印 氏 名印

農商務大臣宛

○縣令第四號 明治二十一年一月二十四日

博覽會共進會開設ニ際シ煙草賣藥ヲ出品シ且ツ其會場内外ニ於テ特ニ販賣スルモノハ自今左之通心得ヘシ

- 一 從來免許ノ營業人ニシテ出品スルモノハ別段免許鑑札ヲ受ルニ及ハス
- 一 印紙ノ貼用ヲ要スル物品ハ總テ其規則ニ遵テ印紙ヲ貼用スヘシ
- 一 出品主ニシテ其出品ノ販賣店ヲ開設スルモノモ亦前二項ニ準ス但其店頭ニ免許何營業人住所氏名ヲ記載セル標札ヲ掲出スヘシ
- 一 前項販賣店開設ヲ許可スルニ當リ場内狹隘ノ爲メ止ムヲ得サルトキハ其場近傍ニ一定ノ區域ヲ限リテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

○縣令第六十五號 明治二十一年十二月二十一日

本年五月縣令第二十七號ヲ以テ春蠶ノ製絲用種夏蠶秋蠶(飼育スルモノ)ノ原種及製絲用種ノ検査施行ヲ延期シタルニ依リ右延期間ハ此等ノ蠶種ヲ製造シ又ハ販賣スル者ハ明治十九年ノ農商務省令第九號蠶種検査規則第一條ノ鑑札ハ願出ニ及ハス

○縣令第二十六號 明治二十三年五月三日
勸業諮問會規則左之通相定ム

二十五年三月
二十六年三月
二十七年三月
二十八年三月
二十九年三月
三十年三月
三十一年三月
三十二年三月
三十三年三月
三十四年三月
三十五年三月
三十六年三月
三十七年三月
三十八年三月
三十九年三月
四十年三月

勸業諮問會規則

第一條 本會ハ明治十六年五月太政官布達第十三號及同年七月農商務省達第八號ニ據リ勸業上諮問ノ爲メ之ヲ設ク

第二條 本會ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

- 一 海陸運漕ノ利害(道路港灣)ニ關スル事
- 二 溝渠用惡水疏通ニ關スル事
- 三 農工商水産山林鑛山ノ利害及改良保護ニ關スル事
- 四 農工商水産鑛山ニ關スル事

第三條 本會ハ農業諮問會工商業諮問會ノ二種ニ區分シテ之ヲ開ク但其會期ハ十五日以前ニ之ヲ會員ニ通達スルモノトス

第四條 農業諮問會ハ日數七日以内工商業諮問會ハ日數五日以内トス

第五條 諮問會員數ヲ定ムル左ノ如シ

農業諮問會員

熊本市	一人	飽田郡	二人	託麻郡	一人
宇土郡	一人	玉名郡	三人	山鹿郡	一人
山本郡	一人	菊池郡	一人	合志郡	一人
阿蘇郡	二人	上益城郡	二人	下益城郡	二人
八代郡	二人	葦北郡	一人	球磨郡	二人
天草郡	三人				

工商業諮問會員

農工商門

廿一年十二月

縣令

第四號

廿三年五月

縣令

第二十六號

第六十五號

二百八十九

熊本市	五人	飽田郡	一人	記麻郡	一人
宇土郡	一人	玉名郡	一人	山鹿郡	一人
山本郡	一人	菊池郡	一人	合志郡	一人
阿蘇郡	一人	上益城郡	一人	下益城郡	一人
八代郡	一人	葦北郡	一人	球磨郡	一人
天草郡	一人				

第六條 諮問會員ハ管内農工商者ニ就キ知事之ヲ撰定ス
 第七條 前條諮問會員ノ任期ハ滿三年トス但任期中缺員アルハ更ニ之ヲ補フ
 第八條 會員ニハ開會中ノ滞在日當及往復旅費ヲ支給ス其給與法ハ別ニ之ヲ定ム
 第九條 會頭ハ知事之ヲ勤ム但知事事故アルハ書記官又ハ主務課長ヲシテ代理セシムルヲアレヘシ
 第十條 書記ハ屬官ヲ以テ之ニ充ツ
 第十一條 本會ハ總テ談話ノ体ヲ用ヒ諸説ノ採擇ハ會頭ノ意見ニ依リ起立ニ問ヒ又ハ投票セシムルヲアルヘシ
 第十二條 農商務省官吏又ハ知事ノ許可ヲ得ル官吏及農工商會員等ハ會場ニ列シ意見ヲ陳ルヲ得ルト雖モ可否ノ數ニ算スルヲ得ス
 第十三條 會員ノ出席過半数ニ滿タサルハ開會スルヲ得ス但同一ノ問題ニシテ再回ニ至レハ過半数ニ滿タサルモ直ニ開會スルヲ得
 ○縣令第二十七號 明治二十四年六月五日

二十四年六月五日
令第二十七號
本手続中改正

明治二十三年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ依リ假開業免狀下付
出願手續キ左ノ通り相定ム

蹄鐵工假免許出願手續

第一條 蹄鐵工ニモシキ地(開業蹄鐵工ノ居住地ヨリ一日中ニ往復シ能ハサル土地ニ限ル)ニ於テ假免狀ヲ得ント欲スルモノハ別紙書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所轄郡市役所ヲ經テ差出スヘシ

第二條 前條出願者ハ其履歷ニ因リ學力ヲ試驗スルコトアルヘシ

第三條 假免許蹄鐵工營業ノ免許年限ハ滿二ケ年トス

第四條 假免許蹄鐵工營業ノ免許年限ヲ終ルモ仍ホ蹄鐵工ニモシキ場合ニ於テハ此手續ニ據リ更ニ假免狀ノ下付ヲ出願スルコトヲ得

第五條 假免許蹄鐵工ニシテ本免狀ヲ得タルトキハ其假免狀ハ直ニ返納スヘシ

第六條 假免許蹄鐵工免許年限中其區域内ニ於テ本免狀ヲ得タル蹄鐵工ノ開業者アルトキハ該免狀ハ返納セシムルコトアルヘシ

第七條 假免許蹄鐵工營業區域ハ當分獸醫假開業ノ區域ニ基キ其域内ニ壹人ヲ限ルモノトス

(書式) 用紙美濃紙正副三通
蹄鐵工假免狀下附願

住所簿番共
身分
氏名

農工商門

廿四年六月 縣令 第二十七號

私儀何(市郡)何(町村)何番地ニ於テ踏鐵工開業仕度候間踏鐵工假開業免狀御
下附被成下度別紙履歷書相添此段奉願候也

年月日

氏名印
村長氏名印

農商務大臣宛

○縣令第二十九號 明治二十五年三月二十九日
明治十九年(八月)農商務省令第九號蠶種検査規則施行手續左之通改定ス
但本令ニ抵觸スル從前ノ令達ハ凡テ廢止ス

蠶種検査規則施行手續

- 第一條 蠶種ヲ製造シ又ハ販賣セントスルモノハ第一號書式ニ依リ(其製造)販賣願書ヲ認メ其市町村長連署ノ上郡市役所ヲ經由シ之ヲ縣廳ニ出願スヘシ
- 第二條 鑑札ハ製造ト販賣トニ區別シ下附スルモノトス但製造者ニシテ販賣スル者ハ兩様ノ鑑札ヲ受クヘシ
- 第三條 蠶種製造及蠶種販賣者改氏名或ハ鑑札ヲ遺失毀損シタルトキハ更ニ第一條ノ手續ニ準シ書換又ハ再渡ヲ出願スヘシ
- 第四條 蠶種検査規則第十一條ニ依リ蠶種製造者及蠶種販賣者鑑札ヲ返納セントスルトキハ其届書ニ廢業寄留轉籍等ノ事由ヲ記シ其市町村長連署ノ上郡市役所ヲ經由シ鑑札ト共ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第五條 蠶種販賣者行商セントスルトキハ必其販賣鑑札ヲ携帯スヘシ
第六條 蠶種検査所ハ左ノ場所ニ設置ス但時宜ニ依リ巡回検査ヲ行フアルヘシ
熊本(縣廳内)

第七條 検査所ノ蠶種ハ蠶卵紙ノ裏面四ヶ所ニ検査證印又ハ廢棄證印ヲ押捺ス但裁斷スヘキ區畫ノ線ヲ附シタルモノハ其線上ニ該印ヲ押捺ス

第八條 原種用ニ不適當ニシテ病毒製糸用種ノ範圍内ニ屬スルモノ更ニ製糸用種ノ検査ヲ受ケント欲スルトキハ検査期日内ニ其旨検査所ニ請求スヘシ

第九條 蠶種検査規則第二條ニ依リ検査ヲ受ケント欲スルモノハ第三號書式ノ目錄ヲ作り之ヲ蠶種ニ添ヘ検査期日ノ前日迄ニ検査所ニ差出スヘシ但一枚ノ蠶種ヲ裁斷シ販賣セント欲スルモノハ豫メ其裏面ニ裁斷スヘキ區畫ノ線ヲ附シ置クヘシ

第十條 框製蠶種ハ製造者ニ於テ蛾ノ検査ヲ遂ケ病毒アル區域ハ切斷シテ検査所ニ差出スヘシ

第十一條 蠶種検査規則第八條ニ依リ蠶種ノ裏面ニハ製造者ノ住所氏名又ハ會社若クハ組合ノ名稱ヲ記シ之ヲ原種ト製糸用種トニ區別シ検査所ニ差出スヘシ

第十二條 検査ニ差出原種ノ數ハ其年掃立タル枚數又ハ框數ニ一倍増(例ヘハ十枚掃立タルモノハ二十枚迄又百框掃立タルモノハ二百框迄ヲ云フ)類尤一枚未滿ノ端數ハ一枚ニ切上ケ算出ス)迄ヲ限リトス尤モ他ヨリ原種讓與ノ依頼ヲ受ケタル時若シ前顯枚數ニテ不足スル分ハ特ニ其數ニ充ルマテノ枚數ヲ

検査ニ差出スコトヲ許ス此場合ニ於テハ豫メ其依頼者(飼育者即チ本人)ヨリ枚數又ハ框數及住所氏名ヲ記シ捺印アル依頼書ヲ取リ置キ第三號書式ノ目錄ニ添へ原種一同検査所ニ差出スヘシ但シ依頼書ニ不明瞭ノ處アルトキハ其原種ハ直ニ却下スヘシ

第十三條 蠶種検査ハ左ノ期日ヨリ相始ム

〔春蠶種〕 毎年十月一日

〔初生夏蠶種〕 同十一月一日

秋蠶種 同六月十日

再生夏蠶種 同六月十日

第十四條 蠶種検査規則第七條ニ依リ春蠶種ノ掃立枚數及蠶種製造額又ハ夏蠶種秋蠶種ノ掃立枚數並蠶種製造豫算額ノ届出ハ第二號書式ニ依リ調製シ其市町村長連署ノ上左ノ期日迄ニ郡市役所ヲ經由シ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

春蠶種 毎年七月三十一日

夏蠶種及秋蠶種ハ検査期日ヨリ三十日以前

第十五條 蠶種製造並蠶種販賣鑑札及検査證印雛形左ノ如シ

検査ニ差出スコトヲ許ス此場合ニ於テハ豫メ其依頼者(飼育者即チ本人)ヨリ枚數又ハ框數及住所氏名ヲ記シ捺印アル依頼書ヲ取リ置キ第三號書式ノ目錄ニ添へ原種一同検査所ニ差出スヘシ但シ依頼書ニ不明瞭ノ處アルトキハ其原種ハ直ニ却下スヘシ	
第十三條 蠶種検査ハ左ノ期日ヨリ相始ム	
〔春蠶種〕 毎年十月一日	〔初生夏蠶種〕 同十一月一日
秋蠶種 同六月十日	再生夏蠶種 同六月十日
第十四條 蠶種検査規則第七條ニ依リ春蠶種ノ掃立枚數及蠶種製造額又ハ夏蠶種秋蠶種ノ掃立枚數並蠶種製造豫算額ノ届出ハ第二號書式ニ依リ調製シ其市町村長連署ノ上左ノ期日迄ニ郡市役所ヲ經由シ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ	
春蠶種 毎年七月三十一日	夏蠶種及秋蠶種ハ検査期日ヨリ三十日以前
第十五條 蠶種製造並蠶種販賣鑑札及検査證印雛形左ノ如シ	
紙面表 蠶種製造鑑札 熊本縣郡市番地 氏名	裏面表 明治何年 何月何日 熊本縣 縣印

検査ニ差出スコトヲ許ス此場合ニ於テハ豫メ其依頼者(飼育者即チ本人)ヨリ枚數又ハ框數及住所氏名ヲ記シ捺印アル依頼書ヲ取リ置キ第三號書式ノ目錄ニ添へ原種一同検査所ニ差出スヘシ但シ依頼書ニ不明瞭ノ處アルトキハ其原種ハ直ニ却下スヘシ	
第十三條 蠶種検査ハ左ノ期日ヨリ相始ム	
〔春蠶種〕 毎年十月一日	〔初生夏蠶種〕 同十一月一日
秋蠶種 同六月十日	再生夏蠶種 同六月十日
第十四條 蠶種検査規則第七條ニ依リ春蠶種ノ掃立枚數及蠶種製造額又ハ夏蠶種秋蠶種ノ掃立枚數並蠶種製造豫算額ノ届出ハ第二號書式ニ依リ調製シ其市町村長連署ノ上左ノ期日迄ニ郡市役所ヲ經由シ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ	
春蠶種 毎年七月三十一日	夏蠶種及秋蠶種ハ検査期日ヨリ三十日以前
第十五條 蠶種製造並蠶種販賣鑑札及検査證印雛形左ノ如シ	
紙面表 蠶種販賣鑑札 熊本縣何郡市番地 氏名	裏面表 明治何年 何月何日 熊本縣 縣印
熊本縣熊本検査所原種検査之證	熊本縣熊本検査所製絲用種検査之證
廢棄之證	
(書式第一號) 鑑札下附願 蠶種(製造)(販賣)鑑札 右下附奉願候也(遺失毀損ノ片ハ其事由ヲ記スヘシ改氏名ノ片亦同シ)	郡市番地職業 氏名印
年月日	右

(書式第二號)

蠶種掃立枚數及製造(或ハ豫算)額御届

熊本縣知事氏名宛

市町村長 氏

名 印

春 夏 秋 合 計	蠶 蠶 蠶 計	春夏秋蠶ノ區別		種類ノ區別	掃立數	蠶種製造額	
		赤熟又ハ何々	普通製何枚 楯製何枚 (何枚)			原糸用	製糸用
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々
右	右	右	右	右	右	右	右
同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上

右御届申上候也

年 月 日

郡市番地
町村番地

右

市町村長 氏

名 印

熊本縣知事氏名宛

(書式第三號)

蠶種目錄

春夏秋蠶ノ區別	種類ノ區別	原種用種	製糸用種
春 蠶	赤熟又ハ何々	普通製何枚 楯製何枚 (何枚)	同
夏 蠶	右 同	右 同	同
秋 蠶	右 同	右 同	同
合 計	何 種	右 同	同
		上	上

右御検査被成下度候也

郡市番地
町村番地

氏

名 印

熊本縣熊本蠶種検査所宛

附則

第十六條 本施行手續中春蠶ノ製糸用種夏蠶秋蠶ノ原種及製糸用種ノ検査ハ當分之ヲ施行セス

第十七條 從來下附ノ蠶種製造及蠶種販賣鑑札ハ來ル四月三十日限其市町村長連署ノ上郡市役所ヲ經由シ之ヲ縣廳ニ返納スヘシ尤モ營業者ハ本施行手續第一條ニ依リ此際更ニ鑑札出願スヘシ

○縣令第三十一號 明治二十五年四月一日

苗種交換手續左ノ通り更正ス但明治二十三年十一月縣令第六十一號ハ本年三月三十一日限り廢止ス

苗種交換手續

第一條 他府縣產苗種試驗ノ爲メ取寄テ願フ者ハ其產地及名稱(方言アレハ記入スヘシ)等ヲ記載シ見積金ヲ添ヘ播種季節五十日以前所轄町村役場又ハ郡市役所ヘ正副二通ノ願書ヲ差出スヘシ
第二條 出願者ノ支辨スヘキ見積金額ハ現品代價并運賃荷造費及爲換料トス其見積金ハ郡市役所及町村役場ニ預リ置キ其旨記入シ願書一通本縣内務部ヘ回付スヘシ

第三條 郡市役所及町村役場ニ於テハ本縣内務部又ハ各產地ヨリ直接代金請求ノ通知書到達ノ上ハ前條預リ金ヲ以テ直ニ請求向ヘ送金スヘシ但見積金不足スルキハ出願者ヨリ追徴スヘシ出願者ハ遅クモ三日以内ニ其通知ヲ受ケタル役場ニ送金スヘシ

第四條 郡市役所及町村役場ニ於テハ現品到達ノ上ハ速ニ出願者ニ下付スヘシ
第五條 出願ノ苗種運搬ノ途次枯損シ或ハ產地ヨリ回漕遲延等ノ爲メ受ケル處ノ一切ノ損失ハ出願者ノ損失ニ歸スヘシ

第六條 第一條第二條ノ手續ヲ經サルモノハ其取扱ヲ爲サ、ルモノトス
○縣令第六十三號 明治二十五年十一月三十日

蠶絲業取締規則左之通相定ム但明治十八年本縣甲第百二十二號布達ハ廢止ス

蠶絲業取締規則

廿六年四月聯合
第十八號ニテ第
二條制定

第一條 本則ニ於テ蠶絲業ト稱スルハ蠶種製造者養蠶者生糸製造者(以上自用者ヲ除ク)及蠶種繭生糸等ヲ販賣若クハ仲買スルモノヲ云フ

第二條 蠶絲業ニ從事スル者ハ郡市ノ區畫ニ依リ組合ヲ設ケ必ス之ニ加盟スヘシ但土地ノ情況ニ依リ組合區畫ノ分合ヲ要スルトキハ知事ノ認可ヲ受ケヘシ

第三條 組合ノ名稱ハ熊本縣何郡(市)蠶絲業組合ト稱スヘシ

第四條 組合ハ便宜ノ地ニ事務所ヲ置キ其組合ニ關スル一切ノ事務ヲ整理スヘシ

第五條 組合ハ其氣脈ヲ聯通スル爲メ縣下便宜ノ地ニ取締所一ヶ所ヲ設ケ各組合ヲ統轄シ組合規約ノ實施ヲ監督スヘシ

第六條 組合ハ規約ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受ケ施行スヘシ但規約ノ認可ヲ得タルトキハ所轄郡市役所並取締所ヘ届ケ出ツヘシ

第七條 組合及取締所ノ費用ハ組合員ノ負擔トス

第八條 組合員ハ縣廳ノ檢印アル組合證票ヲ携帯スヘシ

第九條 組合ハ組合員名簿ヲ製シ組合事務所ニ備置キ一冊ハ取締所ヘ届ケ置クモノトス但起廢業及轉居者アルトキハ其都度名簿ヲ加除シ年二回(一月七月)

取締所ヘ届ケ出ツヘシ

第十條 組合ニハ組長檢査役其他適宜ノ役員ヲ置クモノトス

第十一條 組合ニ於テハ會議ヲ開キ諸事ヲ議決スヘシ

第十二條 蠶種ヲ製造スルニハ餘付ヲナス可カラズ

第十三條 屑繭又ハ玉繭ヲ以テ蠶種製造ノ原料トナスヘカラス

第十四條 蠶種原紙ニハ春夏秋冬ノ種別及種類(小石丸或ハ又昔ノ類)ノ名稱ヲ表

面ニ製造者ノ住所氏名ヲ裏面ニ明記スヘシ
 第十五條 繭生糸ニ不正ノ重量ヲ附シ賣買スヘカラス
 第十六條 生糸ハ善惡ヲ混淆シ又ハ二緒以上ヲ合セ揚返シタルモノヲ賣買スヘカラス
 第十七條 組合ニ於テハ蠶種及生糸検査法ヲ設ケ之ヲ検査スヘシ
 第十八條 蠶種ハ本縣蠶種検査所又ハ組合検査ノ證ナルニアラサレハ賣買スルヲ得ス
 第十九條 生糸ハ括造ヲナセシモノハ必ス組合検査ノ證アルニアラサレハ賣買スルヲ得ス但括造ヲ爲シ得サル小量ノ生糸ハ検査ヲ要セス卷用證紙ヲ付シ之ニ製造者ノ住所氏名ヲ明記シ賣買スルヲ得
 第二十條 繭生糸ヲ荷造シ他府縣下ニ輸出販賣スルモノハ組合ノ名稱及製造者若クハ取扱人ノ住所氏名ヲ記入セシ標章ヲ附スヘシ
 第二十一條 組合規約ニ掲グヘキ事項ハ左ノ如シ
 第一 組合事務所ノ位置
 第二 役員選舉法及權限
 第三 役員給料及旅費
 第四 組合内ニ小區ヲ設クルトキハ區域及其役員
 第五 組合會議ニ關スル規程
 第六 組合内蠶糸業ノ統計ヲ調査報告スル方法
 第七 桑樹ノ栽培蠶兒ノ飼育ヲ善長ナラシムルノ方法
 第八 製糸ニ適スル蠶種ヲ選ミ飼育スル事

第九 繭ノ殺蛹及貯藏法ヲ完全ナラシムル方法
 第十 繭ハ春夏秋ノ種類ヲ混淆賣買セサル事
 第十一 製糸ハ綾取アル揚篋ヲ用ヒ尺度ヲ一樣ナラシムル事
 第十二 生糸ノ結束及總ノ量目ヲ一樣ナラシムル事
 第十三 蠶種及生糸ノ検査方法
 第十四 經費ノ賦課徵收及支出決算方法
 第十五 違約者處分ノ方法
 第十六 前各項ノ外各組合ニ於テ必要トスル事項
 第二十二條 取締所ニハ頭取以下役員若干名ヲ置クモノトス
 第二十三條 取締所ハ各組長ヲ以テ議員トシ會議ヲ開クモノトス
 第二十四條 取締所ノ規約ハ左ノ事項ニ準シ其會議ニ於テ之ヲ議定シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 第一 取締所位置
 第二 會議ニ關スル規程
 第三 組合ノ氣脈ヲ聯通スル方法
 第四 役員ノ選舉法及權限
 第五 役員給料及旅費
 第六 組合ノ監督及獎勵方法
 第七 蠶糸業ノ實況及之ニ關スル統計ヲ調査報告スル方法
 第八 組合ノ證紙ニ關スル規程

第九 經費ノ賦課徵收及支出決算方法
 第十 前各項ノ外必要トスル事項
 第二十五條 組合及取締所ノ役員ヲ選舉シタルトキハ所轄郡市役所ヲ經テ縣廳ニ届ケ出ツヘシ
 第二十六條 各組合ニ於テ製糸傳習所ヲ設クルトキハ左ノ事項ニ依リ規約ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 第一 傳習所ノ位置
 第二 管理者及役員
 第三 教師及傳習生ノ人員
 第四 役員及教師給料旅費
 第五 傳習期日及授業課目
 第六 製紙用水ノ撰定
 第七 傳習生獎勵方法並製糸検査ノ方法
 第八 工場取締規程
 第九 傳習所經費並收支ノ方法
 第十 前各項ノ外必要トスル事項
 第二十七條 本則第二條第六條第十二條第十三條第十四條第十六條第十八條第十九條ニ違背シタルモノハ五拾錢以上一圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
 附則
 第二十八條 本則施行ニ付テハ各郡市長ハ其郡市内蠶糸業者ヨリ創設委員ヲ選

定シ組合ノ組織ヲ定メ規約ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受ケシムヘシ
 第二十九條 各組合規約ハ明治二十六年一月三十日限リ取締所規約ハ全年二月二十八日限リ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 ○縣令第六十四號 明治二十五年十二月九日
 明治十八年二月甲第十五號種牡牛馬取締規則左ノ通更正シ明治二十六年一月一日ヨリ施行ス
 種牡牛馬取締規則
 第一條 種牡馬ハ検査合格證ヲ受クルニ非サレハ種用ニ供スルヲ得ス
 第二條 種牡馬ニ供セント欲スルモノハ第一號書式願書ヲ毎年最寄検査場出張員ヘ差出検査ヲ受クヘシ但検査場及日割ハ前以廣告ス若シ其日時變更ヲ要スル場合ニ於テハ検査員ヨリ其検査場所在郡市役所及町村役場ヘ通報スヘシ
 第三條 種牡馬ハ検査ノ上甲乙二種ノ合格證ヲ下付スヘシ
 第四條 種牡馬合格證ハ甲種ハ連年繼續シ乙種ハ毎年下付スヘシ
 第五條 検査合格證ハ他人ニ讓與賣却又ハ貸與スルヲ許サス
 第六條 甲種合格證ヲ所有スルモノハ毎年最寄検査場ニ馬疋ヲ牽出第一號書式願書ニ合格證ヲ添検査ヲ受クヘシ但馬格ニ異狀ヲ呈シ種牡馬ニ不適當ト認ムルハ又ハ検査場ニ牽出サルモノハ合格證ヲ無効トシ之ヲ引揚クヘシ
 第七條 種用ニ供スル牡牛ハ毎年十一月限リ第二號書式ニ依リ所轄郡市役所ヘ届出ヘシ郡市役所ニ於テハ畜主ノ届出ヲ調査シ第三號書式ニ依リ毎年十二月十日限リ縣廳ニ進達スヘシ但種牡牛ハ當分ノ内検査ヲ行ハス

第八條 種牡牛馬ハ左ノ各項ニ該當セシモノニ限ル
 第一 牛ハ滿貳才以上滿十才以下トス但洋種ハ十才以上ニ至ルモ妨ケナシ
 第二 馬ハ滿四才以上滿十六才以下トス但洋種ハ十六才以上ニ至ルモ妨ケ
 ナシ
 第三 遺傳病ナキモノ
 第四 惡癖ナキモノ
 第五 強壯ニシテ骨格善長ナルモノ
 第六 種牡牛ハ丈四尺以上ノモノ
 第七 種牡馬甲種ハ丈四尺六寸以上乙種ハ丈々四尺四寸以上ノモノ
 第九條 種牡馬甲乙種合格ノモノハ左蹄部ニKノ烙印ヲナシ不合格ノモノハ鬣
 ノ左方部ニ於テ凡壹寸ヲ刈取ルヘシ
 第十條 種牡牛馬ヲシテ牝牛馬ノ傳染病遺傳病アルモノ又ハ三才以下ノモノニ
 孳尾セシムルヲ得ス
 第十一條 孳尾季節ハ毎年三月一日ヨリ六月三十日限り一種牡馬配合ノ牝馬ハ
 五十頭ニ限トス
 第十二條 検査合格證ハ孳尾ノ際必ス携帯シ一見ヲ需ムルモノアルキハ何人ニ
 モ之ヲ示スヘシ
 第十三條 乙種合格證ノ有効期限ハ六月三十日迄トス該證ハ七月十五日限市役
 所町村役場ニ返納シ郡市役所ニ之ヲ取纏メ七月三十日限り縣廳ニ送附スヘシ
 第十四條 種牡馬ヲ廢止シ若クハ賣渡讓渡又ハ斃死ノ時ハ合格證ヲ添其官届出ヘシ

第十五條 種牡馬ヲ買受讓受種用ニ供セントスルモノハ双方連署ノ上町村長ノ
 與書ヲ受テ郡市役所ヲ經合格證ノ書換ヲ願出ヘシ
 第十六條 検査合格證ヲ亡失毀損又ハ合格證面ニ異動ヲ生シタル時ハ町村長ノ
 與書ヲ受テ郡市役所ヲ經更ニ下渡又ハ合格證ヲ添ヘ書換ヲ願出ヘシ
 第十七條 牝馬主ニ於テハ検査合格證ヲ有セサル種馬ヲ所有牝馬ニ孳尾セシム
 ヘカラス
 第十八條 第一條第五條ニ違背シタルモノハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科
 料ニ處ス
 (第一號書式) 甲種合格證所有ノモノハ末文ニ括弧線内ノ文字ヲ加フ
 種牡馬検査願
 一 種類 内外國種雜種(乘用、荷車用、農用)
 一 產地 何縣郡市町村又ハ牧場名
 一 年齡 何才
 一 丈 何尺何寸何分
 一 毛色 何毛
 右種牡馬ニ供度候間(甲種合格證相添)御検査奉願候也
 何郡町村番地族籍職業
 年 月 日 畜 主 姓 名 印
 市町村長 姓 名 印
 縣知事宛

(第二號書式)

種牡牛届

内外國種(短角種デボン種シユイルシー種ノ類)

何縣那市町村又ハ牧場名

何才

何尺何寸何分

一丈

一毛色

右種牡牛ニ供候ニ付此段御届仕候也

何那市町村番地族籍職業

畜主 姓名 名印

何町村長 姓名 名印

(第三號書式)

種牛表

種類	年齢	丈ケ	毛色	産地	所有者住所族籍
内外國種及 何々	何才	何尺何寸	何毛	縣那市町村 何々牧場	姓名

右報告候也

年月日

那市長

知事宛

○縣令第二十一號 明治二十六年五月十八日

漁業組合規則左之通相定メ明治二十六年六月十一日ヨリ施行ス

但明治十九年八月甲第六十八號布達及明治二十三年十月縣令第五十八號ハ本則施行期ニ至リ廢止ス

漁業組合規則

第一條 本則ニ於テ漁業ト稱スルハ鹹水産動物ヲ採捕又ハ製造スル事ヲ云フ
第二條 漁業ニ従事スル者ハ本則ニ據リ一郡若クハ二郡以上ヲ合シ組合ヲ設置スヘシ

第三條 漁業者ハ本籍寄留ヲ問ハズ其地區組合ニ加盟スヘシ

他管ノモノニシテ本縣海面ニ於テ漁業ニ従事スル者ハ其他地區組合規約ニ規定セル他地區漁業者ニ關スル規程並ニ制限禁止ノ條項ヲ遵守スヘシ

第四條 組合ノ名稱ハ熊本縣何郡(二郡以上ハ郡名列記ス)漁業組合ト稱スヘシ

但漁業上慣例ヲ異ニスル地區ハ組合内ニ部ヲ設置スルモ妨ケナシ

第五條 組合ハ營業ノ弊害ヲ矯正シ其利益ヲ増進シ水産ノ蕃殖ヲ圖ルヘキ規約ヲ結ビ知事ノ認可ヲ受ケ施行スヘシ

第六條 漁業及漁場ノ他組合ト相關聯シ聯合規約ノ必要アル地區ハ其關係組合ト聯合會ヲ開設シ規約ヲ締結スヘシ

第七條 縣下各組合ニ互リ利害ニ關スル事項ヲ議スルノ必要アルトキハ聯合會ヲ開設スルコトヲ得

- 第八條 組合ハ聯合會開設ノ必要ヲ認メタルトキハ其關係組合ノ長連署シ所轄郡役所ヲ經由シ其事由ヲ知事ニ具申シ認可ヲ受ケ開會シ其規約締結ノ事項モ知事ノ認可ヲ得テ施行スヘシ
- 知事ニ於テ聯合會ノ必要ヲ認メタルトキハ開設セシムル事アルヘシ
- 第九條 聯合會議員ノ員數並ニ選定法ハ聯合會ニ於テ規定スヘシ
- 第十條 聯合會議員選定ノ上ハ所轄郡役所ヲ經知事ニ届出ツヘシ
- 第十一條 組合員ハ組合及聯合會ノ費用ヲ負擔スルモノトス
- 第十二條 各組合ニ事務所ヲ置キ其組合ニ關スル諸般ノ事務ヲ處理スル爲メ適宜ノ役員ヲ設クヘシ又組合内ニ部ヲ設クルトキモ之ニ同シ
- 第十三條 組合ハ組合員名簿ヲ製シ組合事務所ニ備ヘ置クヘシ
- 組合員ニハ其證票ヲ付與スヘシ
- 第十四條 遊樂又ハ自用ノ爲メ捕魚採藻採貝ニ從事スルモノハ組合ニ加入セサルモ其地區組合ニ於テ規程スル制限ヲ遵守スヘシ
- 第十五條 他管下漁業者ニ對シ既ニ特約アルモノハ双方合議ノ上ニ非サレハ之ヲ變更スルヲ得ス
- 第十六條 組合會議ノ議員ハ十ヶ年以上(父祖ノ代ヨリ繼續スルモノハ通算スヘシ)漁業ニ従事セシモノニ限ル
- 第十七條 組合事務所ノ役員及議員ヲ選舉シタルトキハ所轄郡役所ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ
- 第十八條 組合規約ニ掲クヘキ事項ハ左ノ如シ

- 第一 組合事務所ノ位置
- 第二 組合議員役員ノ名稱及人員
- 第三 組合議員役員ノ選舉法及職務權限
- 第四 組合議員役員給料及旅費
- 第五 組合内ニ部ヲ設クルトキハ其議員及役員
- 第六 組合會議ニ關スル規程
- 第七 加入者及退去者ニ關スル規程
- 第八 捕魚採藻採貝ノ季節
- 第九 漁具漁法ノ制限
- 第十 漁場區域
- 第十一 製造方法
- 第十二 漁村維持方法
- 第十三 他組合及他管漁業者ニ關スル規程
- 第十四 違約者處分ノ事
- 第十五 費用ノ徵收賦課及支出決算報告ノ事
- 第十六 前各項ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第十九條 組合會議ニ於テハ組合規約ニ關スル諸般ノ事項ヲ議決スヘシ
- 第二十條 組合規約ヲ更正シ若クハ聯合規約ヲ更正シタルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第二十一條 組合規約ニ違反シ之ヲ處分シタルモノアルトキハ其姓名事由ヲ記

シ郡役所ヲ經知事ニ報告スヘシ

第二十二條 組合ハ前年度ノ事蹟及費用決算表ヲ翌年一月三十一日迄ニ郡役所
ヲ經知事ニ報告スヘシ

第二十三條 本則第三條第十一條第十四條ニ違背シタルモノハ一日以上三日以
内ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上一圓九十五錢以内ノ科料ニ處ス

附則

第二十四條 本則ニ據リ組合規約ヲ締結セシムル爲メ沿海各郡長ハ其郡内當業
者ヨリ規約編成委員若干名ヲ選定シ組合ノ地區ヲ定メ規約ヲ造リ知事ノ認可
ヲ受ケシムヘシ

第二十五條 初回ニ於テ縣下各組合聯合會ヲ開クトキハ其議員ノ員數並其人
ハ知事之ヲ任命ス但全縣下ニ亘ラサル聯合會議員ノ員數並ニ選舉法ハ各組合
ノ長協議ノ上之ヲ定ムヘシ

第二十六條 各組合規約ハ明治二十六年六月十日限り認可ヲ請フヘシ
○縣令第二十二號 明治二十六年六月一日

明治二十四年三月法律第三號度量衡法ニ據リ度量衡取締規則左之通相定ム

度量衡取締規則

第一條 此規則中單ニ度量衡器營業者ト稱スルハ度量衡器製作者修覆者販賣者
ヲ謂ヒ使用者ト稱スルハ營業ノ目的ニテ度量衡器ヲ使用スル者及ヒ之ニ準ス
ル者ヲ謂フ

第二條 度量衡法ニ依リ免許ヲ受ケタル度量衡器營業者ハ様式第一號ノ標札ヲ

調製シ營業所ノ戶外ニ掲グヘシ

第三條 製作及ヒ修覆原器ハ濕氣少ク溫度ノ劇變及塵埃ヲ避クヘキ場所ニ堅牢
ナル臺ヲ据ヘ其上ニ平置シテ保管スヘシ

第四條 製作者及修覆者ハ毎年一月十一日ヨリ同三十日迄ニ其原器ノ檢定ヲ請
求スヘシ

製作者及修覆者ニ於テ其原器ニ差狂アリト思量スルキハ臨時檢定ヲ請求スル
ヲ得

第五條 度量衡器營業者ハ各自其營業ニ係ル帳簿ヲ調製シ置キ臨檢主任ノ調査
ニ差問ナカラシムヘシ其帳簿ハ左ノ如シ

但度量衡法施行規則第三十三條第二項ニ依リ設計ノ承認ヲ受ケ修覆スルモ
ノモ本文ノ例ニ依ル

- 一 製作品明細簿(此帳簿ニハ製作品種年日及形狀等ヲ記入スヘシ)
- 一 修覆品明細簿(此帳簿ニハ修覆品種類ノ箇所用者ノ任所氏名修覆年月日修
復品ノ形狀物質種類番號個數修覆料金等ヲ記入スヘシ)
- 一 輸入品明細簿(此帳簿ニハ輸入品種類番號個數輸入年月日及形狀物
質種類番號個數輸入年月日)
- 一 買入品明細簿(此帳簿ニハ買入品種類番號個數買入年月日)
- 一 販賣品明細簿(此帳簿ニハ販賣品種類番號個數販賣年月日)

第六條 度量衡器營業者ハ毎年四月十五日限前年度分(前年四月一日ヨリ)ノ營
業實況表ヲ様式第二號ニ依リ調製シ所轄郡市役所ヲ經テ縣廳ヘ差出スヘシ

第七條 度量衡器營業者ハ其免許ヲ受ケタル日ヨリ六十日以上開業セス又ハ休
業三十日以上ニ及フトキハ所轄郡市役所ヲ經テ其事由ヲ縣廳ヘ届出ヘシ

第八條 度量衡器營業者事故アリテ自ラ其業務ニ從事セサルトキ又ハ旅行スル
トキハ相當ノ代理人ヲ定メ所轄郡市役所ヲ經テ其住所氏名ヲ縣廳ヘ届出ヘシ
第九條 度量衡法施行規則第四十四條ノ場合ニ於テハ修覆人ハ桿秤ノ物質記號
年號番號使用者ノ住所氏名及其差狂ノル廉ヲ詳記シ所轄市長町村長ヘ届出ヘ
シ
第十條 前條ノ場合ニ於テハ市長町村長ハ便宜現品検査ノ上其使用ヲ一時停止
セシムルヲアルヘシ
第十一條 使用者ハ常ニ其使用スル度量衡器ニ差狂ヲ生セサルヤ否ニ注意シ若
シ其疑アルモノハ直ニ檢定ヲ請求スヘシ
第十二條 度量衡法施行規則第八條ニ依リ度量衡器ノ檢定ヲ受ケントスルキハ
其事由書ヲ檢定請求書ニ添付シ度量衡檢定所ヘ差出スヘシ
第十三條 度量衡臨檢主任ハ度量衡器營業者及使用者ノ營業所其他取締上必要
ト認ムル場所ニ臨檢シ度量衡器ニ關スル物件ヲ調査スルヲアルヘシ

何器製作
販賣所
住所氏名

豎 三尺
横 一尺

樣式第一號

自何年何月 至何年何月 何器營業實況表
度器

樣式第二號

種別	越 高		製 作		修 覆		輸 入		買 入		販 賣		販 賣 殘	
	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價
直尺														
疊尺														
卷尺														
鏈尺														
鯨尺														
曲尺														
計														

量器

物質種別	越 高		製 作		修 覆		輸 入		買 入		販 賣		販 賣 殘	
	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價	箇數	代價
金 屬														
圓錐形														
升														
リットル														

斗 概	計	何々何々	
		リットル	升

衡器

種 分 天 臺 木製秤 金屬製 秤 計	別 銅 秤 秤 秤 秤 秤	別			
		越	高	製	作
計	計	買入	販賣	高	残
		買入	販賣	高	残

本表中製作修覆輸入買入ノ欄ハ自己ノ營業ニ關セサル欄ヲ除キ製表スルモ妨クナシ又輸入トハ外國品ヲ買入タルモノニシテ買入トハ内國品ヲ買入タルモノヲ云フ

○縣令第二十七號 明治二十六年六月三十日
明治十九年一月本縣甲第四號布達田圃虫害豫防規則左之通改定ス

田圃虫害豫防規則

- 第一條 本則ニ於テ豫防驅除スヘキ害虫ノ種類ハ左ノ如シ
- 一 螟虫 方言 ホカレ山 シンキリ虫
 - 二 浮塵子 方言 コヌカオシタフシ虫
 - 三 地蠶類 方言 ホウシヨウ虫ノ類
 - 四 椿象 方言 フウ虫
 - 五 油胡蘆 方言 キナメ
- 右ノ外異常ノ害虫發生シ蔓延ノ徵アルトキモ亦本則ニ據ルヘシ
- 第二條 害虫田圃ニ發生シタルトキハ其耕作人ハ直ニ驅除ニ着手其冒町村長ニ申出ツヘシ
- 第三條 害虫發生地ノ町村長ハ害虫蔓延ノ徵アリト認ムルトキハ便宜驅虫區域ヲ定メ驅除ヲ施行スヘシ
- 第四條 被害ノ狀況ニヨリ町村ニ於テ臨時委員ヲ設ケ驅虫一切ノコトヲ擔任セシムルコトヲ得
- 第五條 被害數町村ニ亘ルトキハ郡長ニ於テ實施期日ヲ定メ關係町村長ニ命ジ同時ニ驅除ヲ實施セシムヘシ
- 第六條 驅除ニ從事スル勞役ハ總テ耕作人ニ於テ負擔スヘシ
- 第七條 害虫ノ發生ヲ認メタルトキ及驅除實施ノトキハ町村長ヨリ速ニ郡長及

警察官吏へ報告スヘシ

那長ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ
第八條 勞役ヲ除キ驅除ニ係ル一切ノ費用ハ町村費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ但耕
作人ノミノ勞役ヲ負擔シ能ハサルトキハ勞役ニ關スル費用ト雖モ町村費ヲ以
テ支辨スルコトヲ得

第九條 那長及町村長ハ本則施行ノ責ニ任スルモノトス

第十條 本則第三條第六條ニ違背シタル耕作人ハ拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ
科料ニ處ス

○達乙第四十六號 明治十四年七月十三日 郡區役所 戶長役場

農商工獎勵ノ儀ニ付テハ官或ハ之ニ率先シ其事業ヲ開設シ或ハ其實利ヲ指示ス
ル等從來區々ノ方法ニ涉リ之ヲ誘導セリト雖モ今ヤ事業漸ク關ケ人々自奮シ之
ニ從事スルノ時ニ至テハ人民ヲシテ慢リニ依頼スルノ思念ヲ脱シ益其自奮ノ氣
象ヲ擴充セシメ專ラ法規ニ據リ公平不偏洽ク之ヲ保護シ詳カニ各地ノ實況ヲ視
察シ一般ノ鴻益ヲ圖リ大ニ之ヲ獎勵スルハ今日ノ要務ニ候條此趣旨ニ基キ厚ク
注意可致此旨相達候事

○達乙第五號 明治十五年一月十二日 郡區役所 戶長役場

牛馬羊豚改良名稱ノ義ハ是迄一定ノ唱呼無之ヨリ兎角區々ニ涉リ調査上ノ不都
合不尠趣ヲ以今般農務局ニ於テ別紙之通唱呼被相定候條以後ハ都テ右ニ準據シ
可取調此旨相達候事

(別紙)

牛馬羊豚雜種名稱

- 何種 一回 雜種
- 全 二回 雜種
- 全 三回 雜種
- 全 四回 雜種
- 全 五回 雜種
- 全 改良種

例言

一 內國種ノ牝ニ純粹洋種ノ牡ヲ配シテ得タルモノヲ和洋何々一回雜種ト云ヒ一
回雜種ノ牝ニ洋種ノ牡ヲ配シテ得タルモノヲ和洋何々二回雜種ト云フ以下二
回四回五回ハ之ニ倣ヒ六回ニ至テ何々改良種ト稱ス

一 牝牡洋種ニシテ縱令ハ短角種ノ牝ニデボン種ノ牡ヲ配シテ得タルモノ、如キ
ハ洋種何々何回雜種ト稱ス

一 種類ノ正確ナラサル洋種ノ牝、牡ヨリ得タルモノハ單ニ洋種ト稱ス

一 縱令ハ一回雜種ノ牝ニ內國種ノ牡ヲ配シ又ハ二回雜種ノ牝ニ一回雜種ノ牡ヲ
配シテ得タルモノ、如キハ退却雜種ト云フ

一 雜種ハ都テ種牡ノ種類ヲ唱フルモノトス

一 內國種ノ牝ニ血統ノ正確ナラサル洋種ノ牡ヲ配シテ得タルモノハ單ニ和洋何
回雜種ト稱スヘシ

○達乙第七十八號 明治十七年五月二十六日 郡區役所 戶長役場

十五年六月乙第
五十八號ニテ也

農工商門

十四年七月
十五年一月

達乙第四十六號 十七年五月 訓令 乙第七十八號

三百十七

道路開設修繕等ノ爲メ電信ノ線路ヲ變換シ又電信柱ヲ移轉セシメテ請求スル時ハ調査ノ上不得止ニ出ルモノハ轉換可相成候得共其費用ハ都テ請求者ニ於テ支辨可致旨其筋ヨリ達有之候條爲心得此旨相達候事但家屋構造又ハ店頭商業ノ支障等ニテ電信柱ノ移轉ヲ請求スル分ハ此限ニアラス

○達第八百三十號 明治十八年九月二十五日 郡區役所

其所轄内一町村若シハ各部落ニ於テ勸勉貯蓄ノ規約書ヲ設ケ上申候節ハ郡區長ニ於テ開届ノ指令ヲ下付シ其都度右規約書ヲ添ヘ本廳へ届出ツヘク此旨相達候事但從來開届置候分モ届出候義ト相心得ヘシ

○訓令第十七號 明治十九年九月十九日 郡區役所

獸醫開業本免狀下付セラレタル者ニテ治療區域ヲ擴張センカ爲メ出張所或ハ診察所ヲ設ケ元獸醫無免狀ノ者ヲシテ門生ノ名ヲ付シ治療セシムル等ノ弊害有之候テハ全術改良ノ妨碍ナルノミナラズ獸醫免許規則第十一第十四條ニ抵觸シ不相濟義ニ付右様不心得ノ者無之様豫テ開業獸醫エ示諭致置クヘシ

○訓令第七十號 明治二十年三月三十日 郡區役所

石炭消費高左ノ書式ニ據リ取調毎年三月限り報告スヘシ但昨十九年分ニ限り來四月二十日限り報告スヘシ

(書式)

自明治何年一月(郡)區(區)石炭消費高報告書

一 船舶用

何斤 但和斤

一 工場用

何斤 但和斤

一 製鹽用
右報告候也

年 月 日

何斤 但和斤

郡區役所名

熊本縣廳宛

(備考) 工場用ハ蒸汽器機械ヲ使用スルモノ及ヒ瓦斯又ハ「コークス」製造所ニ消費スルモノニ限ル

○訓令第六十一號 明治二十年五月三十日 區役所 戶長役場

郵便物受取人又ハ差出人居所不明ナルルキハ郵便局ヨリ其地區役所又ハ戶長役場ノ取調ヲ乞フ義モ可有之ニ付其際ハ故障ナク其求メニ應ス可シ

○訓令第九十號 明治二十年六月十五日 郡區役所 戶長役場

虎列刺病流行ニ際シ自然該患者アル家并比隣交通遮斷ノ場合ニ於テ右交通遮斷ヲ受ケタル向ヘ宛タル郵便物又ハ電報ヲ郵便局及電信局集配人ニ於テ直ニ配達シ能ハサルトキハ便宜見張ノ警察官吏ヘ其集配人ヨリ直接配達方ヲ委託シ又ハ場合ニヨリ戶長村役人等ヲ經テ右警察官吏ヘ委任スル儀モ可有之候條其際ハ故障ナク其求ニ應スヘシ

○訓令第三百三十五號 明治二十年十一月七日 八代羣北郡役所

私設海路標識統計様式本年ヨリ別紙雛形ニ倣ヒ調製シ翌年一月中進達スヘシ

(別紙)

第一 何府縣立(何府縣市町村立)(私設)燈標統計表 明治何年分

農工商門

十八年九月
十九年九月
廿年三月

訓令 第八百三十號
訓令 第七十號

廿年五月
廿年六月
廿年十一月

訓令 第六十一號
訓令 第九十號
訓令 第三百三十五號

燈臺通號	維持費		入港船舶			看守人員
	給料燈油代	修繕費雜費計	日本形	西洋形	船數	
何處燈臺						
何處燈竿						
合計						

備考 從前願濟ニテ燈費ヲ徵收スルモノハ(燈費收入高)ノ一項ヲ設ケ記載スヘシ

第二 何府縣立(何府縣市町村立)(私設)畫標統計表 明治何年分

畫標通號	維持費		入港船舶			看守人員
	給料燈油代	修繕費雜費計	日本形	西洋形	船數	
何處浮標						
何處立標						
何處陸標						
何處浮標						
合計						

備考 從前願濟ニテ標費ヲ收入スルモノハ(標費收入高)ノ一項ヲ設ケ記載スヘシ

○訓令第四百十號 明治二十年十二月二十八日 郡區役所
縣令第九十二號 獸醫假開業免許出願手續第一條ニ據リ出願者アルキハ營業區域ヲ定メ別紙書式ニ據リ本人ノ願書及履曆書ニ地勢廣狹牛馬頭數等詳細ノ意見書ヲ付シ具狀スヘシ但明治十八年九月第八三三號 獸醫假開業免許內規ハ廢止ス(書式)

獸醫假開業出願書調書

住所 本籍 共
身分

氏

名

年月生

營業區域 何郡一圓又ハ何郡ノ内何町

區域内 地勢

同 廣狹

同 牛馬頭數

營業年限何箇年

開業獸醫居住地ヨリ假開業獸醫營業區域境界マテ最近距離何里其意見

○訓令第四百十二號 明治二十年十二月二十八日 郡區役所
諸市場之義街路取締ニ關スル者ハ所轄警察署ニ其街路ニ關セサル者ハ郡區長ニ

於テ處分致シ候義ト心得ヘシ

○訓令第八十一號 明治二十一年三月二十三日

電信線路沿道戸長役場 區役所

電信柱敷地々種等調査ノ爲メ熊本遞信管理局員隨時出張之上質地立會之義請求候ハ、無差支立會地種地目等相違無之樣取計ヘシ

○訓令第九十二號 明治廿一年六月廿二日 沿海戸長役場 浦役場

郵便物ヲ積載セル船舶ノ難破等ニ罹リ其積載ノ郵便物ヲ航送シ能ハサル場合ニ在テ其船長又ハ代理人ニ於テ遭難最寄地ノ戸長役場若クハ浦役場ニ送致シタルトキハ其送致ヲ受ケタル戸長役場浦役場ハ送致者へ受領書ヲ交付シ其郵便物ニ相當保護ヲナシ速ニ最寄郵便局ニ送達スヘシ但戸長役場又ハ浦役場ニ於テ要シタル費用ハ當廳ヲ經由其所管遞信管理局ニ請求スヘシ

○訓令第二百八十八號 明治廿一年十月廿三日 沿海郡役所 浦役場

去ル十四年二月第二五六號ヲ以相違置候西洋形商船海員雇入雇止證書用紙受拂明細表雛形別紙之通更正ス但周歲受拂明細表之儀ハ一ケケ年分調製翌年度四月五日限リ進達スヘシ

(別紙)

明治何年度中西洋形船海員雇入雇止證書用紙受拂明細表

浦役場名

種別	越	高	受	取	高	小	計	拂	下	高	拂	下	代	金
大雇入證書用紙													浦役場無	高
形大雇入證書用紙													代支拂高	

廿四年七月別令
第百四十四號ニテ
但改正

○訓令第九十三號 明治二十二年六月一日 沿海 郡役所

毎年十二月三十一日ニ於ケル西洋形船々長運轉手機關手水夫等ノ現員ハ明治二十二年以降別紙書式ニ依リ取調翌年二月十日迄ニ差出スヘシ但明治十八年四月第三〇九號達ハ廢止ス

(別紙書式)

船名	船主	種別	船長	籍氏	一箇月雇入水夫
何九	何府縣士族平民 誰	甲乙種一等運轉手免狀	同	何	水夫
	若クハ會社名	第 號	同	誰	夫
		甲乙種一等機關手免狀	同		同
		第 號	同		同
		甲乙種二等機關手免狀	同		同
		第 號	同		同
		甲乙種二等機關手免狀	同		同
		第 號	同		同
		甲乙種一等機關手免狀	同		同
		第 號	同		同
		甲乙種二等機關手免狀	同		同
		第 號	同		同

以下右ノ振合ニ倣ヒ各船毎乘組人員ヲ列記シ且外國人ハ氏名欄内ニ其國名ヲ記入スヘシ

農工商門

廿二年三月訓令 第八十一號
廿二年六月訓令 第九十二號
廿二年六月訓令 第九十三號
廿二年十月訓令 第二百八十八號

○訓令第六十三號 明治二十二年九月十日 郡市役所
 明治十九年五月乙第五十一號達農工商山林通信事項別冊之通改定ス但明治二十年十月訓令第三百十四號同二十一年七月訓令第二百八號及十九年五月勸農第一號達ハ自今廢止ス

農商務通信手續

- 第一條 郡市役所ニ於テハ此通信手續ニ據リ農工商業山林水産ノ景況ト農商事務ノ顛末ヲ調査シ第一部農商課ニ通信スルモノトス
- 第二條 通信ヲ分テ定期報臨時報ノ二種トス
- 第三條 定期報トハ別紙第一表ヨリ第二十三表ニ至ル特ニ報道期限ヲ指定スルモノヲ云フ
- 第四條 臨時報トハ報道期限ヲ指定スルト否トニ關セス左ノ項目ニ依リ臨時報道スルモノトス
 - 第一項 天氣其時ニ違ヒ冷熱暴ニ至リ或ハ風雨水旱ノ變ニ遭遇シ鳥獸蟲ノ害ヲ生シ或ハ之レカ病害ニ因リ水陸ノ產物ニ影響ヲ迨スモノハ其害ノ深淺及ヒ驅除豫防ノ景況成蹟等ヲ舉テ臨時報告スルモノトス
 - 第二項 農商課ヨリ頒布シタル内外著名ノ苗種或ハ篤志人民ノ請求ニ由リ取寄セ送付シタル種類ノ生長及將來其地ニ適シ洪益トナレヤ否ヤノ意見其他農工商業山林水産諸般ノ經驗ヲナセシ景況等ハ必ス詳報スルモノトス
 - 第三項 農工商業山林水産ニ關スル郡市役所ノ告示及ヒ調查會社協會等ノ報告書或ハ著述翻譯等ハ臨時報告スヘシ但著譯書等冊數浩濶ノモノハ題名目

番號	事	項	調査期	報道期
一	米穀作付反別及收穫石高概算表		毎年	其年十二月七日
二	麥作付反別及收穫石高概算表		同	同六月三十日
三	藪外五種産額及桑畑反別概算表		每一ケ年間調	翌年一月二十日

定期通信事項目項

録及ヒ要旨ノミヲ報告スルモ妨ケナシ

第四項 同上ノ事項ニ係ル有功者ノ事蹟及ヒ履歴等ハ新古ヲ論ヒス調査報道スヘシ

第五項 同上ノ事項ニ係ル改良發明試驗ノ成績及ヒ之ニ關スル各地從來ノ習慣新設ノ方法等ハ可成周密ニ報道スヘシ

第六項 農工商業山林水産ニ係ル集談會等ノ開設アルトハ其開閉期日及ヒ談話ノ景況ヲ報道スヘシ

第七項 凡ソ物質形狀等文辭ニ悉シ難キモノハ圖面寫真雜形若シクハ見本等ヲ添ヘ數量比例步合等ニ係ルモノハ表ヲ付スヘシ

第八項 報文ハ成ルヘシ讀ミ易キ文字ヲ用非數量步合等ニ付地方慣用ノ稱呼アルモノ及ヒ方法等ハ解説ヲ加フヘシ

第五條 農商課ニ於テハ各郡市通信ノ要領ヲ編纂シ時々新聞紙ニ登載シテ一般ニ報道スルコトアルヘシ

四	牛馬數表	每年十二月三十一日調	同
五	斃牛馬及屠牛數表	每一ヶ年間調	同
六	商買種別及市場金融表 <small>調査場所 熊本八代山鹿人吉 未日現在 市場金融 每一ヶ年間調</small>	每一ヶ年間調	四月十日
七	都邑物價表 <small>同 熊本八代山鹿人吉</small>	每一ヶ年間調	翌年一月十日
八	織物產額概算表	同	同
九	綿糸外三品產額概算表	同	同
十	勤勉貯蓄表	每年十二月三十一日現在	翌年一月二十日
十一	水產製造物產額概算表	每一ヶ年間調	同
十二	食鹽產額概算表	同	同
十三	農商諸會社表	每年十二月三十一日調	翌年一月十日
十四	工業諸會社及製造表	同	同
十五	官博覽會 民設共進會 品評會 報告表	其時々	閉會後五日
十六	大豆外二十種作付反別及產額概算表	每五年一ヶ年間調	翌年二月十五日

但每五年報道期左ノ通			
第一回明治二十五年調査全二十六年報道			
第二回全三十年調査全三十一年報道			
以下之ニ準ス			
十七	生蠟外九種產額概算表	同	同
十八	牧場及豚數田畑自作小作地茶畑反別概算表	同十二月三十一日調	同
十九	大角豆外百三拾一種產額概算表	同一ヶ年間調	同
二十	農工及諸雇賃錢表 <small>調査場所 熊本</small>	同一ヶ年六月平均 十二月平均	同
廿一	漁船表	同一ヶ年間調	同
廿二	漁業概算表	同	同
廿三	民有山林概計表	同一ヶ年六月三十日調	同

第二表

麥作付反別及收穫石高概算表

明治 年分
報定期六月三十日

備考	大麥		小麥		大麥		小麥		郡市名種類	畑	田	合計
	計	反	計	反	計	反	計	反				

第壹表

米穀作付反別及收穫石高概算表

明治 年分
報定期十二月十日

備考	陸稻		水稲		陸稻		水稲		郡市名種類	本年作付反別	同収穫石高	一反歩收穫高
	計	反	計	反	計	反	計	反				

一本表ヲ計算スルノ際ニ當リ其計數ハ四捨五入ノ法ヲ用ユヘシ以下此例ニ準フ
但一段歩收穫高計數ハ單位以下三位ノ分數ヲ存スルヲ例トス

備考

前年ニ對スル増減ノ事由ヲ記載ス可シ

第四表

郡市牛馬數表 每年十二月三十一日調 報道期翌年一月二十日

備考	牛									
	外種當二歲以上計	雜種當二歲以上計	內種當二歲以上計	種別年齡	種別年齡	種別年齡	種別年齡	種別年齡	種別年齡	種別年齡
				運	搬	用	農	用	繁	殖
				牝	牝	計	牝	牝	牝	計
				計	計	計	計	計	計	計
				乳	用	合	計	計	計	計
				牝	牝	計	計	計	計	計
				計	計	計	計	計	計	計

一 運搬用トハ特ニ物貨運搬或ハ乗料車用等ニ役スルヲ云ヒ農用トハ専ラ耕作ニ役スルヲ云ヒ運搬用農用相兼ルモノハ其重モナル方ニ從フヘシ
 一 繁殖用トハ繁殖ヲ圖ル爲メニ使役ニ供セスシテ飼養スルモノヲ云フ
 一 乳用トハ特ニ搾乳ノ爲メニ飼養スルモノヲ云フ

第五表

郡市斃牛馬及屠牛表 每一ケ年間調 報道期翌一月二十日

備考	合計	二歲以上	當歲	種別		牛
				馬	牛	
				斃	死	
				牝	牝	
				計	計	
				斃	死	
				牝	牝	
				計	計	
				屠	殺	
				牝	牝	
				計	計	
				屠	屠	
				場	場	
				名	名	

一 屠牛トハ専ラ食用ニ供スルモノ、ミチ云フ故ニ傳染病流行ノ爲メ屠殺セシ牛馬ハ本表式ニ倣ヒ別表ニ記載スヘシ

第六表 調査場處 熊本、八代、山鹿、入吉、四ヶ所

場市諸	別種買商	郡市商買種別及市場、金融表 毎年三月末日現在調報道期四月十日			
		地名種目	米穀	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問
市場名	賣買品目	所存地名	開市日	屋仲買卸	賣種目問

一本表ハ營業稅ヲ納ムル種目ニ限リ調査シ兼業ハ其重ナル一業ヲ掲クベシ
 一水陸運輸營業者ハ問屋ノ關ニ暫兩替公債株式營業者ハ仲買ノ關ヲ假用スヘシ
 一但米商會所株式取引所等政府ノ條例ニ據テ設立セシモノ、仲買入ハ調査ヲ要セス
 一諸市場記載方ハ例ヘハ日野市(名稱)生糸、繭、米穀(賣買品)一六(市目)ト云フカ如ク明ニスベシ

備考	融 金												種別 抵押種類及月次 一萬圓以上 五千圓以上 千圓以上 五百圓以上 百圓以上 百圓未満				
	年	利	日	步	一	二	三	四	五	六	七	八		九	十	十一	十二
	無	家	土	公	無	屋	債	公	債	無	抵	其	地	地	無	無	有
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

一年利ハ何割何分何厘ト記載シ日歩ハ何錢何厘ト記スヘシ

合計	織 雜		織麻及絹		織 麻		織 綿 木		織交綿絹	
	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量
				蚊帳		晒布		白木綿		綿獅子糸入
						布		縮色木		袴地
						蚊帳地		綿木綿		
								白小倉		
								紺小倉		
								双子織		
								紺		
				其他		其他		其他		其他
				計		計		計		計

農工商門

廿二年九月 訓令 第百六十三號

三百三十九

織 絹		市郡織物産額表 毎一年間調 報道期翌年一月二十日	椀 木 椀	蠟 同	茸 同	斤
代價	數量		同	同	同	同
	縮子					
	糸織					
	縮織					
	海氣					
	縮織					
	ハンカチウフ					
	斜子					
	八丈織					
	上布					
	袴地					
	其他					
	計					

一 商品ハ各其同種ノ内立物ヲ定メ置キ其名稱(例ヘハ食鹽ナレハ本鹽田ノ如シ)ヲ註記シ其相場ヲ取ルヘシ若シ其後前ニ定メタル立物ノ相場ナキトキハ成ルヘク同品格ノモノノ相場ヲ取ルヘシ
 一 右立物ノ内米ハ上中下ノ三等ニ區別シ其他ハ總テ中等即チ並品ノ卸相場ニ據リ毎月十日間ニ一日即チ一ヶ月三度(例ヘハ五日若クハ六日)ヲ以テスルカ如シ)ノ相場ヲ平均シテ記入スルモノトス若シ全ク相場ナキ物品ハ其間内品名ノ下ニ朱線ヲ引クヘシ又斤量ヲ用ユルモノハ十六貫目ヲ以テ百斤トナシ其相場ヲ掲ゲケ金巾ノ一反ハ裏地花色ヲ除ク外總テ一釜ヲ云フ
 一 本表物品ノ外綿、苧、煎海鼠、人參、棊天、椀茸、昆布、木蠟、檀腦ノ九品ハ特ニ取引ノ多キ都邑ニ限リ其相場ヲ記載スヘシ

第八表

三百三十八

一和製器械取ハ臥室其發明ノ器械其他之ニ類スル機械ヲ以テ紡織シタルモノヲ取調ヘシ繰車ヲ以テ

第九表 市郡綿糸外三品産額概算表 每一ケ年間調査 翌年一月二十日

洋製機械取 和製機械取 合計	目金額	目金額	陶磁器		西洋紙及 摺付木	
			器	磁	西 洋 紙 摺 付 木	日 金 額 數

第九表 市郡綿糸外三品産額概算表 每一ケ年間調査 翌年一月二十日

合計	帶織雜		帶織綿木		帶交織		帶織絹	
	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量
			男	小	男	男	男	男
			帶	帶	帶	帶	帶	帶
			女	女	女	女	女	女
			計	計	計	計	計	計
			其	其	其	其	其	其
			他	他	他	他	他	他
			計	計	計	計	計	計

一織物ハ帶地ヲ除クノ外疋、卷、本等ハ總テ反ニ收算スヘシ但ハンカチーフハ枚ヲ以テ記入スヘシ
一帶地ハ本ヲ以テ記入スヘシ但子供帶ハ男女二本ヲ以テ一本ト算シ女帶半巾ノモノハ二本ヲ以テ一
本ト算出スヘシ

村(町)名		縣名	田反別	食鹽產額	平均價格	營業人數	總數	男	女
第十二表 郡食鹽產額概算表 每一ケ年間調 報道期翌年一月二十日									

考	備	寒天	雜類	計			
				魚	油	魚	料
				其他魚類	鯨油	鯰魚	鮭魚
				其他魚類	鯨油	鯰魚	鮭魚
				其他魚類	鯨油	鯰魚	鮭魚
				其他魚類	鯨油	鯰魚	鮭魚

考 備		
合 計		

一工数ハ延人員ヲ記入スヘシ

三百四十六

第十三表

市郡農商諸會社表									
(一)資本ヲ株式ニ分割シタルモノ									
毎年十二月三十一日調 報道期翌年一月十日									
名 稱	營業種別	所在地名	創業年月	資本金	同 高 株 主 出 入	農 業	商 業	業 計	合 計

農工商門 廿二年九月 訓令 第百六十三號

三百四十七

郡農商諸會社表

(一)資本ヲ株式ニ分割セサルモノ

名	稱	營業種別	所在地名	創業年月	資本金	同	高	一	出	入	農 業		商 業		合 計
											計	計	計	計	

一本表ハ農商業ノ爲ニ一場ヲ設ケ會社組合等ノ名義ヲ以テスルモノ、年末現數ヲ記載スルモノトス但資本ヲ株式ニ分割シタル會社ハ第一表ニ記入スヘク組合會社ハ第二表ニ記入スヘシ

一本社ノ資本ヲ以テ支社或ハ分社ヲ設立セシモノハ總テ本社ニ合スヘシ

一諸會社ノ中製造所ヲ所有シテ商工ヲ兼タルモノハ其重ナルモノニ從ヒテ本表商業ノ部或ハ次表工業ノ部ニ記入スヘシ例ヘハ工場ヲ所有スト雖モ他ノ製造品ヲ仕入テ之ヲ販賣スルノ自己ノ製造品ヨリ多キモノハ本表商業ノ部中ニ記入スヘシ

一耕作開墾製糖製茶牧畜山林漁獵等ニ係ルモノハ農業部中ニ記入シ物品販賣水陸運輸保險金貨等ニ係ルモノハ商業部ニ記入スヘシ

一國立銀行株式取引米商會所等政府ノ條例ニ據リ設立セシ會社ハ記入ニ及ハス

第十四表

市郡工業諸會社及製造所表(一)資本ヲ株式ニ分割シタルモノ

毎年十二月三十一日調
報道期翌年一月十日

名	稱	營業種別	所在地	創業年月	資本金	同	高	一	出	入	合 計